TOSHIBA
Leading Innovation

REGZA

ハードディスク内蔵
地上・BS・110度CS
デジタルハイビジョン液晶テレビ
取扱説明書

42ZH7000／46ZH7000／52ZH7000

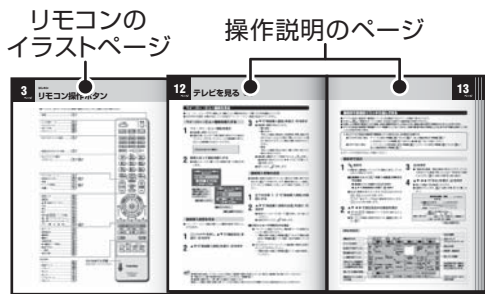
操作編

：：最初に別冊の「準備編」をお読みください。
：：本書ではテレビの操作のしかたについて説明しています。
：：映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、「困ったときには…」をご覧ください。

お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書「操作編」と別冊の「準備編」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

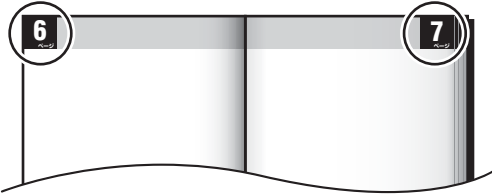
操作編もくじ

この取扱説明書の見かた

はじめにこのページを開きます。

操作説明のページを開き、リモコンのイラストでボタンの位置を確認しながら操作します。

リモコンのボタンは、説明文中でイラストで示しています。
機能が二つあるボタンでは、次の例のように図示しています。

実物	文章中の表示と意味
機器操作 録画リスト	機器操作 録画リスト 「機器操作」ボタンとして使用することを意味します。
	録画リスト 「録画リスト」ボタンとして使用することを意味します。

ページ番号は上に記載しています。

この取扱説明書内のマークの見かた

参照していただきたい情報が記載されているページの番号を示しています。

取扱上のお願いを記載しています。

取扱上のご注意を記載しています。

機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

はじめに

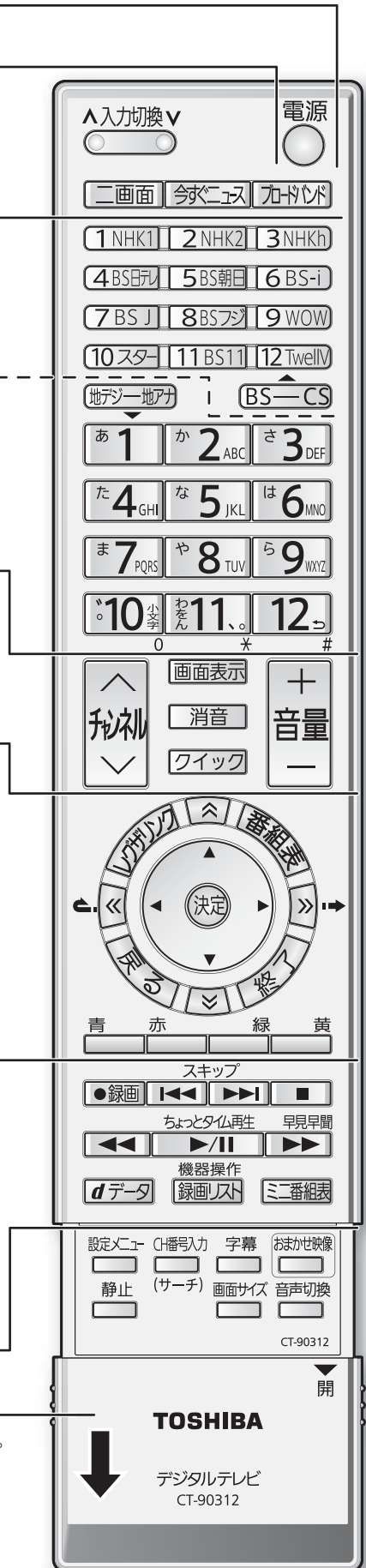
テレビを見る

便利な機能を使う

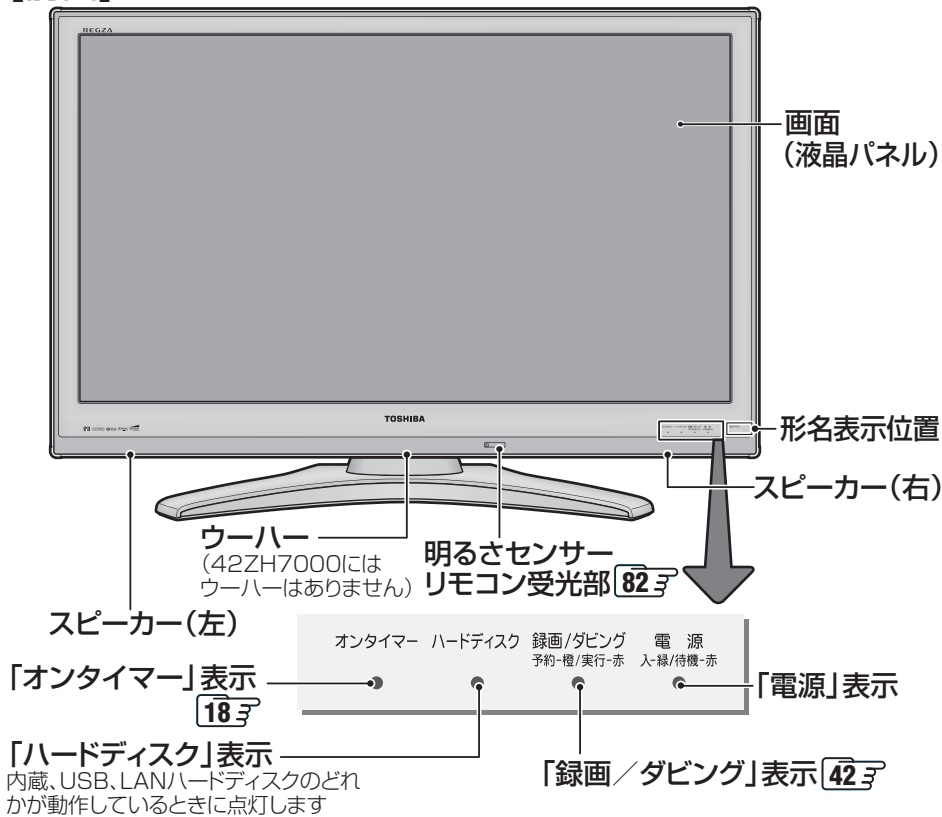
お知らせ
● この取扱説明書は、42ZH7000、46ZH7000、52ZH7000で共用です。使用しているイラストは46ZH7000のものです。他の機種はイメージが多少異なります。また、42ZH7000は仕様が一部異なります。

リモコン操作ボタン

●イラストは、見やすくするために誇張、省略しており、実際とは多少異なります。

- ●電源 …… 4
- ●入力切換 ∧・∨ …… 11
- ●二画面 …… 21
- ●今すぐニュース …… 34
- ●ブロードバンド …… 63 65
- ●衛星放送（BS/CS）切換 …… 9
- ●BS/CSダイレクト選局 …… 9
- ●地上放送（地デジ/地アナ）切換 …… 8
- ●地上ダイレクト選局（文字入力） …… 8 26
- ●チャンネル∧・∨ …… 8
- ●画面表示 …… 17
- ●消音 …… 4
- ●クイック …… 11
- ●音量＋・－ …… 4
- ●レグザリンク …… 55
- ●番組表 …… 12
- ●▲・▼・◀・▶（カーソル） …… 12
- ●決定 …… 10
- ●戻る …… 77
- ●終了 …… 56
- ●⌃・⌄・«・»（ジャンプカーソル） …… 12
- ●⏎. «（ワンタッチリプレイ） …… 43
- ●» ➡（ワンタッチスキップ） …… 43
- ●カラー（青、赤、緑、黄） …… 13
- ●●録画 …… 30
- ●⏮・⏭（スキップ） …… 43
- ●■（停止） …… 43
- ●◀◀（早戻し） …… 43
- ●▶/II（再生/一時停止/ちょっとタイム再生） …… 43
- ●▶▶（早送り/早見早聞） …… 43
- ●dデータ …… 10
- ●録画リスト（機器操作） …… 45
- ●ミニ番組表 …… 14
- ●設定メニュー …… 25
- ●CH番号入力（サーチ） …… 9
- ●字幕 …… 23
- ●おまかせ映像 …… 74
- ●静止 …… 23
- ●画面サイズ …… 19
- ●音声切換 …… 24

ふたをあけた状態

矢印の方向へスライドさせます。

各部のなまえと基本の操作

電源を入れるには

表示ランプが消えているとき

[表示灯部] [右側面操作部]

表示ランプが赤色に点灯しているとき
(待機状態のとき)

[表示灯部] [リモコン]

電源を切るには

待機状態にするには

[リモコン] [表示灯部]

電源を切るには

[表示灯部] [右側面操作部]

音量を調整するには

音量を調整するには

[リモコン] [右側面操作部]

または
●+を押すと音が大きくなります。(最大100)
−を押すと音が小さくなります。(最小0)

音を一時的に消すには

[リモコン] [画面右下]

●もう一度押すと、音が出ます。

録画・予約をする

ハードディスクなどに録画した番組を見る

レグザリンクを使う

インターネットなどを楽しむ

お好みや使用状態に合わせて設定する

その他

別冊（準備編）もくじ

※ 以下は別冊の内容です。（一部省略しています。準備編もよくお読みください）

準備編（別冊）

■ 正しい見かた

■ 部屋の明るさは新聞が読める程度で

● 明るすぎ、暗すぎは目を疲れさせます。
時々、目を休めましょう。

■ 音量は適切に

● 音量は周囲に迷惑にならないように、適切な大きさでお聞きください。特に夜間はご注意ください。

本機の特長

おまかせ映像機能

●周囲の明るさと見ている映像の情報を本機が判断し、常に最適な画質に自動調整します。また、超解像処理により、緻密で精細感のある映像で表示することができます。
お好みで調整を変更することもできます。74

おまかせ音声機能

●番組のジャンル情報を判断し、ジャンルに適した音声に自動調整します。
お好みで調整を変更することもできます。83

ハードディスクを内蔵

●ハイビジョン放送をそのままの画質で録画･再生できます。28

テレビで楽しむ便利な機能

■連ドラ予約 33
連続ドラマを1回の予約操作で、毎回の放送を自動的に録画予約できます。
■今すぐニュース 34
設定したニュース番組を自動的に録画できます。リモコンの「今すぐニュース」ボタンを押すだけで、自動録画されたニュース番組を見ることができます。（早見早聞で時間を短縮して見ることもできます。）
■ちょっとタイム 30
録画中に「ちょっとタイム再生」ボタンを押すと、ちょっとタイム再生を始めます。テレビの視聴中に電話がかかってきたときなど、少しの間、視聴を中断したい時に便利な機能です。

レグザリンク搭載

●USB、LANハードディスクに対応し、内蔵ハードディスクの空き容量がなくなっても、録画番組をムーブすることができます。また、直接ハイビジョン録画･再生をすることもできます。55
●本機と東芝製のHDMI連動機能対応機器（レコーダー、パソコン、カメラなど）や東芝推奨のHDMI連動機能対応のAVシステムをHDMIケーブルでつなぐと、本機のリモコンで操作することができます。56
※HDMI連動機能を使うには、本機と接続機器それぞれで設定が必要です。（準備編 52）

ブロードバンド対応

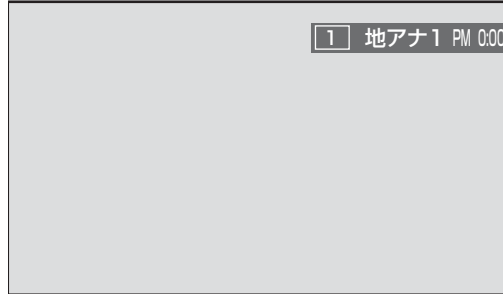
●パソコンを使わずに「インターネット」をお楽しみいただけます。68
●幅広いジャンルの映像や、ニュース、株価、気象情報などの役立つ情報をチェックできる「アクトビラ」、多チャンネル放送やビデオを楽しむことができる「ひかりTV」に対応しています。63 65
※NTT東日本、またはNTT西日本のフレッツ回線が必要です。（準備編 30）

テレビを見る

地上アナログ放送を見る

1 地デジ―地アナ で地上アナログ放送を選ぶ

（すでに地上アナログ放送を見ている場合は押す必要はありません）

1 地アナ1 PM 0:00

2 あ1 ～ 12 または チャンネル で見たいチャンネルを選ぶ

- お買い上げ時の設定では、VHF放送の1～12チャンネルを選ぶことができます。
- 「はじめての設定」（準備編 32 ）をすると、お住まいの地域で放送されているチャンネルを選ぶことができます。
- 地上デジタル放送の開始に伴ってチャンネルが変更された場合や、CATV（ケーブルテレビ）放送の設定をする場合は、「手動設定」（準備編 75 ）をご覧ください。

地上デジタル放送を見る

1 地デジ―地アナ で地上デジタル放送を選ぶ

（すでに地上デジタル放送を見ている場合は押す必要はありません）

2 あ1 ～ 12 または チャンネル で見たいチャンネルを選ぶ

- あ1 ～ 12 の各ボタンに登録された放送局が複数の番組を放送している場合は、そのボタンを繰り返し押すと、番組を順番に選ぶことができます。
- 地上デジタル放送では、お住まいの地域以外の放送も受信できる場合に、同じチャンネル番号が重複することがあります。この場合はチャンネル番号の次に付く枝番と呼ばれる番号で区別して選びます。（選びかたは次ページの「チャンネル番号で選ぶ」をご覧ください）

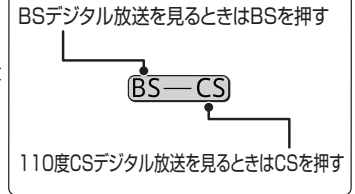
- お買い上げ時の設定では、地上デジタル放送は映りません。「はじめての設定」（準備編 32 ）をすると、お住まいの地域で視聴できる地上デジタル放送チャンネルを選ぶことができます。
- 視聴できるチャンネルは、「はじめての設定」をした後、番組表 12 で確認することができます。
- 「自動スキャン」（準備編 74 ）の機能によって、新たに開局したチャンネルや中継局の新設・変更があった場合は、それらが自動的に設定されます。「自動スキャン」を使わないで、「再スキャン」（準備編 74 ）で変更することもできます。
- チャンネル で選ぶときのチャンネルの順番は、放送の運用規定に従います（番号順にならない場合があります）。また、一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネルだけの選局となります。

■ **BSデジタルや地上デジタル放送の場合**

- 番組情報を取得する前に チャンネル でチャンネルを選ぶと、代表チャンネルだけではなく、すべてのチャンネル（例えばBS141、142、143）が選局されます。

BSデジタルや110度CSデジタル放送を見る

1 BS—CS で放送の種類を選ぶ

（チャンネルを変えるだけなら押す必要はありません）

2 1 NHK1 〜 12 TwellV または チャンネル で見たいチャンネルを選ぶ

● 一つのダイレクト選局ボタンを繰り返し押すと、チャンネルが切り換わる場合があります。

例： 4 BS日テレ を押すたびに141、142、143の順に選局できます。

お知らせ

● 一部のチャンネルには、受信契約が必要なものがあります。未契約のチャンネルを選ぶと、画面にメッセージが表示されます。
● 視聴できるチャンネルは番組表 12 で確認することができます。
● ダイレクト選局ボタンに放送メディアの割当てをすると、そのボタンでラジオ放送やデータ放送も選ぶことができます。
● チャンネル で選ぶ場合、一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネルだけの選局となります。番組情報を取得するまでは、すべてのチャンネルが（例えばBS141、142、143）選局されます。
● BSデジタル放送の場合、お買い上げ時にはリモコンボタン 1 NHK1 〜 12 TwellV に表示された放送が設定されています。
● 110度CSデジタル放送の場合、お買い上げ時には 1 NHK1 と 2 NHK2 にCSプロモーションチャンネルが設定されています。（ほかのボタンには設定されていません）
● 本機はペイ・パー・ビュー（PPV）放送には対応していません。

チャンネル番号で選ぶ（デジタル放送とCATVの場合）

1 CH番号入力（ふたの中）を押す

● 画面の右上に、BS--- または CS--- または 地デジ--- または CATV C-- が表示されます。（放送の種類はそのときの状況によって変わります）
● 放送の種類を切り換えるには、CH番号入力（ふたの中）を繰り返し押します。

2 1 〜 10 でチャンネル番号を押す

● たとえば103チャンネルを選ぶ場合 ➡ 1 10 3 の順に押す。（10 は「0」として使います）
● ラジオ/データ放送 10 のチャンネルを選ぶこともできます。その場合は、それぞれの放送メディアに切り換わります。

見たいチャンネルの番号がはっきりとわからない場合

● ＊ボタン（11）を使って、次のように選ぶことができます。

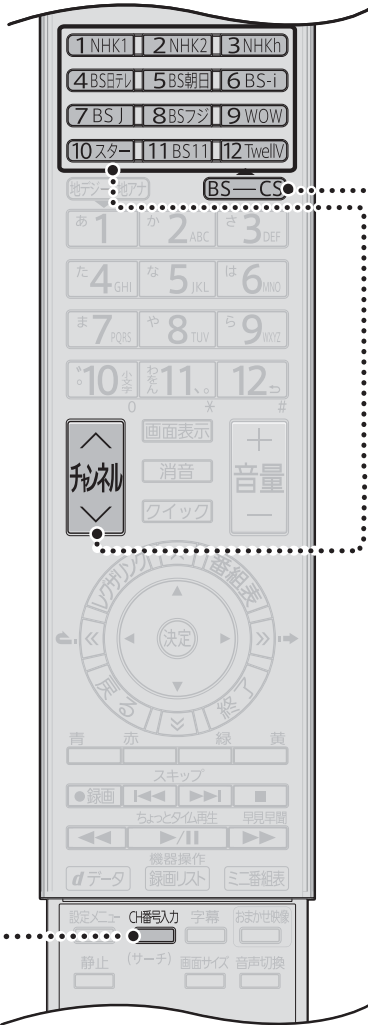
例1：300番台のチャンネルを見たいとき 3 11 の順に押します。
→ 300番台で放送されている一番小さい番号のチャンネルが選ばれます。
300番台で放送されているチャンネルがない場合は、400番台以降のチャンネルが選ばれます。

例2：450番台のチャンネルを見たいとき 4 5 11 の順に押します。
→ 450番台で放送されている一番小さい番号のチャンネルが選ばれます。
450番台で放送されているチャンネルがない場合は、460番台以降のチャンネルが選ばれます。

枝番の付いた放送一覧（右図）が表示された場合

● ▲·▼で選んで 決定 を押すか、10（0）〜 9 で枝番（カッコ内の数字）を指定して選びます。

● お買い上げ直後や「設定の初期化」（準備編 95 ）をした直後などに、一部のBSデジタル放送、110度CSデジタル放送チャンネルを番号指定で選ぶことができない場合があります。
● 枝番の付いた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送が複数受信できたときに表示されます。

テレビを見る つづき

ラジオやデータ放送を楽しむ

● デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、ラジオ放送とデータ放送があります。（地上アナログ放送にはラジオ放送やデータ放送はありません）

■ ラジオ放送

● BSデジタル放送と110度CSデジタル放送にはラジオ放送があります。（2008年9月現在ラジオ放送は行われていません）

● 放送内容に連動して画像が楽しめるものと、音声のみのラジオ放送があり、番組によっては音楽CD並みの高音質で楽しむことができます。

■ データ放送

● 便利な情報やさまざまなニュースを見たり、クイズやゲームなどの双方向サービスを楽しんだりできます。データ放送には以下の2種類があります。操作のしかたは番組によって異なります。画面に表示される操作指示に従って操作をしてください。

◆ 独立データ放送

・ 番組とは無関係の独立したデータ放送です。

◆ 番組連動データ放送

・ テレビ放送やラジオ放送の番組に連動して視聴できる放送サービスです。

■ 地上デジタル放送の双方向サービスについて

● 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

ラジオまたは独立データ放送を楽しむ

1 デジタル放送を見ているときに、クイック を押す

2 ▲·▼で「その他の操作」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「テレビ／ラジオ／データ切換」を選び、決定 を押す

4 切り換えたい項目（「テレビ」「ラジオ」「データ」）を▲·▼で選び、決定 を押す

● チャンネル で他のチャンネルに切り換えられます。

● チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。

● ラジオ、データ放送を終了するには、上記の操作で「テレビ」を選びます。

番組連動データ放送を楽しむ

1 デジタル放送を見ているときに 画面表示 を押す

● テレビd 、ラジオd が表示された場合、データ放送があります。

2 dデータ を押す

● 番組によっては押す必要がない場合があります。

● 画面に表示される操作指示に従って操作をしてください。

● データ放送を終了するには、クイック を押し、▲·▼で「その他の操作」を選び、決定 を押し、▲·▼で「データ放送終了」を選び、決定 を押します。

● インターネットを利用した双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSL（準備編 114）などによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。

● 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめ電話回線やLAN端子の接続と設定（準備編 28～30、83～85、86～87）をしてください。また、双方向サービス利用に必要な登録の申し込みをしてください。（付属の「ファーストステップガイド」をご覧ください）

● 双方向サービスの通信中は、画面上に「回線使用中」アイコンが表示され、同一回線上の電話機やファクシミリなどは使えません。また、通話料がかかる場合があります。

● 通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。

● テレビの動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。

● 放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。

● 画面の操作指示で、dデータ は「データボタン」「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。

● 本体の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切換はできません。

● 本機は、ブックマーク機能や登録発呼機能には対応していません。

ビデオやDVDなどの外部機器を見る

1 見たい機器の電源を入れ、機器が接続されているビデオ入力を 入力切換 で選ぶ

- 入力切換 を押すと、画面右上に入力端子一覧が表示され、入力切換 を押すたびに以下のように切り換わります。（切り換えてから映像が出るまでに少し時間がかかります）
  入力切換 を押すと、逆の順に切り換わります。

放送 → ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → ビデオ4 → HDMI 1 → HDMI 2 → HDMI 3 → HDMI 4 → 放送

- お買い上げ時は、ビデオ1 ～ビデオ4までは、外部機器がつながっているかどうかを自動的に検知し、何もつながっていない入力端子をスキップする設定になっています。
  ※「外部入力スキップ設定」（準備編 53ページ）で変更することができます。
- HDMI1 ～ 4については、「外部入力スキップ設定」（準備編 53ページ）で設定すると、使わない入力端子をスキップする（飛び越す）ことができます。

2 接続されている外部機器を操作する

クイックメニューを使う

- クイックメニューを表示させるには、クイック を押します。
- クイックメニューの内容は、クイック を押すときの場面によって変わります。以下の表は、ほかのメニュー操作などをせずにテレビ番組を視聴している場合のものです。
- クイックメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。選択できない項目は薄く表示されます。

基本操作

1 クイック を押す

2 ▲･▼で項目を選び、決定 を押す

3 選んだ項目に従って操作する
- 詳しくは各項目の該当するページをご覧ください。

項　目			記載ページ
番組説明			17
連ドラ予約			33
タイマー機能	オンタイマー		18
	オフタイマー		18
画面サイズ切換			19
映像設定			74～82、準備編 92
音声設定			83～85、準備編 47
その他の操作	信号切換	映像信号切換	24
		音声信号切換	24
		音多切換	24
		データ信号切換	24
		字幕切換	23
		降雨対応放送切換	25
	HDMI 入力拡張切換		61
	アンテナレベル		準備編 36
	データ放送終了		10
	親切ヘッドホーン音量（二画面表示のとき 副画面ヘッドホーン音量）		22
	テレビ／ラジオ／データ切換		10

お知らせ

■「ビデオやDVDなどの外部機器を見る」について
- 本体の入力切換ボタンは、リモコンの 入力切換 と同じ働きをします。
- 入力切換 を押し、入力端子一覧から▲･▼で希望の入力を選び、決定 を押して切り換えることもできます。
- 入力切換時に画面に表示される「DVD」などの機器名を変えることができます。（準備編 53ページ「外部入力表示設定」）
- お買い上げ時は、ビデオ4を選ぶとゲームに適した画質と画面サイズになるように設定されています。ビデオなどをつないで使うときは、ビデオ4を選んでから クイック を押して、「映像設定」74ページ の「映像メニュー 」から「ゲーム」以外を選んでください。

テレビを見る つづき

番組表で選んで見る

- デジタル放送の番組表は、放送電波で送られてくる情報で表示されます。
- **お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。**
- **デジタル放送の番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「切」または「待機」状態にしておくことをおすすめします。**

※ 地上アナログ放送の番組表を見るには、インターネットの常時接続・設定（準備編 29）とチャンネル設定（準備編 33、72）、地上アナログ番組表設定（準備編 82）が必要です。

番組表で選ぶ

1 番組表 を押す

- 番組表が表示されます。
- 放送の種類を変えるときは、BS―CS または 地デジ―地アナ を押します。
  ラジオ／独立データ放送の番組表を見る場合は、「ラジオまたは独立放送を楽しむ」10をご覧ください。

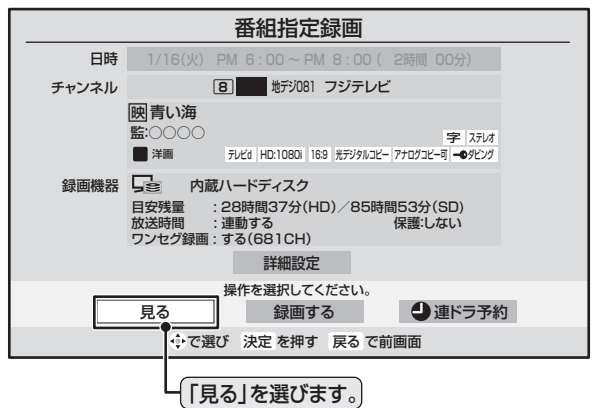
2 ▲·▼·◀·▶ で現在放送中の番組を選ぶ

- ⊼·⊻·«·» で番組表のページを切り換えることができます。

3 決定 を押す

- 「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」の画面になります。32 手順 3 以降をご覧ください。

4 ▲·▼·◀·▶ で「見る」を選び、決定 を押す

- 選んだ番組の放送画面になります。
- 録画をするときは、31 手順 3 以降をご覧ください。

[番組表画面:7チャンネル表示の例]

※アイコンについての説明は、114をご覧ください。

お知らせ

- 番組表は前回表示した日付と時間帯の部分が表示されます。（前回の表示日時を過ぎている場合は、今の日時で表示されます）
- テレビを視聴している条件などによっては、番組表が空欄になる場合があります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組情報の取得」15をしてください。
- 地上アナログ放送の番組表は、お客様への予告なく一時的に停止される場合や、サービス自体が終了される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一部のCATV放送など、番組表情報がないものは番組表に表示されません。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- 番組表画面で予約済番組を選ぶと、予約内容の確認や予約の取消しなどができます。
- 「東芝RDデジタル（テレビdeナビ）」と「HDMI連動機能対応東芝レコーダー」については、番組表に予約アイコンは表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。

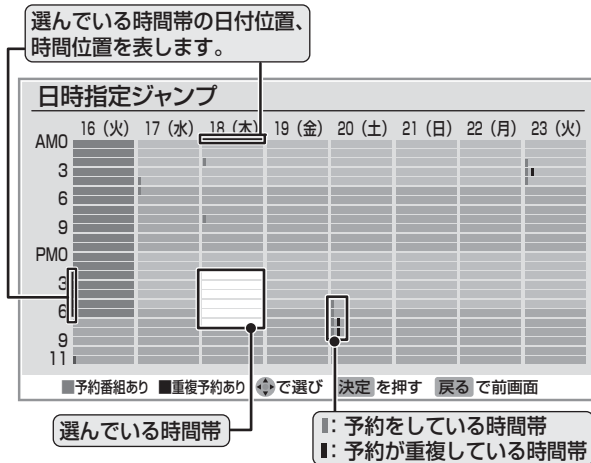
番組表を便利に使う

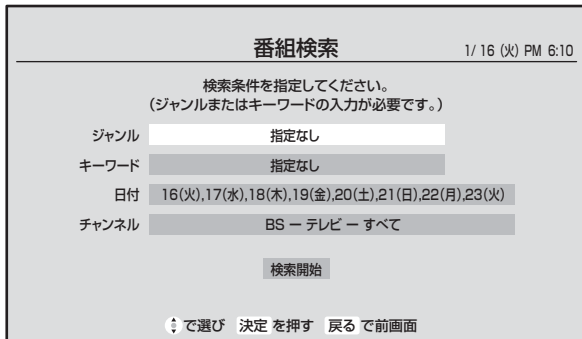
今の時間帯の番組表を表示する

❶番組表の画面で 青 を押す

指定した日時の番組表を表示する

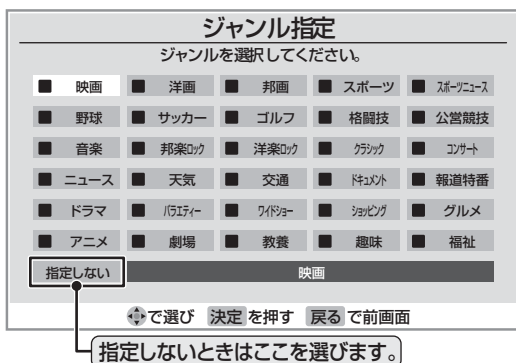
❶番組表の画面で 赤 を押す

● ▲·▼·◀·▶で日時を選び 決定 を押すと、選んだ時間帯の番組表が表示されます。

ジャンルやキーワードを指定して番組を検索する

❶番組表の画面で 緑 を押す

❷ ▲·▼で「ジャンル」または「キーワード」を選び、決定 を押す

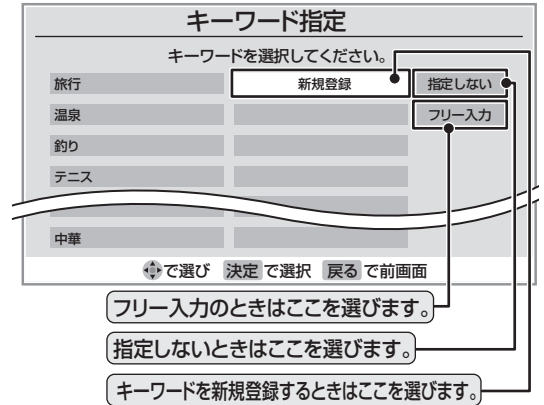
※「ジャンル」、「キーワード」のどちらかは、必ず指定してください。

「ジャンル」を指定するときは以下の操作をする

① 指定するジャンルを一つ選び、決定 を押す

「キーワード」を指定するときは以下の操作をする

① 指定するキーワードを一つ選び、決定 を押す

● 一覧表にないキーワードを指定するときは、「フリー入力」を選び、決定 を押します。文字入力のしかたは、26 をご覧ください。

● よく使うキーワードをあらかじめ登録しておく場合は、以下をご覧ください。

キーワードを登録する場合

①「キーワード指定画面」で▲·▼で「新規登録」を選び、決定 を押す

② 登録したいキーワードを入力して、決定 を押す

● 文字入力のしかたは、26 をご覧ください。

● キーワードは、最大で14個登録できます。

● 一つのキーワードは最大で全角15文字まで入力できます。

キーワードを編集する場合

① 編集したいキーワードを選び、青 を押す

② キーワードを編集し、決定 を押す

キーワードを削除する場合

① 削除したいキーワードを選び、赤 を押す

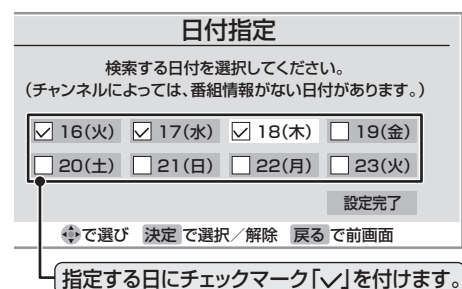
② ◀·▶で「はい」を選び 決定 を押す

「日付」を指定するときは以下の操作をする

①「番組検索」画面で、▲·▼で「日付」を選び、決定 を押す

② 指定する日付を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す

● 決定 を押すたびに、☑と□が交互に切り換わります。

※ 日付は8日先まで指定できます。

③ すべての指定が終わったら、▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定 を押す

テレビを見る つづき

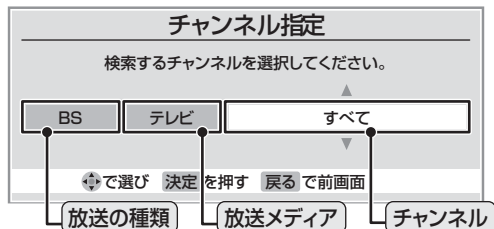
番組表で選んで見る つづき

番組表で選ぶ つづき

■「チャンネル」を指定するときは以下の操作をする

① 「番組検索」画面で、▲･▼で「チャンネル」を選び、(決定)を押してチャンネル指定画面にする

② ◀･▶で指定する項目を選び、▲･▼で内容を選ぶ

- 放送の種類：
  BS ／ CS ／地デジ／地アナ／すべて
  ※ 受信できない放送は表示されません。
- 放送メディア：
  テレビ／ラジオ（BS、110度CSのみ）／データ（地アナ以外）／すべて
- チャンネル：（「すべて」もあります）
  指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル／すべて

③ 指定が終わったら、(決定)を押す

❸ ▲･▼で「検索開始」を選び、(決定)を押す

❹「番組検索結果」画面から見たい番組を▲･▼で選び、(決定)を押す

- 「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面になります。32 の手順 **3** 以降をご覧ください。

❽ ▲･▼･◀･▶で「見る」を選び、(決定)を押す

- 選んだ番組の放送画面になります。
- 録画をするときは、31 の手順 **3** 以降をご覧ください。

■ 番組情報を見る

❶ 見たい番組を選び、[黄]を押す

ミニ番組表で選ぶ

- 2時間分の番組表を表示させて、番組を選ぶことができます。

1 [ミニ番組表]を押す

- ミニ番組表が表示されます。

- 放送の種類を変えるときは、[BS―CS]または[地デジ―地アナ]を押します。
  ラジオ／独立データ放送の番組表を見る場合は、「ラジオまたは独立放送を楽しむ」10 をご覧ください。
- BSデジタル放送や地上デジタル放送（どちらもテレビのみ）では、[クイック]を押して、放送事業者ごとの代表チャンネル表示（1CH表示）とマルチチャンネル表示（マルチ表示）の切換えができます。15
  ※ 番組表もここで選んだ表示モードに切り換わります。

2 ▲･▼･◀･▶で番組を選ぶ

- 選んでいる番組の説明を見るには、[黄]を押します。17

3 (決定)を押す

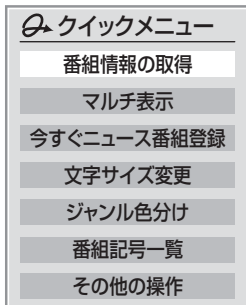
- 「番組指定録画」画面が表示されます。
  これから放送される番組を選んだ場合は、「番組指定予約」画面になります。32 の手順 **3** 以降をご覧ください。

4 ▲･▼･◀･▶で「見る」を選び、(決定)を押す

- 選んだ番組の放送画面になります。
- 録画をするときは、31 の手順 **3** 以降をご覧ください。

- 番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。
- デジタル放送の番組情報で使用される特殊文字（[多]など）は指定できません。検索の際は、番組情報内の特殊文字は自動的に除かれます。
- 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。
- 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。

クイックメニューでできること

1 番組表またはミニ番組表の画面を表示中に、クイック を押す

2 ▲･▼で項目を選び、決定 を押す

● 放送の種類や受信内容などによっては、選べない項目があります。

番組情報の取得

見ている番組表の内容を更新します。（本機からの録画中はできません）

● 情報の取得が始まります。
※ 番組情報取得中は映像、音声が出ない場合があります。

● 地上アナログ放送とBSデジタル放送の番組表の場合は番組表全体が更新されます。

● 110度CSデジタル放送の場合は、選択中の番組が含まれているネットワークの番組表全体が更新されます。

● 地上デジタル放送の場合は、番組表で選択している放送局の情報だけが更新されます。
※ 情報取得を中止するときは、番組情報取得中に クイック を押し、▲･▼で「番組情報の取得中止」を選び、決定 を押します。

● 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。

今すぐニュース番組登録

番組表で選んでいる番組を、「今すぐニュース」 34 で録画するニュース番組に登録します。
※ 録画中には登録できません。

❶ 登録内容を確認し、決定 を押す

■ 登録内容を変更したい場合

● 指定する項目を◀･▶で選び、▲･▼で内容を選んで 決定 を押します。

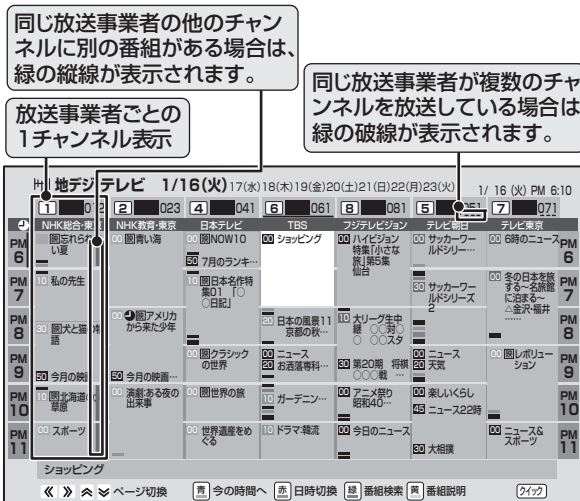
左　：曜日（毎日／毎週(日)～毎週(土)／月～木／月～金／月～土）
※ 毎週(日)～毎週(土)は、毎週指定した曜日だけ予約を実行します。

中央：番組の開始時刻

右　：番組の終了時刻
※ 録画できる時間は、最大2時間です。

❷ 終了 を押す

1CH表示／マルチ表示

「1CH表示」と「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。（BSデジタル放送と地上デジタル放送のテレビ放送のみ）

［1CH表示］

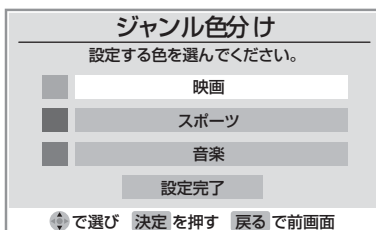
［マルチ表示］

文字サイズ変更

番組表に表示される文字の大きさを変えます。

● 変更したい文字サイズを▲･▼で選び、決定 を押します

ジャンル色分けを変更する

❶ 変更したい色を▲･▼で選び、決定 を押す

❷ ▲･▼･◀･▶でジャンルを選び、決定 を押す

● 「指定しない」を選べば、色分け表示がなくなります。

❸ ▲･▼で「設定完了」を選び、決定 を押す

次のページにつづく

テレビを見る つづき

番組表で選んで見る つづき

クイックメニューでできること つづき

■ 番組記号一覧

番組記号の説明が表示されます。

- 表示されるのは番組記号の一部です。
- 見終わったら、決定を押します。

■ チャンネル表示数設定(「その他の操作」内)

番組表に表示させる放送局数を、7チャンネル表示または6チャンネル表示から選ぶことができます。

- ▲·▼で「7チャンネル表示」、「6チャンネル表示」のどちらかを選び、決定を押します。

■ スキップチャンネル表示設定(「その他の操作」内)

「チャンネルスキップ設定」(準備編 80)で「スキップ」に設定したチャンネルを、番組表に表示させるかどうかの設定です。

- ▲·▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定を押します。

■ 番組説明表示設定(「その他の操作」内)

番組表内の詳しい番組説明を表示するかしないか設定できます。

- ▲·▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定を押します。
- 「表示しない」を選ぶと、番組表の番組説明が非表示になります。

■ 番組表明るさ設定(「その他の操作」内)

番組表の明るさを変更します。

- ▲·▼で「明るい」、「標準」のどちらかを選び、決定を押します。
- 「標準」を選ぶと、明るさが抑えられます。

■ 地デジ表示設定(地上デジタル放送のみ)(「その他の操作」内)

番組表内の放送局の表示位置を変更することができます。

- ▲·▼で「視聴チャンネル中央表示」「チャンネル順優先表示」を選び、決定を押します。
- 「視聴チャンネル中央表示」を選ぶと、視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
  「チャンネル順優先表示」を選ぶと、お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。最後に視聴していた番組の番組表を表示させるために、先頭チャンネル側の番組表が表示されないことがあります。

■ テレビ／ラジオ／データ切換(「その他の操作」内)

番組表に表示するメディアを切り換えます。

- ▲·▼で「テレビ／ラジオ／データ切換」を選び、決定を押すと、番組表に表示されるメディアが切り換わります。(放送がないメディアは選べません。)

■ ジャンル色分けの変更について

- 複数の色に同じジャンルを登録することはできません。
- 各色に設定できるジャンルはそれぞれ一つです。
- この設定は、放送の種類や放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)に対して共通の設定になります。

■ 番組説明表示について

- 番組表の番組説明とは、画面下部に表示される番組タイトルに表示されない部分です。デジタル放送では、うすい灰色で表示されます。

■ スキップチャンネル非表示／表示の設定について

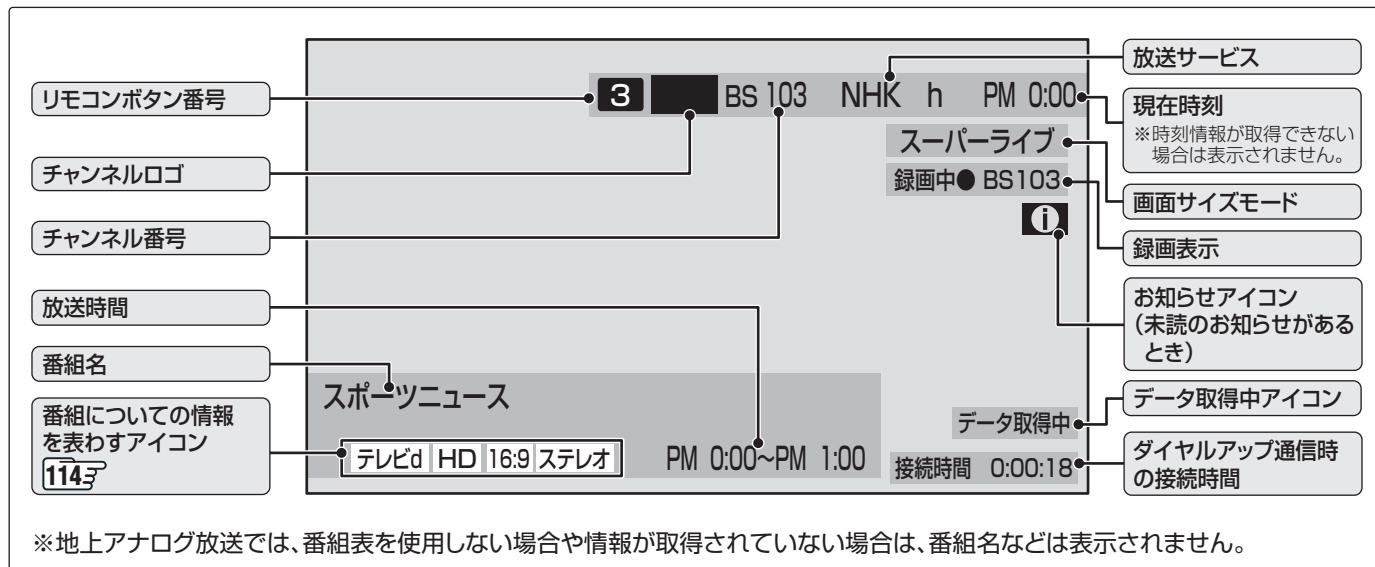
- この設定は、放送の種類や放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)に対して共通の設定になります。

便利な機能を使う

番組情報を見る

1 画面表示 を押す

- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。(数秒後、チャンネル以外の表示は消えます)
- すべての表示を消すには、もう一度 画面表示 を押してください。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。

※地上アナログ放送では、番組表を使用しない場合や情報が取得されていない場合は、番組名などは表示されません。

番組説明を見る

1 クイック を押す

2 ▲·▼で「番組説明」を選び、決定 を押す

3 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、黄 を押します。
- 情報が取得できなかったり、情報がなかったりした場合には、「詳細情報を取得できませんでした」が表示されます。

4 説明画面を消すには、決定 を押す

- 画面に表示されるアイコンについての説明は、「アイコン一覧」114 をご覧ください。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報を表示できないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限される場合があります。その場合は、番組説明の画面でアイコンを表示されます。114

タイマー機能を使う

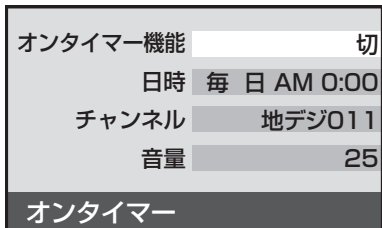
オンタイマーを使う

● オンタイマーを使うと、設定した時刻に本機の電源が自動的にはいります。オンタイマーは、デジタル放送やiNETサーバーから時刻情報を取得していない場合には使用できません。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「タイマー機能」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オンタイマー」を選び、決定を押す

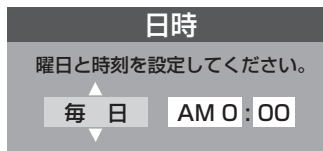
4 設定する項目を▲·▼で選び、決定を押す

オンタイマー機能

オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。

❶ ▲·▼で「オンタイマー機能」を選び、決定を押す
❷ ▲·▼で「入」を選び、決定を押す
● オンタイマー機能を使わない場合は「切」を選びます。

日時

本機の電源を「入」にする日時を設定します。

❶ ▲·▼で「日時」を選び、決定を押す
❷ ◀·▶で設定する項目を選び、▲·▼で日時を選ぶ
● 曜日は「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」の中から選びます。

❸ 設定が終わったら、決定を押す

チャンネル

電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。

❶ ▲·▼で「チャンネル」を選び、決定を押す
❷ ◀·▶で設定する項目を選び、▲·▼で内容を選ぶ
• 放送の種類 ： 地アナ／地デジ／ BS ／ CS
• チャンネル ： 設定した放送の種類に該当するチャンネル
❸ 設定が終わったら、決定を押す

音量

音量を設定します。

❶ ▲·▼で「音量」を選び、決定を押す
❷ ▲·▼でお好みの音量を選び、決定を押す

4 設定が終わったら 終了 を押す

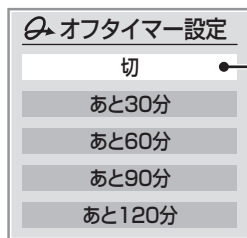
● 本体前面の「オンタイマー」表示が点灯します。

オフタイマーを使う

● オフタイマーを使うと、設定時間後に待機状態になります。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「タイマー機能」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オフタイマー」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で設定時間を選び、決定を押す

● 設定時間の1分前になると、メッセージが表示されます。
● オフタイマーが設定されているときにクイックを押すと、クイックメニューの「タイマー機能」内に、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

お知らせ

■「オンタイマー」について
● 「オンタイマー」を「入」にした後は、本体の電源ボタンで電源を切らないでください。「オンタイマー」は、電源が「待機」のときに有効です。
● 電源が「入」になってから一度も操作をしなかった場合には、約1時間後に「待機」になります。
● オンタイマーと番組予約が重なっていた場合は、オンタイマーで設定したチャンネルではなく、予約した番組で電源が「入」になる場合があります。そのときの音量は、オンタイマーの「音量」で設定した大きさです。

■「オフタイマー」について
● 本機の電源を「切」または「待機」にすると、オフタイマーの設定は取り消されます。
● 本機からの録画中にオフタイマーで設定した時間になると、画面の映像は消えますが、録画は録画時間の終了まで続けられます。

画面サイズを切り換える

● 視聴している放送や、つないだ外部機器によって、画面サイズを切り換えます。

1 画面サイズ（ふたの中）を押す

● 押すたびに以下のように切り換わります。（映像や接続機器によって、選べるモードが異なります）

● 各モードの説明は、次ページをご覧ください。

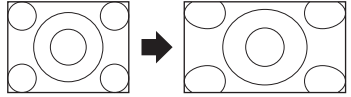
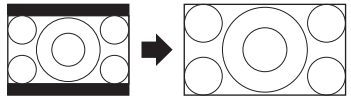
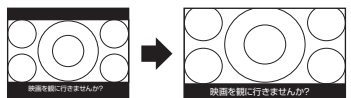
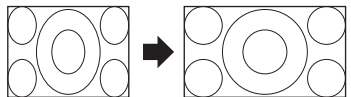
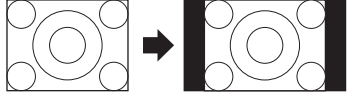
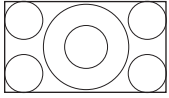
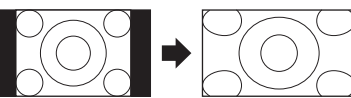
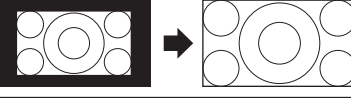
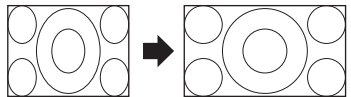
■ 放送やビデオ入力端子からの映像などを見ているとき

映像の種類	選べる画面サイズ
地上アナログ放送、デジタル放送の4：3の映像、ビデオ入力端子（480iと480pのみ）	スーパーライブ → ズーム → 映画字幕 → フル → ノーマル（→ スーパーライブへ戻る）
デジタル放送の16：9の映像	フル → HDスーパーライブ → HDズーム（→ フルへ戻る） • 画面サイズを変更した番組の放送中は、選んだ画面サイズを保持します。番組終了後、他のチャンネルを選ぶと、「フル」に戻ります。 • 電源を切ると「フル」に戻ります。
D4映像入力端子からのハイビジョン映像	フル → ノーマル → HDスーパーライブ → HDズーム（→ フルへ戻る） • 機器を操作したり、電源を切ったりすると、「フル」に戻ります。
ワンセグ	標準 → 小 → 大（→ 標準へ戻る）

■ HDMI入力端子からの映像などを見ているとき

映像や信号フォーマットの種類	選べる画面サイズ
480i、480p	ノーマル → Dot By Dot → スーパーライブ → ズーム → 映画字幕 → フル（→ ノーマルへ戻る）
VGA、SVGA、XGA、SXGA※	ノーマル → Dot By Dot → スーパーライブ → ズーム → フル（→ ノーマルへ戻る）
720p、1080i、1080p、WXGA※	ノーマル → Dot By Dot → HDスーパーライブ → HDズーム → フル（→ ノーマルへ戻る）

※ 信号フォーマットについては118ページをご覧ください

■ ゲームモードに切り換えたとき

ゲームモードにするには		選べる画面サイズ
入力切換を外部入力（「ビデオ1～4」、「HDMI1～4」）にして、映像メニュー 74ページ を「ゲーム」に設定している場合	ゲーム機をビデオ入力端子につないだ場合	ゲームノーマル → ゲームフル（→ ゲームノーマルへ戻る）
	ゲーム機をHDMI端子につないだ場合	ゲームフル → ゲームノーマル → Dot By Dot（→ ゲームフルへ戻る）

便利な機能を使う つづき

画面サイズを切り換える つづき

画面の見えかたについて

	画像サイズのモード	画面の見えかた	説　明
SD	スーパーライブ		4：3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
SD	ズーム		上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像（レターボックスといい、DVDソフトなどではケース背面などに「LB」と表示されています）を拡大して楽しむモードです。上下に黒い部分が出ることがあります。
SD	映画字幕	映画を観に行きませんか? → 映画を観に行きませんか?	レターボックスのワイド映像の下に字幕がはいっている場合に、字幕を隠れにくくするモードです。上に黒い部分が出ることがあります。
SD	フル		DVDなどのスクイーズ映像（縦に伸びて見える映像）を、ワイド映像で表示するモードです。
SD	ノーマル		4：3の映像をそのままの横と縦の比で表示します。
HD	フル		16：9の映像を画面内にすべて表示するモードです。 映像の信号によっては、周囲の映像が少し画面の外に隠れる場合があります。 ※「スキャンモード」81 で画面に表示する情報量を変更することができます。
HD	HDスーパーライブ		16：9の左右に帯のある映像をワイド画面で楽しむモードです。 画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
HD	HDズーム		16：9の上下左右に帯のある映像をワイド画面で楽しむモードです。
共通	Dot By Dot		入力信号の解像度のまま、画面に表示します。映像のない部分には黒い部分ができます。（イラストはSVGAの例です）
共通	ゲームフル		ゲームの画像をテレビ画面いっぱいに拡大して表示します。
共通	ゲームノーマル		ゲームの映像をそのままの横と縦の比で表示します。

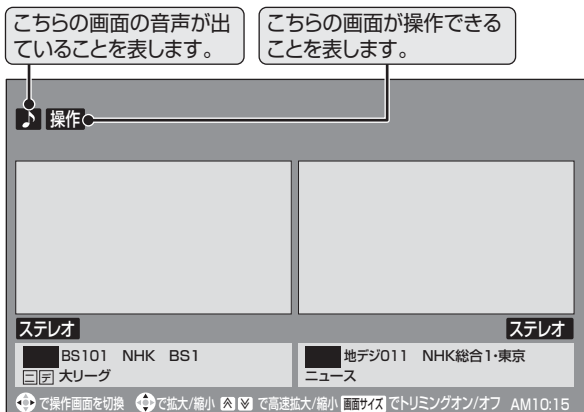
※「HDスーパーライブ」と「HDズーム」は、デジタル放送のハイビジョン放送と通常画質放送の16：9の映像で切り換えることができます。この機能は画面サイズを切り換える機能であり、放送フォーマットを変換する機能ではありません。

- クイック を押して、クイックメニューの「画面サイズ切換」からも画面サイズの切換ができます。
- このテレビは、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点をご留意の上、画面サイズのモードをお選びください。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズのモード切換機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来（通常）の4:3の映像を、「スーパーライブ」などを利用してワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、「Dot By Dot」、「ノーマル」（16：9映像の場合は「フル」）でご覧になれます。
- 本機のS2映像端子とD4映像端子では、スクイーズ映像と4：3映像時のレターボックス映像を識別できます。これらの映像の視聴時には画面サイズが自動的に「フル」や「ズーム」に切り換わります。お好みで切り換えることもできます。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組合せによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。

二画面で見るには

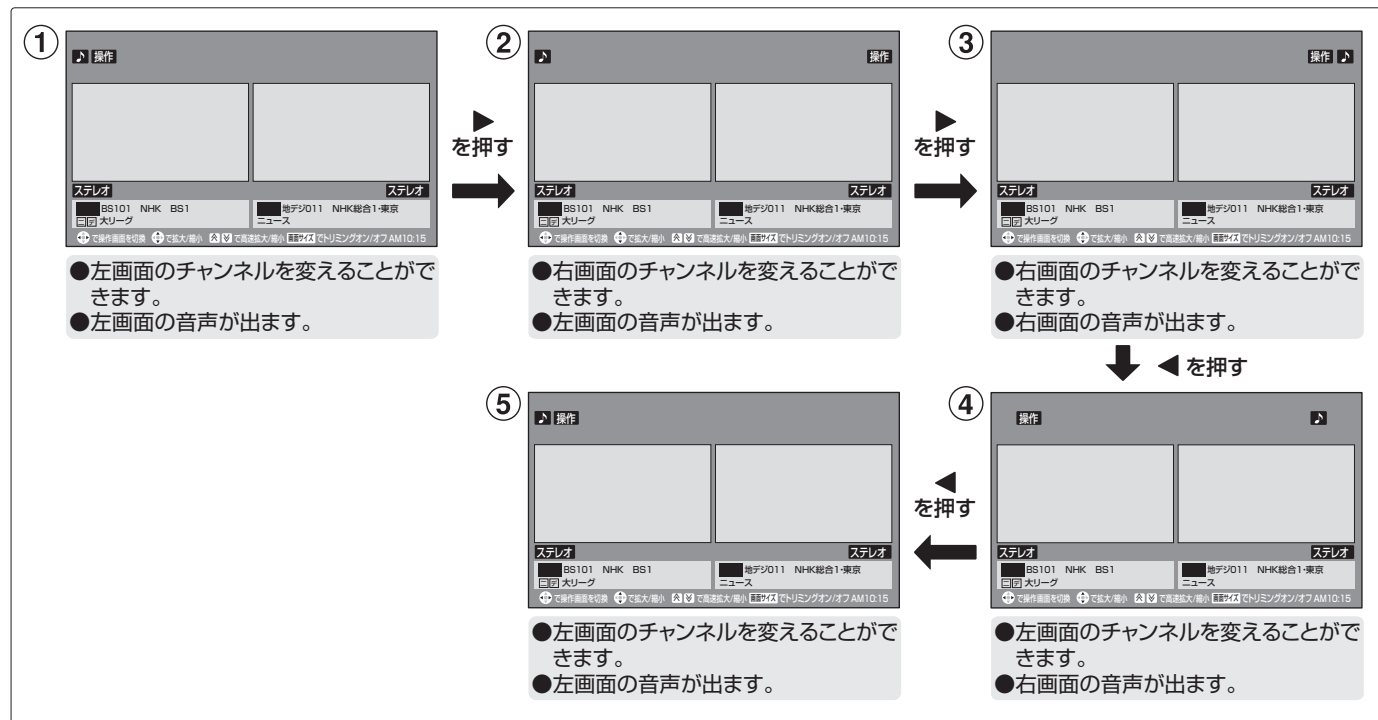
● 同時に二つの画面を表示してテレビを楽しむことができます。
● 二画面のままでチャンネルを変えることもできます。

1 二画面 を押す

● もう一度 二画面 を押すと、一画面に戻ります。

2 ◀・▶で操作したい画面を選ぶ

● 操作できる画面には♪や 操作 が表示されます。
● ◀・▶を繰り返し押すと下図のように、操作できる画面や音声が出る画面が切り換わります。
● ▲・▼を押すと、操作している画面の大きさが順に変わります。⌃・⌄を押すと、操作している画面の大きさを「最大」「通常」「最小」の3段階で変更することができます。

3 チャンネル でチャンネルを選ぶ

● 1 NHK1 ～ 12 TwellV、*1 ～ 12 でも選局できます。
● デジタル放送とCATVの場合は CH番号入力(ふたの中)を使った選局ができます。
● 入力切換 でテレビ放送と外部入力の切換えができます。
● 選んでいる番組の説明を見るには、クイック を押して「番組説明」を選びます。17

次のページにつづく

● 公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで「二画面」を使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。
● 地上アナログ放送を二つの画面に映すことはできません。
● 外部入力からの映像を二つの画面に映すことはできません。
● i.LINK端子やLAN端子に接続した機器、USBハードディスク、内蔵ハードディスク、アクトビラ、ひかりTVからの映像を二つの画面に映すことはできません。
● 二画面のときは、ラジオ放送、データ放送を視聴できません。ラジオ放送やデータ放送を視聴しているときに二画面表示にすると、最後に選んでいたテレビ放送チャンネルの映像で表示されます。
● 二画面表示のときに、インターネット機能 68 は使えません。(インターネット機能を使用中に二画面にすることはできます。23)
● 二画面表示のときに、AVシステム以外のHDMI連動対応機器を連動操作することはできません。
● 二画面表示のときに、HDMI連動機能対応機器からのワンタッチプレイはできません。
● 二画面表示でAVシステムの入力端子に接続している機器の番組などを視聴しているときは、♪を移動してもAVシステムの音声は切り換わりません。
● 本機からの録画中は二画面表示にできません。また、二画面表示中に本機からの録画が始まると、一画面表示に戻ります。

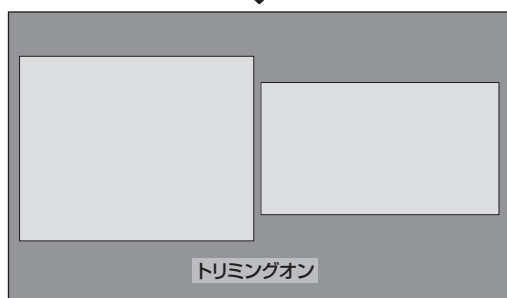
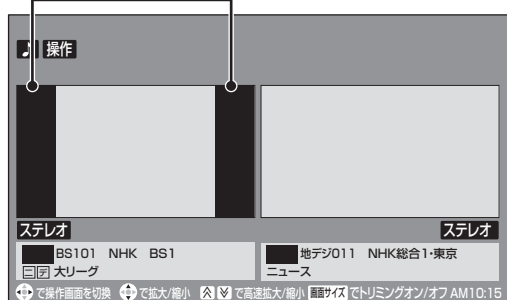
二画面で見るには つづき

左右の帯をカット(トリミング)して表示する

● 二画面表示中、左右に帯つきの16：9の映像では、左右の帯を削除して映像部分を4：3の画面で大きく表示できます。

1 16：9の映像で、左右の帯部分を削除したい画面を選び、画面サイズ(ふたの中)を押す

● 押すたびに以下のように切り換わります。

トリミングオン ⟷ トリミングオフ

● 左右の帯がカットされ、映像が大きく表示されます。
※ 左右に帯のない16：9の映像で「トリミングオン」した場合は、左右の映像が切れた状態で表示されます。

ヘッドホーンモードを設定する

● 本機にヘッドホーンをつないだときの音の出かたを設定します。
● お好みにあわせて「主画面モード」、「副画面モード」、「親切モード」から選べます。
● お買い上げ時は「主画面モード」に設定されています。

1 クイックを押し、▲･▼で「音声設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で「ヘッドホーンモード」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で希望のモードを選び、決定を押す

● 各モードでの音の出かたと音量調整のしかたは、下表をご覧ください。

■ 一画面表示のとき

モード	ヘッドホーン	スピーカー
主画面モード	音が出ます。 音量+−で調整	音が出ません。
副画面モード	音が出ます。 「親切ヘッドホーン音量」で調整	音が出ます。 音量+−で調整
親切モード	音が出ます。 「親切ヘッドホーン音量」で調整	音が出ます。 音量+−で調整

■ 二画面表示のとき

モード	ヘッドホーン	スピーカー
主画面モード	主画面(♪が表示されている画面)の音が出ます。 音量+−で調整	音が出ません。
副画面モード	副画面(♪が表示されていない画面)の音が出ます。 「副画面ヘッドホーン音量」で調整	主画面の音が出ます。 音量+−で調整
親切モード	主画面(♪が表示されている画面)の音が出ます。 「親切ヘッドホーン音量」で調整	主画面の音が出ます。 音量+−で調整

4 設定が終わったら、終了を押す

■ ヘッドホーンの音量調整のしかた

● 「主画面モード」に設定している場合は、音量+−で調整します。
● 「副画面モード」や「親切モード」に設定して、ヘッドホーンをつないでいるときは、以下の手順で調整します。

❶ クイックを押し、▲･▼で「その他の操作」を選び、決定を押す

❷ ▲･▼で「親切ヘッドホーン音量」または「副画面ヘッドホーン音量」を選び、決定を押す

※ ヘッドホーンをつないでいないときは、選べません。

❸ ◀･▶で音量を調整する

● 音量+−でも調整できます。

■ トリミング機能について
● 「トリミングオン」はクイックメニューの「画面サイズ切換」からも選ぶことができます。
● 「トリミング機能」はHDMI入力からのPCフォーマット信号には働きません。

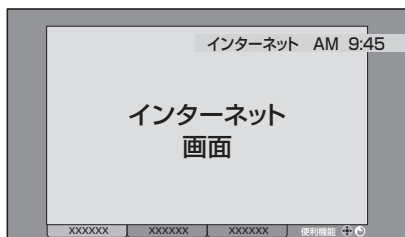
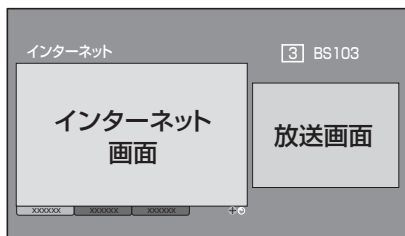
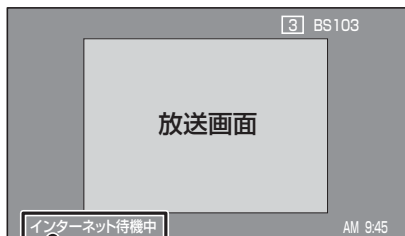
■ ヘッドホーンモードについて
● 「音声設定」は設定メニュー(ふたの中)を押してメニューから選ぶこともできます。
● ヘッドホーンモードが、副画面モードまたは親切モードのときは、消音を押してもヘッドホーン音声は消えません。
● ヘッドホーンの音声には音声メニュー、音声調整、バランスの効果は得られません。
● ヘッドホーンの音声とスピーカーの音声が少しずれて聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

インターネットを二画面で見る

● インターネット機能については 68 をご覧ください。

1 **インターネットを見ているときに 二画面 を押す**

● 押すたびに次のように切り換わります。

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

映像を一時静止させる

1 **静止 (ふたの中)を押す**

● 解除するときは 静止 をもう一度押します。

※ 一時静止中でも音声は流れ続けます。

字幕を見る

● お買い上げ時は「字幕オフ(字幕を表示しない)」に設定されています。「字幕オン」に設定すると、字幕放送になったときに字幕が表示されます。

● 字幕放送番組は、番組説明画面 17 に字のアイコンが表示されます。(表示と実際の放送が一致しない場合があります)

● 本機は地上アナログ放送の字幕放送には対応していません。

1 **字幕 (ふたの中)を押す**

● 押すたびに「字幕オン」と「字幕オフ」が切り換わります。

● 番組によっては、「字幕オン」の代わりに「日本語字幕」、「英語字幕」または「字幕1」、「字幕2」などと表示され、字幕 を押したときに字幕の言語を選べることがあります。

便利な機能を使う

お知らせ

■ **映像の一時静止について**

● ラジオ、データ放送視聴中は静止画にすることはできません。
● 本機からの録画中は静止画にすることはできません。
● 一時静止中は、字幕は表示されません。
● 一時静止中は、データ放送の操作はできません。
● 選局操作をすると、一時静止画が解除され、通常の画面になります。
● 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。

■ **字幕について**

● クイック を押して、クイックメニューの「その他の操作」内「信号切換」から「字幕切換」を選ぶこともできます。
● 本機の「デジタル放送録画出力」端子から字幕は出力されません。
● 字幕表示中に一部の操作をすると、字幕が消えます。通常画面に戻ると、再び字幕が表示されます。

便利な機能を使う つづき

音声を切り換える

● 音声多重放送番組の視聴時や複数の音声信号が放送されている場合には、主音声、副音声、主：副を切り換えたり、音声1、音声2などの音声信号を切り換えたりすることができます。

● 音声多重番組は、番組説明画面 17 に 二重音声 か 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 音声切換（ふたの中）を押す

● 押すたびに以下のように切り換わります。

放送の種類	切り換わる順番
音声多重放送の場合	主音声 → 副音声 → 主・副
複数の音声信号が放送されている場合	音声1 → 音声2 → 音声3…

（例：音声多重番組で、主音声が日本語、副音声が英語の場合）

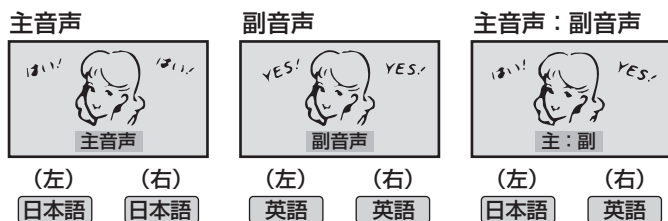
主音声

（左）日本語 （右）日本語

副音声

（左）英語 （右）英語

主音声：副音声

（左）日本語 （右）英語

映像、音声、データを切り換える

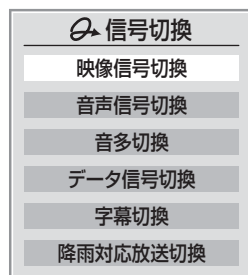
● デジタル放送では、一つの番組内に複数の映像や音声、データがある場合があり、お好みで選択することができます。

● 映像、音声、データが切り換えられる番組は、番組説明画面 17 に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 クイック を押す

2 ▲·▼で「その他の操作」を選び 決定 を押す

3 ▲·▼で「信号切換」を選び、決定 を押す

4 切り換えたい項目（「映像信号切換」「音声信号切換」「データ信号切換」）を▲·▼で選び、決定 を押す

5 視聴したい映像、音声、データを▲·▼で選び、決定 を押す

● 「音声信号」は 音声切換 を押して、切り換えることもできます。

お知らせ

■ 音声多重放送の切換えについて

● LANハードディスクやDLNA認定サーバー（準備編 64）に保存されている番組の再生時は、音声切換 を押してステレオ音声の切換えができます。

● クイック を押して、「その他の操作」内「信号切換」から「音多切換」を選ぶこともできます。

■ 映像、音声、データの切換えについて

● 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます。（基本の信号を選択した状態になります）

● 映像の切換と同時に音声も切り換わる場合もあります。（これをマルチビューサービスといいます）

降雨対応放送について

● BSまたは110度CSデジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まったときには、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。

※ 次のメッセージが表示された場合は、降雨対応放送に切り換えてください。

> 電波の受信状態が良くありません。
> クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。
> コード：E201

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「その他の操作」を選び 決定 を押す

3 ▲·▼で「信号切換」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼で「降雨対応放送切換」を選び、決定 を押す

5 ▲·▼で「降雨対応放送」を選ぶ

● 降雨対応放送をやめるには「通常の放送」を選んでください。

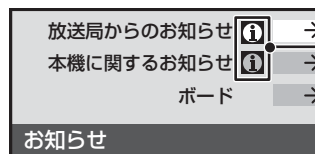
お知らせを見る

● お知らせには、「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」、「ボード」の3種類があります。

● 未読のお知らせ（「ボード」を除く）があると、チャンネル切換時や 画面表示 を押したときに画面に「お知らせアイコン」が表示されます。

1 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲·▼で「お知らせ」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼でお知らせの種類を選び、決定 を押す

未読のお知らせがある場合はオレンジ色に表示されます。

- **放送局からのお知らせ**・・・・・ デジタル放送局からのお知らせです。
- **本機に関するお知らせ**・・・・・ 録画予約などについて、本機が発行したお知らせです。
- **ボード**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

4 ▲·▼で読みたいお知らせを選び、決定 を押す

● 読み終わったら 終了 を押します。

■「本機に関するお知らせ」を削除する場合

※ 削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

❶「本機に関するお知らせ」の画面で、青 を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

※ 本機に関するお知らせがすべて削除されます。

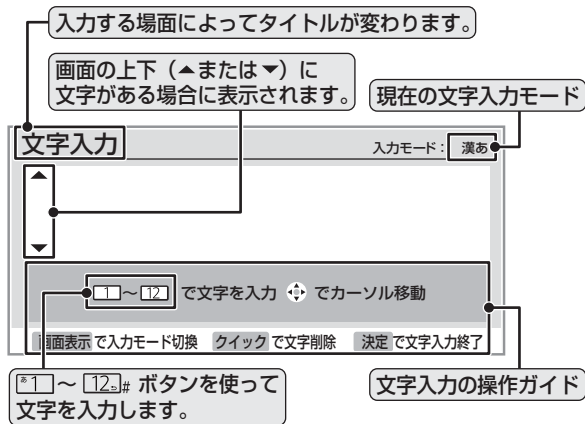
お知らせ

■ 降雨対応放送について
- ● 通常の放送よりも画質が低下します。
- ● 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。
- ● 本機からの録画中に自動的に降雨対応放送に切り換わる場合があります。

■「お知らせを見る」について
- ●「放送局からのお知らせ」は、地上デジタルが7通まで記憶され、BSデジタルと110度CSデジタルは、合わせて24通まで記憶されますが、放送局の運用によってはそれよりも少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- ●「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。

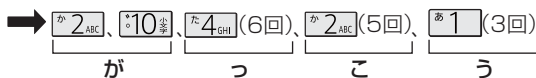
便利な機能を使う つづき

文字入力をする

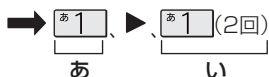
● 番組検索のキーワード検索でフリー入力を選んだ場合や、通信設定などの場面で文字入力画面が表示されます。

1 **文字入力画面で[あ1]～[12]を押して、文字を入力する**

● 携帯電話で文字を入力するような操作で文字を入力します。

入力例：がっこう

➡ [か2ABC]、[10小文字]、[た4GHI](6回)、[か2ABC](5回)、[あ1](3回)
が っ こ う

● 濁点(゛)や半濁点(゜)を入力するには、文字に続けて[10小文字]を押します。

● 小文字(っ、ゃ、ゅなど)にするには、大文字に続けて[10小文字]を押す方法もあります。確定前であれば[10小文字]を押すたびに大文字と小文字が切り換わります。

入力例：あい

● 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、最初の文字を入力したあと、▶を押してから次の文字を入力します。

● 文字入力モードを変えるときは[画面表示]を押します。

2 **漢字に変換しないときは(決定)を押す**
漢字に変換するときは▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら(決定)を押す

● 希望する漢字に変換されない場合は、◀·▶で変換する範囲を変え、▲·▼で再度変換します。

● すべての入力が終わったら、(決定)を押して文字入力を終了します。

■ 文字入力モード

「漢あ」：漢字変換モード	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」：全角カナモード	カタカナを入力できます。
「ａＡ」：全角英字モード	全角の英字を入力できます。
「abAB」：半角英字モード	半角の英字を入力できます。
「１２」：全角数字モード	全角の数字を入力できます。
「1234」：半角数字モード	半角の数字を入力できます。
「全角記号」：全角記号モード	全角の記号を入力できます。
「半角記号」：半角記号モード	半角の記号を入力できます。
「定型文」：定型文モード	定型文を入力できます。

● 文字入力の場面によっては、使用できる文字入力モードの種類が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。

■ 入力文字一覧表

リモコン	文字入力モード			
	漢字変換モード	全角カナモード	英字モード	数字
あ1	あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ	ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ	1→2→3→4→5→6→7→8→9→0	1
か2ABC	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ→ヵ→ヶ	a→b→c→A→B→C	2
さ3DEF	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f→D→E→F	3
た4GHI	た→ち→つ→て→と→っ	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ	g→h→i→G→H→I	4
な5JKL	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l→J→K→L	5
は6MNO	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o→M→N→O	6
ま7PQRS	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s→P→Q→R→S	7
や8TUV	や→ゆ→よ→ゃ→ゅ→ょ	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ	t→u→v→T→U→V	8
ら9WXYZ	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z→W→X→Y→Z	9
10小文字 0	゛→゜→小文字変換	゛→゜→小文字変換	小文字変換	0
わをん11、。 *	わ→を→ん→ゎ→、→。→ー→␣(スペース)	ワ→ヲ→ン→ヮ→、→。→ー→␣(スペース)	※1	*
12 #	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	#

※１：全角英字の場合……。→／→：→ー→＿→～→＠→␣(スペース)
　　　半角英字の場合…….→/→:→-→_→~→@→␣(スペース)
※２：文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

● 最後の候補までいくと、次は最初の候補に戻ります。

● 文字入力モードが「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

■ **入力した文字は、次のように表示されます。**
● 入力中の文字：黄色背景
● 未確定の文字：白色背景
● 漢字変換候補選択中の文字：灰色背景
● 確定した文字：背景なし

● 確定せずに変換できるのは4文節までです。4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。

● 漢字候補選択時に(戻る)を押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

● データ放送番組視聴時の文字入力の場面では、ほとんどの場合、番組が指定する方法で文字を入力します。

文字の挿入や削除をするには

文字を挿入する場合は、▲·▼·◀·▶で文字を挿入したい場所を選び、文字を入力する

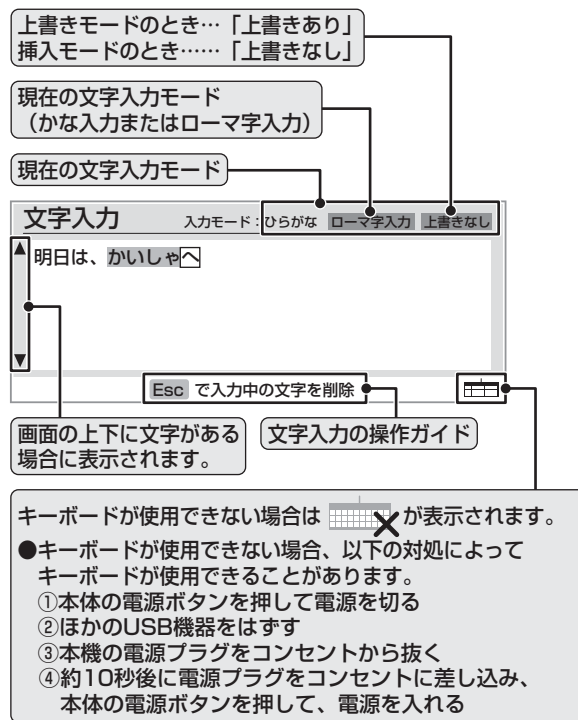
文字を削除する場合は、クイックを短く押す

- カーソルの右に文字がない場合は、カーソルより左の1文字を削除します。
- カーソルの右に文字がある場合は、カーソルより右の1文字を削除します。

■ 文字列が確定されている場合でクイックを押し続けたとき

- カーソルより右に文字列がない場合は、カーソルより左の文字をすべて削除します。
- カーソルより右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字をすべて削除します。

市販のUSBキーボードを使う

- 本機のUSB端子にキーボードをつなぐと、文字入力や、いくつかの機能の操作をすることができます。
- 接続については、準備編 50 をご覧ください。

❶ 日本語入力モードの切換え

- Alt と カタカナ ひらがな ローマ字 を同時に押すと、ローマ字入力とかな入力が切り換わります。

❷ 文字入力モードの選択

- 文字入力モードは次の四つから選びます。
  （ひらがな／カタカナ／全角英数／半角英数）
  ※キーボード入力では定型文モードは使用できません。
- モード間の切換えは以下のとおりです。

入力モードの切り換わり	押すキー
ひらがな⇔カタカナ	無変換
ひらがな⇔全角英数	Capslock 英数
全角英数⇔半角英数	Shift ＋ 無変換 （いっしょに押す）

❸ 文字の入力

- 漢字に変換するときは、ひらがなモードで入力してから、スペースキーで漢字に変換します。

- キーのイラストは一例です。キーボードによっては異なる場合があります。
- 本機で市販のキーボードを使う場合の動作について、詳しくは準備編 102 をご覧ください。

録画・予約をする

● 内蔵ハードディスクや、接続した録画機器にデジタル放送を録画することができます。録画中に他の放送やチャンネルを見ることもできます。（地上アナログ放送やビデオ入力からの信号を録画することはできません）

■ 使用できる録画機器

録画機器	録画の説明
内蔵ハードディスク	内蔵ハードディスクに放送を録画できます。
デジタル放送録画出力端子に接続した機器 （ビデオやDVDなど）	自動録画機能※1のある機器に、本機からの操作でデジタル放送の予約や録画ができます。 自動録画機能※1のない機器の場合は、録画機器側で録画や予約の操作をしてください。 （※1「自動録画機能」････映像信号の入力を検出して、接続機器が自動録画する機能）
東芝RDシリーズ （東芝製ビデオレコーダー）	「テレビdeナビ予約」で放送を録画できます。「テレビdeナビ予約」には以下の二つの種類があります。 ■ 東芝RDアナログでの予約･････ 本機のデジタル放送録画出力端子からの信号（テレビ放送のみ）を録画します。※ ハイビジョンでの録画はできません。 ■ 東芝RDデジタルでの予約･････ 東芝RDシリーズで受信したデジタル放送（テレビ放送のみ）を録画します。（デジタルチューナーを内蔵した東芝RDシリーズでのみできます） 「東芝RDデジタルでの予約（録画）のご注意」41 もご覧ください。
i.LINK接続した機器	i.LINK端子に接続したハードディスクビデオレコーダーやD-VHSビデオに録画できます。
LANハードディスク	LAN端子に接続したLANハードディスクに録画できます。※ DLNA認定サーバー（準備編 64）への録画はできません。
USBハードディスク	本機背面の録画専用端子に接続したUSBハードディスクに録画できます。
東芝レコーダー （HDMI連動機能対応機器）	東芝レコーダーで受信したデジタル放送（テレビ放送のみ）を録画します。 「HDMI連動機能対応東芝レコーダーでの予約（録画）のご注意」41 もご覧ください。
SDメモリーカード （42ZH7000を除く）	内蔵ハードディスクに録画したワンセグを、SDメモリーカードにダビングして携帯機器で見ることができます。**（SDメモリーカードに直接録画することはできません）** ※ SDメモリーカードにワンセグをダビングする前に、お使いになる携帯機器側が対応しているSDメモリーカードの容量をご確認されることをおすすめします。

■ 接続・設定と録画前の準備

録画機器	接続・設定	録画前の準備
内蔵ハードディスク	準備編 93～94	内蔵ハードディスクの残量と録画数を確認し、不要な番組は削除してください。 ※ 内蔵ハードディスクについては次ページもご覧ください
デジタル放送録画出力端子に接続した機器 （ビデオやDVDなど）	準備編 39～40 45、48	録画できるビデオテープやディスクを入れておきます。 自動録画機能については、機器の取扱説明書をお読みください。
東芝RDシリーズ （東芝製ビデオレコーダー）	準備編 41～44	**録画や予約の設定をする前に、東芝RDシリーズの電源を入れておきます。** （予約設定後は、電源を「待機」にしてもかまいません。） ※ 残量と番組の記録数を確認し、不要な番組は削除してください。 ※ 録画先はハードディスクのみです。（DVDに直接録画はできません。）
i.LINK接続した機器	準備編 67～69	i.LINK機器が本機からの入力と制御で動作する設定になっていることを確認します。ハードディスクビデオレコーダーに録画する場合は、残量と番組の記録数を確認し、不要な番組は削除しておきます。D-VHSに録画する場合はビデオテープを入れておきます。 ※ D-VHSビデオをVHSモードやS-VHSモードで使うときは、ビデオの場合と同じ接続・設定・準備をしてください。
LAN ハードディスク	準備編 58～63	LANハードディスクの電源を入れておきます。 残量と番組の記録数を確認し、不要な番組は削除しておきます。
USB ハードディスク	準備編 55～57	USBハードディスクの電源を入れておきます。 残量と番組の記録数を確認し、不要な番組は削除しておきます。 ※ 録画予約をしてから録画が始まるまでの間にUSBハードディスクをつなぎ替えた場合は、予約開始時につないでいるUSBハードディスクに録画されます。
東芝レコーダー （HDMI連動機能対応機器）	準備編 41～44 52	ハードディスクの残量と番組の記録数を確認し、不要な番組は削除しておきます。 ※ ハードディスクにのみ録画予約できます。（DVDに直接録画はできません）

● デジタル放送の録画予約をしてから録画が始まるまでの間は、本体の電源ボタンで電源を「切」にしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。予約開始時刻までに電源を「入」にしても、正しく録画されない場合があります。（リモコンの電源で「待機」にすることはできます。）

■ 録画・予約の種類

見ている番組を録画する	➡	30 (録画)
番組表で番組を指定して録画する	➡	31、32 (番組指定録画／予約)
視聴だけを予約する	➡	32、37 (視聴予約)

※ 右記もできます。
- 連ドラ予約をする 33
- 今すぐニュースを使う 34
- 携帯機器用にワンセグを録画する(42ZH7000を除く) 37
- 日時を指定して予約する 37
- Eメールなどを利用して、外出先から録画予約する 35

■ 内蔵ハードディスクに録画できる時間の目安

(例) 設定条件:「今すぐニュース番組登録」(準備編 93)で地上デジタル放送の60分番組をHDレートで設定している場合。
- 地上デジタル放送の場合:HDレート約29時間、SDレート:約74時間
- BS・110度CSデジタル放送の場合:HDレート約24時間、SDレート:約74時間

※ 上記の録画時間は、あくまでも目安です。(録画時間は、設定条件によって変わります)
また、画面に表示される録画可能時間(44 、 49)は、録画時に容量不足とならないように少なめに表示しています。
※「自動削除設定」(準備編 93)が「する」の状態(お買い上げ時の状態)では、約2時間分の録画領域を確保するので、録画時間が上記の時間よりも少なくなる場合があります。

■ SDメモリーカードにワンセグを保存できる時間の目安 (42ZH7000を除く)

- 1GB:約5時間
- 2GB:約10時間

内蔵、USB、LANハードディスクに録画する際の重要なお知らせ

- **内蔵ハードディスクに短い時間(1分程度まで)の録画をした場合は、自動的に削除される場合があります。**
- 内蔵ハードディスクには、ラジオ放送や独立データ放送は録画できません。(「今すぐニュース」で録画した場合も同様です。)
- **古い録画番組の自動削除機能について**
  お買い上げ時には「内蔵ハードディスク設定」、「USBハードディスク設定」、「LANハードディスク設定」の「自動削除設定」(準備編 56 、 65 、 94)が「する」に設定されています。
  この状態では以下の場合に、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されます。
  - 録画の終了時に、ハードディスクの残量が約2時間分より少なくなった場合。(「録画再生設定」の「ダイレクト録画時間」(準備編 54)で連続録画時間を変更していた場合は、その設定時間分より少なくなった場合)
  - 録画予約の実行時にハードディスクの残量が足りない場合。

※ 保護した番組の録画容量が多い場合には、録画できる時間が短くなったり、録画ができなくなったりしますのでご注意ください。
自動削除機能を使わない場合は、「自動削除設定」を「しない」に設定してください。

- 地上アナログ放送、CATV放送、外部入力端子等につないだ機器の映像・音声は、本機の録画・予約機能で録画することはできません。ラジオと独立データ放送はi.LINK端子につないだ機器にだけ録画できます。
- 予約できる番組数は、録画予約と視聴予約を合わせて32番組までです。
- 録画予約実行中に停電が発生したり、電源プラグを抜いたりすると、録画予約は中止されます。(内蔵ハードディスクに録画していた場合は、途中まで録画した番組は残りません)
- デジタル放送録画出力端子を使って録画した場合、映像フォーマットは480iに、音声は2チャンネルに変換されます。(ハイビジョンでの録画はできません)また、字幕放送番組の字幕、番組連動データ放送のデータ、独立データ放送は録画できません。
- i.LINK機器や内蔵ハードディスクUSBハードディスク、LANハードディスクに録画した番組を再生するには 44 、 50 をご覧ください。
- 録画予約実行時に自動削除機能によって削除される番組が多いときは、番組の冒頭部分が録画されない場合があります。
- 録画予約開始前に、再生が自動的に停止することがあります。
- 本機の「ワンセグ録画機能」で録画した番組を、SDメモリーカード経由で視聴できる携帯機器　－2008年9月現在－
  形名:au携帯:W52T、W53T、W54T、W56T、W61T、W62T、W64T　ソフトバンク携帯:912T、920T、921T
  ギガビート:gigabeat V41(L/N/K)、V81(K)

録画・予約をする つづき

見ている番組を録画する（録画）

● 録画の概要と録画前の準備などについては 28 をよくお読みください。

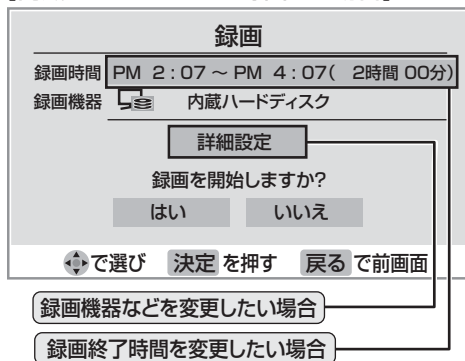
1 デジタル放送を見ているときに［録画］を押す

● 本体左側面の［●録画］で録画することもできます。
その場合は、以下の手順 **2** の画面は表示されずに、内蔵ハードディスクに録画が始まります。

2 録画終了時刻・録画機器を確認する

● お買い上げ時は、録画終了時刻が2時間後に設定されています。変更するときは、▲·▼で「録画時間」を選び、（決定）を押した後、◀·▶で「時」または「分」を選び、▲·▼で終了時刻を設定します。設定できる時間は、最大23時間59分です。

※「レグザリンク設定」内の「ダイレクト録画時間」（準備編 51）で、あらかじめ録画開始からの録画終了時間を設定することができます。

【内蔵ハードディスクに録画する場合】

■ 録画機器の欄に表示される内容

録画機器	表示される名称
内蔵ハードディスクに録画するとき	「内蔵：ハードディスク」
デジタル放送録画出力端子に接続した機器（ビデオやDVDなど）に録画するとき	「REC OUT デジタル放送録画出力」 「REC OUT デジタル放送録画出力（連動録画）」 ※右のお知らせをご覧ください。
i.LINK接続した機器に録画するとき	「i.LINK1：メーカー名：形名」 など
LANハードディスクに録画するとき	「LAN1：接続した機器の形名」 など
USBハードディスクに録画するとき	「USB：接続した機器の登録名」 など
東芝RDシリーズに「テレビdeナビ予約」で録画するとき	「東芝RDアナログ」 （「東芝RDアナログでの予約（録画）」をする場合に選ぶ） 「東芝RDデジタル１～３」 （「東芝RDデジタルでの予約（録画）」をする場合に選ぶ）
HDMI連動機能に対応した東芝レコーダーに録画するとき	「HDMI1：接続した機器の形名」 など

3 録画機器の準備をする

● 28 の「接続·設定と録画前の準備」をご覧ください。

4 ◀·▶で「はい」を選び、（決定）を押す

● 録画が始まります。

■ HDMI連動機能対応東芝レコーダーの場合

● 録画設定の結果メッセージが表示されるまで、しばらくお待ちください。

■ LANハードディスクのユーザー名とパスワード入力画面が表示されたとき

❶ ▲·▼·◀·▶で「ユーザー名」を選び、（決定）を押す
● 文字入力画面が表示されます。「文字入力をする」26 を参照して、ユーザー名を入力してください。

❷ 同様にして「パスワード」も入力する

❸ 次回の入力を省略したい場合は、▲·▼で「次回入力」の欄に移動し、◀·▶で「しない」を選ぶ

❹ ▲·▼·◀·▶で「入力完了」を選び、（決定）を押す

※ LANハードディスク側でユーザー名やパスワードを変更した場合は、ユーザー名とパスワードの入力が必要になります。

■ 録画中に［ちょっとタイム再生 ▶/II］を押した場合

● 録画した部分からのちょっとタイム再生が始まります。
● リモコンでの一時停止・早送り・早戻しなどの操作は 43 をご覧ください。

■ 録画を停止したい場合

❶ ［終了］または［■］を押す。
❷ メッセージが表示されている間に、もう一度［終了］を押す。
● 以下の場合も録画を中止します。
• 内蔵ハードディスクの残量がなくなった場合
• 予約開始時刻になった場合

● 録画機器側で設定した予約録画の待機中や録画中の場合は、それらが中止されたり、本機からの録画ができなかったりすることがあります。
● 本機からの録画中は本機の一部の操作が制限されます。録画機器側の制限についてはそれぞれの取扱説明書でご確認ください。
● 録画ボタンで録画をしているときに予約録画の開始時刻になると、録画は中止されます。
● 録画機器「REC OUT」を選んだ場合に画面に表示される名称は、「デジタル放送録画出力設定」（準備編 49）の設定によって、以下のように変わります。
・「常時出力」に設定した場合：
「REC OUT デジタル放送録画出力」
・「録画時出力」、「再生時出力」に設定した場合：
「REC OUT デジタル放送録画出力（連動録画）」

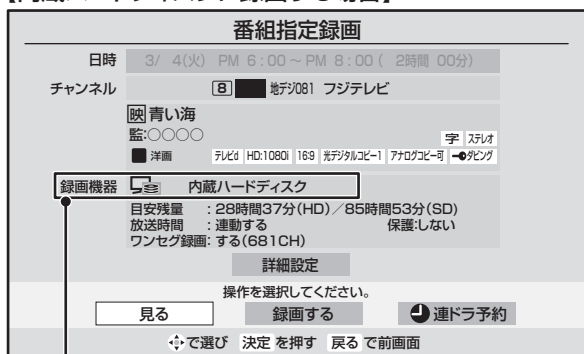
番組表から録画する（番組指定録画）

● 録画の概要と録画前の準備などについては 28 をよくお読みください。
※ 操作の途中でメッセージが表示された場合は、41 をご覧ください。

1 番組表 を押す

2 現在放送中の録画したい番組を▲･▼･◀･▶で選び、決定 を押す
● 番組検索結果 13 からもできます。

3 録画先などを確認する
● 録画先や設定を変更する場合は、▲･▼･◀･▶で「詳細設定」を選び、決定 を押して設定をします。38、39

【内蔵ハードディスクに録画する場合】

4 録画機器の準備をする
● 28 の「接続・設定と録画前の準備」をご覧ください。

5 ▲･▼･◀･▶で「録画する」を選び、決定 を押す
※「REC OUT デジタル放送録画出力」を録画機器に選んでいる場合は、◀･▶ で「はい」を選び、決定 を押してください。
※ 視聴制限の画面が表示された場合は、画面の操作説明に従って操作してください。

LANハードディスクのユーザー名とパスワード入力画面が表示されたとき

❶ ▲･▼･◀･▶で「ユーザー名」を選び、決定 を押す
● 文字入力画面が表示されます。「文字入力をする」26 を参照して、ユーザー名を入力してください。

❷ 同様にして「パスワード」も入力する

❸ 次回の入力を省略したい場合は、▲･▼で「次回入力」の欄に移動し、◀･▶で「しない」を選ぶ

❹ ▲･▼･◀･▶で「入力完了」を選び、決定 を押す
※ LANハードディスク側でユーザー名やパスワードを変更した場合は、ユーザー名とパスワードの入力が必要になります。

● 予約録画開始時に本機の電源が「切」または「待機」だった場合は、録画が始まっても映像や音声は出ません。
● 地上デジタル放送で放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
● 複数の番組が連続して予約されているとき、番組の最後の部分が録画されないことがあります。
● 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。12（東芝RDデジタル、東芝レコーダーは除く）
● 録画予約の「放送時間」が「連動する」に設定されている場合で、録画予約番組の放送時間が遅延・延長などで視聴予約の開始時刻と重なったときは、視聴予約が取り消されます。

録画・予約をする つづき

番組表から予約する(番組指定予約)

● 録画の概要と録画前の準備などについては、28 をよくお読みください。
※ 操作の途中でメッセージが表示された場合は、41 をご覧ください。

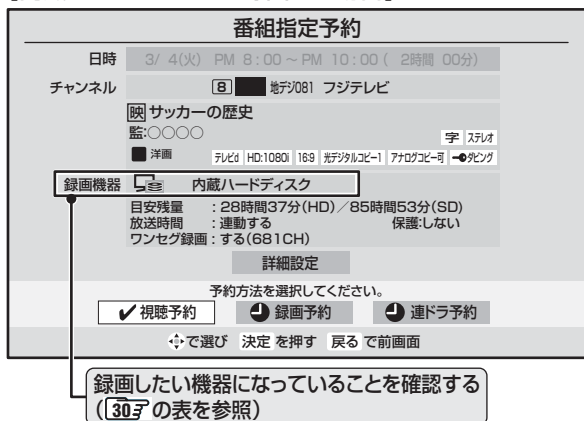
1 番組表 を押す

2 録画したい番組を▲・▼・◀・▶で選び、決定 を押す

● 番組検索結果 13 からもできます。
● 地上アナログ放送の番組は、視聴予約のみできます。

3 録画先などを確認する

● 録画先や設定を変更する場合は、▲・▼・◀・▶で「詳細設定」を選び、決定 を押して設定をします。38 39

【内蔵ハードディスクに録画する場合】

4 ▲・▼・◀・▶で「録画予約」、「視聴予約」、「連ドラ予約」、「毎予約」のどれかを選び、決定 を押す

- **視聴予約**…………これから放送される番組の視聴だけをします。録画はされません。「視聴予約」の場合はこれで予約完了です。
- **録画予約**…………これから放送される番組を録画します。
- **連ドラ予約**………ここで予約した番組を連ドラ予約します。連続ドラマなどを最終回まで録画する場合などに便利な機能です。
  ※ 録画先に内蔵、USB、LANハードディスクを選んでいるときにだけ選択できます。
  ※ 次ページの詳しい説明をお読みください。
- **毎予約**……………1回の予約で、同じ番組を毎回録画します。(「予約日時」を選ぶと、録画したい曜日や時間を変更することができます。)
  ※ 録画先にHDMI連動機能対応の東芝レコーダーを選んでいるときにだけ「連ドラ予約」のかわりに表示されます。
- **予約日時**…………予約日を毎日や毎週に変更する場合は「はい」を選び、決定 を押したあと、37 の手順 **3** 以降を行います。

● 予約日時変更をした場合、以下のようになります。
- 視聴制限(準備編 91)は解除されません。
- 録画予約では放送時間連動の設定はできません。

※「REC OUT デジタル放送録画出力」を録画機器に選んでいる場合は、◀・▶で「はい」を選び、決定 を押してください。

LANハードディスクのユーザー名とパスワード入力画面が表示されたとき

❶ ▲・▼・◀・▶で「ユーザー名」を選び、決定 を押す
● 文字入力画面が表示されます。「文字入力をする」 26 を参照して、ユーザー名を入力してください。

❷ 同様にして「パスワード」も入力する

❸ 次回の入力を省略したい場合は、▲・▼で「次回入力」の欄に移動し、◀・▶で「しない」を選ぶ

❹ ▲・▼・◀・▶で「入力完了」を選び、決定 を押す

※ LANハードディスク側でユーザー名やパスワードを変更した場合は、ユーザー名とパスワードの入力が必要になります。

5 録画機器の準備をする

● 録画開始時刻前までに準備します。28 の「接続・設定と録画前の準備」をご覧ください。

● 視聴予約をした番組に切り換わるのは、本機の電源が「入」のときだけです。ただし、録画をしているときには、視聴予約は取り消されます。
● 地上デジタル放送で放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
● 複数の番組が連続して予約されているとき、番組の最後の部分が録画されないことがあります。
● 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。12 (東芝RDデジタル、東芝レコーダーは除く)
● 録画予約の「放送時間」が「連動する」に設定されている場合で、録画予約番組の放送時間が遅延・延長などで視聴予約の開始時刻と重なったときは、視聴予約が取り消されます。

連ドラ予約をする

● 「番組指定予約」画面で「連ドラ予約」を選ぶと、「連ドラ予約」をすることができます。
※「連ドラ予約」は、録画機器が内蔵、USB、LANハードディスクのときに設定できます。

1 番組表 を押す

● 番組検索結果 13 からも予約できます。

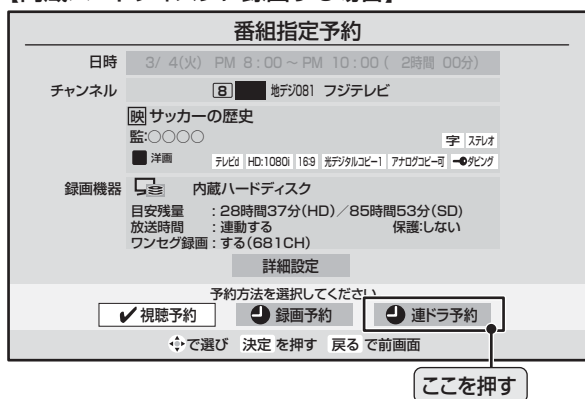
今見ている番組を「連ドラ予約」する場合

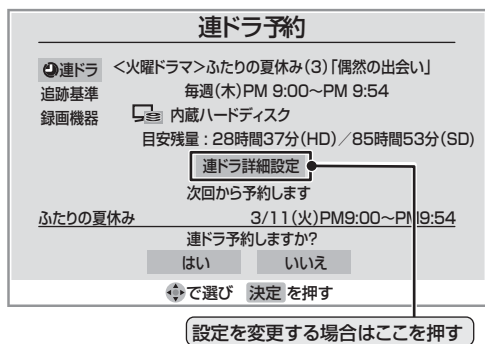
❶ クイック を押し、▲·▼で「連ドラ予約」を選び 決定 を押す

❷ 手順 **4** 以降をする

2 連ドラ予約したい番組を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押す

3 録画先を内蔵、USB、LANハードディスクのいずれかに設定し、▲·▼·◀·▶で「連ドラ予約」を選び、決定 を押す

【内蔵ハードディスクに録画する場合】

4 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

● 録画予約する曜日などが正しく表示されているか確認してください。録画先などを変更する場合は以下をご覧ください。

「連ドラ詳細設定」を変更する場合

● 録画機器や追跡基準となるキーワードなどの内容を変更できます。

❶ ▲·▼で「連ドラ詳細設定」を選び、決定 を押す

「追跡キーワード」を変更する場合

● 追跡基準となるキーワードの内容を変更します。

① ▲·▼で「追跡キーワード」を選び、決定 を押す

● 文字入力画面が表示されます。文字の入力や削除の方法は 26 をご覧ください。

「追跡基準」を変更する場合

● 追跡基準となる曜日、時間を変更できます。

① ◀·▶で設定する項目を選び、▲·▼で日時を設定する

❷ ▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定 を押す

連ドラ予約をするときに

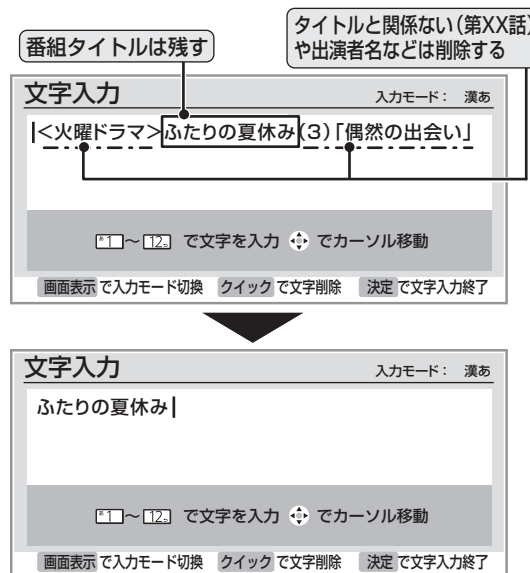
■ 連ドラ予約の動作について

● 連ドラ予約は、追跡基準（指定した番組の放送曜日と開始時刻）と、追跡キーワード（番組名などのキーワード）をもとに次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。

※ 録画する番組の検索は、手順 **4** などの画面に表示される追跡基準（開始時刻）の前後約２時間ずつについて行われます。

● 追跡キーワードには連ドラ予約した番組の番組名、追跡基準には連ドラ予約した番組の放送日時が自動設定されます。

● より正確に連ドラ予約で録画予約をするために、手順 **4** で「追跡基準」の内容が正しく表示されているかを確認後、「追跡キーワード」を編集することをおすすめします。

「追跡キーワード」を編集する場合の例

● 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約できません。
● 連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合は、追跡基準の日時で録画をします。
● 追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されませんが、その場合に追跡基準の日時に録画をさせることもできます。
● ナイターなどでの直前の放送時間延長にも対応します。
● 映 などの囲い文字は、追跡キーワードでは、[映]などになります。また、漢字の旧字など文字によっては、表示されない場合があります。

録画・予約をする つづき

「今すぐニュース」機能

※ 29ﾃﾞの「内蔵、USB、LANハードディスクに録画する際の重要なお知らせ」もよくお読みください。
※「今すぐニュース」は、内蔵ハードディスクだけに録画できます。

「今すぐニュース」とは…

● 今すぐニュース を押すと、自動録画されたニュース番組を再生することができます。

以下の準備が必要です

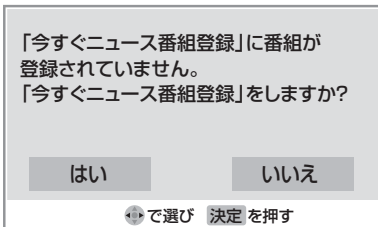
あらかじめ、どのニュース番組を自動録画するのかを登録しておきます。(放送の種類、チャンネル、曜日等と時刻を登録します。)
登録には、自動登録と手動登録があります。

● 自動登録は「はじめての設定」(準備編 32ﾃﾞ)の手順の中で行いますが、未登録の場合は以下の操作手順によって自動登録画面に進むことができます。
● 手動登録する場合は、「今すぐニュース番組登録」(準備編 93ﾃﾞ)をご覧ください。
● 番組表でニュースを選んだ状態から クイック を押し、「今すぐニュース番組登録」で番組を登録することもできます。

「今すぐニュース」を使う

1 **今すぐニュース を押す**
● 自動録画された番組が再生されます。
● 早送り、早戻しなどをするには、リモコンボタンで操作してください。

2 [再生を停止するには]
■ を押す
● 終了 でも停止できます。

■ 今すぐニュース を押したときに、次のメッセージが表示された場合

● 「今すぐニュース」で録画する番組が登録されていません。
自動登録をする場合は、◀·▶で「はい」を選び、決定 を押してください。

「今すぐニュース」のご注意とお知らせ

● **「今すぐニュース」の自動録画について**
- あらかじめ設定された放送の種類、チャンネル、曜日などと時刻で自動録画をします。
- 自動録画は、本機の電源が「入」、「待機」、「切」のいずれの場合にも行われます。
- 最新のニュース番組の自動録画が終わると、古いニュース番組は自動的に削除されます。

(※ 最新のニュース番組が最後まで録画できなかった場合は、古いニュース番組が残り、新しいニュース番組を自動的に削除されます。)

- 「今すぐニュース」と録画予約の時刻が近い場合は、「今すぐニュース」の録画はできません。
- 内蔵ハードディスクの再生中や録画番組を外部機器にダビングしている場合は、「今すぐニュース」の録画はできません。
「今すぐニュース」の録画中に内蔵ハードディスクの再生を始めた場合は、「今すぐニュース」の録画が継続されます。
- 「内蔵ハードディスク設定」の「今すぐニュース番組登録」(準備編 93ﾃﾞ)で登録されている番組をすべて取り消した場合に、「今すぐニュース」で録画した内容は削除されます。
- 「今すぐニュース」で録画した番組は、録画リストには表示されません。

■ 「今すぐニュース」の自動録画中に 終了 が押されたとき
- もう一度 終了 を押すと、自動録画が中止されます。
(■ でも中止できます。)

● **以下の場合には「今すぐニュース」の自動録画は中止されます。**
- 二画面表示にしたとき
- 番組情報の取得をしたとき
- 録画予約などで、他の録画が始まったとき

※ 上記のほか、一部のメニュー操作などでも中止されることがあります。
※ データ放送を選んだときにも自動録画が中止されることがあります。

お知らせ
● 「今すぐニュース設定」で登録したニュース番組の時間が変更された場合には、手動でニュース番組の登録、取消しをしてください。(準備編 93ﾃﾞ)

Eメールで録画予約をする

- 外出先からEメールを使って、本機に録画予約をすることができます。
- 録画の概要と録画前の準備などについては、28 をよくお読みください。
- 「LAN端子の接続(1)」(準備編 29)、「メール設定」(準備編 88)の「基本設定」、「メール録画予約設定」をしてください。

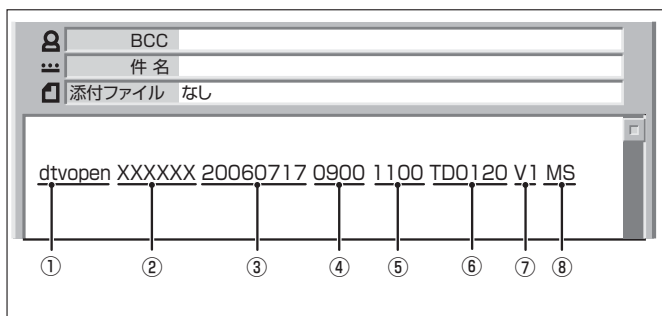
パソコンや携帯電話で予約する

- パソコン、携帯電話のどちらからでも録画予約できます。
  ※ 本機が対応しているのはテキスト形式のメールのみです。HTML形式のメールには対応していません。(パソコンの場合)
- 録画機器を指定することもできます。
- 次ページの「メール録画予約の注意事項」をよくお読みください。

1 パソコンや携帯電話でメールを作成する

- メールの宛先は「メール設定」の「基本設定」(準備編 88)で登録したメールアドレスです。
- 本機で使用できるのは、POP3を使用しているメールだけです。
  - 件名は自由に入力してください。

  ※ **①〜⑧はすべて半角文字で入力してください。各項目の間には半角スペースを入れてください。**

例)メール作成

① **識別コード**
- 「dtvopen」と入力します。(小文字)

② **パスワード**
- 「メール録画予約設定」(準備編 89)で登録した「メール予約パスワード」を入力します。

③ **録画日**
- 西暦(4ケタ)月日(4ケタ)を入力します。
  (1ケタの月日の場合は10の位に0を入れます)

④ **録画開始時刻**
- 00 〜 23(時)に続けて00 〜 59(分)を入力します。

⑤ **録画終了時刻**
- 00 〜 23(時)に続けて00 〜 59(分)を入力します。

⑥ **録画チャンネル**
- 放送の種類を表す略号とチャンネル番号を次のように入力します。

❶ **放送の種類を表す略号を入力する**

放送の種類	略号
BSデジタル放送	BS
110度CSデジタル放送	CS
地上デジタル放送	TD

❷ **略号に続けてチャンネル番号を入力する**

■ **BSデジタル/ 110度CSデジタル放送の場合**
- 3ケタのチャンネル番号を入力します。
  例) BS103、CS001

■ **地上デジタル放送の場合**
- 3ケタチャンネル番号を入力します。
  例) チャンネル番号:011の場合…TD011
  ※ 枝番を指定する場合は、3ケタチャンネル番号と枝番を入力します。
  (上の例で、枝番が3の場合…TD0113)

⑦ **録画先機器**
- 録画先機器の略号と録画機器の番号を入力します。指定しない場合は、「メール録画予約設定」で登録した「録画機器」に録画されます。

録画機器	略号と番号	説明
内蔵ハードディスク	H1	——
ビデオ(VHSやDVDなど)	V1	「デジタル放送録画出力設定」(準備編 51)の手順 **2** で設定したモードになります。
i.LINK機器(D-VHSビデオなど)	「i1」〜「i8」	数字は、機器の登録(準備編 69)に表示される番号
LANハードディスク	「L1」〜「L8」	数字は、機器の登録(準備編 65)に表示される番号
USBハードディスク	U1	——

※ LANハードディスクのショートカットは指定できません。
※ ユーザー名とパスワードの入力が必要なLANハードディスクでは、以下のときのみメールでの録画予約ができます。
- ユーザー名とパスワードを「次回入力しない」に設定しているとき 30
- 「メール録画予約設定」でそのLANハードディスクを録画機器として設定しているとき(準備編 89)。

⑧ **二重音声記録モード**
- ビデオに音声多重番組を録画する場合は、記録モードを略号で入力します。
  指定しない場合は主音声+副音声になります。

記録モード	略号
主音声	M
副音声	S
主音声+副音声	MS

お知らせ
- 「メール録画予約設定」の「予約アドレス登録」(準備編 89)で、メール録画予約に使用するパソコンや携帯電話のメールアドレスをすべて登録しておいてください。
- 本機に録画予約するために送ったEメールを見ることはできません。

録画・予約をする つづき

Eメールで録画予約をする　つづき

パソコンや携帯電話で予約する　つづき

「予約設定結果通知」を使用している場合

● 予約メールの送信後しばらくすると、メールが返信されます。「予約設定結果通知」の設定については、準備編 89 をご覧ください。

(1)「予約を登録しました。」のメールの場合

• これで予約が完了です。

(2)以下のメールの場合

返信メール内容	対処のしかた・他
予約を登録できませんでした。メールの書式が正しくありません。メールの書式を確認してください。	「パソコンや携帯電話でメールを作成する」を確認してください。(前ページ手順 **1**)
予約を登録できませんでした。本体で登録できる日時を越えています。	予約を登録できるのは6週間先までです。
予約を登録できませんでした。指定されたチャンネルと録画設定では録画できません。	「パソコンや携帯電話でメールを作成する」を確認してください。(前ページ手順 **1**)
予約を登録できませんでした。指定された機器は録画機器ではありません。	録画機器を指定してください。
予約を登録できませんでした。本体側でエラーが発生しました。	停電や何らかの原因で本機の電源が切れた場合などが考えられます。

メール録画予約の注意事項

● パソコン側で、自動的にメールサーバーからメールを受信してサーバー側のメールを削除するように設定している場合、本機で予約メールを受信する前に消えることがありますので、サーバーにコピーを残すなどの設定変更が必要です。
● メールソフトによっては、自動的に改行されてしまうことがあります。その場合は、予約内容が正しく認識されません。
● メールサーバー内に極端に多くのメールがあると、予約メールを受信できない場合があります。
● 録画予約できるのは、予約メール1通につき1件です。
● 予約メールと同じ形式で始まるメールがあったとき、予約メールと判断して、パソコン側ではなく本機側で受信してしまう場合があります。
● 予約時に録画機器の状態(接続、テープの挿入、ハードディスク残量)の確認は行われません。
● 録画予約で指定した機器の電源が切れている場合や、機器を認識できない場合は、録画はできません。
● メールのウイルス対策はされていません。
● 一度に受信可能な予約メールは15件です。残った予約メールは次回の予約メール受信時に処理されます。
● 予約メールは「POP3アクセス間隔」(準備編 88「基本設定」)で指定した時間ごとに、本機が受信します。
● 正しく設定されていることを確認するために、事前に試し録画をして、正しく録画できることをお確かめください。

テレビサーフモバイルサービスで予約する(携帯電話だけでできます)

● テレビサーフモバイルサービスを利用することで、簡単な操作で携帯電話からメールでの録画予約ができます。
● 録画先は「メール録画予約設定」(準備編 89)で設定した機器になります。

準備

❶ **携帯電話で「t@tvsurf.jp」宛てにタイトルと本文なしのメールを送る**(メールを送信できない場合は、本文に文字を入れてください。)

※ iモード、EZweb、Yahoo!ケータイに対応しています。携帯電話の機種や契約内容によっては使えない場合があります。
※ QRコード(下図)からもメールの宛先を入手することができます。

※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

❷ **会員登録ページのURLが記載されたメールが携帯電話に送られてきたら、メールの説明に従って登録をする**

❸ **会員登録が完了すると、録画予約用のURLが記載されたメールが携帯電話に送られてくるので、そのURLをブックマークに登録する**(携帯電話の「お気に入り」に登録する)

メール録画予約のしかた

❶ **録画予約用のURL(上記の❸を参照)にアクセスする**
はじめにトップページの「☆利用規約」、「☆退会」、「#.ヘルプ」、「ご注意」、「対象機種」のリンクをクリックして、それぞれの内容をお読みください。

❷ **「☆メール予約」をクリックし、画面の手順に従って録画予約をする**
● 録画予約できるのはBSデジタル、110度CSデジタル、地上デジタル放送だけです。
● 予約設定画面の「録画用メールアドレス」と「パスワード」は、「メール録画予約設定」(準備編 89)で設定したものを入力します。

お知らせ

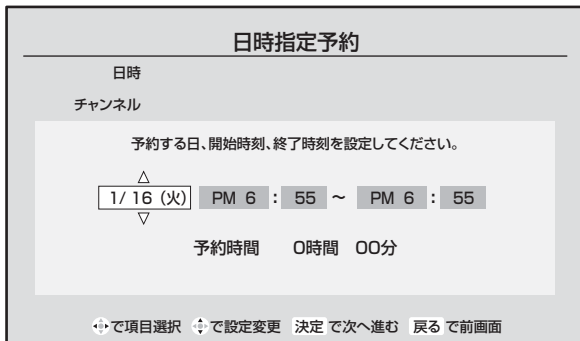
● テレビサーフモバイルサービスは株式会社東芝が運営する携帯電話向けのテレビ録画予約サービスです。
● テレビサーフは株式会社東芝の商標です。
● iモードは株式会社NTTドコモの登録商標です。
● EZwebはKDDI株式会社の商標です。
● Yahoo!ケータイはソフトバンクモバイル株式会社の商標です。
● インターネットサービスプロバイダーおよびインターネット回線業者との契約が別途必要です。
● ご利用には別途通信料が発生します。
● テレビサーフモバイルサービスについてのお問合せ先は、上記の「準備」❷で送られるメールに記載されています。

日時を指定して予約する（日時指定予約）

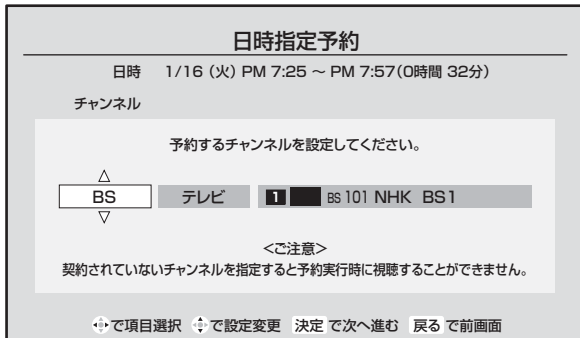
● 録画の概要と録画前の準備などについては、28 をよくお読みください。

1 (レグザリンク) を押し、▲・▼で「予約をする」を選び、(決定) を押す

2 ▲・▼で「日時を指定して予約する」を選び、(決定) を押す

3 録画する日時を設定する

① 設定する項目を◀・▶で選び、▲・▼で日時を設定する
- ● 日付は6週間先まで指定できます。「毎日」、「毎週(月)」～「毎週(日)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰返し録画も選べます。
- ● 設定できる時間は最大23時間59分です。

② 設定が終わったら、(決定) を押す

4 録画するチャンネルを設定する

① 設定する項目を◀・▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ
- • 放送の種類　：BS ／ CS ／地デジ／地アナ
- ※ **地アナの番組は、視聴予約のみできます。**
- • 放送メディア：テレビ／ラジオ(BS、110度CSのみ)／データ
- • チャンネル　：指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

② 設定が終わったら、(決定) を押す

お知らせ

■ 日時指定予約について
- ● 東芝RDアナログ(テレビdeナビ予約)では、番組名や番組説明は録画時に記録されません。
- ● 日時指定予約では放送時間連動、映像信号、音声信号の変更設定はできません。映像、音声は基本のものだけが録画されます。

5 録画先を画面で確認後、◀・▶で「録画予約」または「視聴予約」を選び、(決定) を押す
- ● 録画先や設定を変更する場合は、◀・▶で「詳細設定」を選び、(決定) を押して設定をします。38、39 をご覧ください。
- ● 視聴予約を選んだ場合は、これで予約完了です。

■「REC OUT デジタル放送録画出力」を録画機器に選んでいる場合
- ● ◀・▶で「はい」を選び、(決定) を押してください。

6 録画機器を準備して、(決定) を押す
- ● 予約を取り消す場合は、40 をご覧ください。

ワンセグ録画をする（42ZH7000を除く）

● ワンセグ放送を内蔵ハードディスクに録画できます。録画した番組をSDメモリーカードにダビングして、携帯機器で見ることができます。

1 31 の手順 **1** ～ **3** をする

2 「詳細設定」を選び、(決定) を押す

3 ▲・▼・◀・▶で「ワンセグ録画」を選び、(決定) を押す

4 ▲・▼で「する(○○○CH※1)」を選び、(決定) を押す

※1：ワンセグのチャンネル番号が表示されます。複数表示された場合は、▲・▼で録画したいチャンネルを選び、(決定) を押します。

5 ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、(決定) を押す

6 録画の手順を続ける
- ● ワンセグ放送の録画をするときは、録画指定した番組の録画も同時に行なわれます。
- ● 録画番組のダビングや確認をする場合は、53 をご覧ください。

- ● ワンセグ放送の録画は、番組指定録画 31 で指定した番組の録画予約時間に従って録画します。番組指定録画で指定した番組とワンセグ放送の番組が異なる場合があります。
  - ※ ワンセグ録画リストには、録画開始時に放送されているワンセグの番組名が表示されます。
  - ※ ワンセグ再生中の画面表示や番組説明は、録画開始時に放送されているワンセグの情報が表示されます。
- ● ワンセグ放送は、6時間以上の番組は録画できません。また放送時間延長などの理由から、番組の終了時刻が確定していない場合も、ワンセグ放送を録画できません。

録画・予約をする つづき

録画設定を変更する場合

● 30☞ 手順 **2**、31☞、32☞ 手順 **3**、37☞「日時を指定して予約する」の手順 **5** で、「詳細設定」を選んだ場合に、設定を変更する方法について説明します。

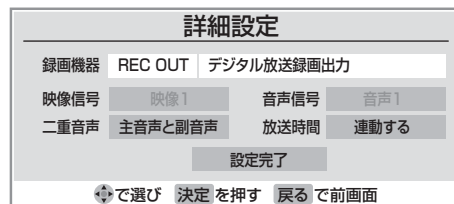
1 設定する項目を▲･▼･◀･▶で選び、決定 を押す

2 ▲･▼で内容を選び、決定 を押す

● 設定する項目の内容は下表のとおりです。

※ そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります。

3 ▲･▼･◀･▶で「設定完了」を選び、決定 を押す

詳細設定
録画機器 REC OUT デジタル放送録画出力
映像信号 映像1 音声信号 音声1
二重音声 主音声と副音声 放送時間 連動する
設定完了
で選び 決定 を押す 戻る で前画面

内蔵ハードディスクに録画するとき

項　目	設定する内容	説　明
録画機器	内蔵ハードディスク	「内蔵ハードディスク」を選びます。
連ドラグループ名	右記	予約リストと録画リストの「連ドラグループ別」タブ 49☞ に表示する連ドラグループ名が変更されます。
追跡キーワード	右記	「連ドラ予約」する番組の「キーワード」（番組名など）を設定します。
追跡基準	右記	「連ドラ予約」する番組の放送日時を設定します。
上書き録画	する/しない	上書きをする、しないを設定します。「連ドラ予約」を選んだときに設定できます。
保護	する/しない	録画した番組の保護をする、しないを設定します。
放送時間	連動する/連動しない	次ページの「お知らせ」をご覧ください。
ワンセグ録画（42ZH7000を除く）	する（○○○CH）/しない	ワンセグ録画を「する（○○○CH）」、「しない」を設定します。ワンセグを放送している放送局の番組を指定したときに設定できます。ワンセグのチャンネル番号が複数表示された場合は、▲･▼で録画したいチャンネルを選び、決定 を押します。

デジタル放送録画出力端子に接続した機器（ビデオやDVDなど）に録画する場合

項　目	設定する内容	説　明
録画機器	REC OUT デジタル放送録画出力 / REC OUT デジタル放送録画出力（連動録画）	「デジタル放送録画出力設定」（準備編 51☞）で設定した項目が表示されます。
映像信号	映像1/映像2/映像3など	日時指定予約の場合および、選択できる信号がない場合は設定できません。
音声信号	音声1/音声2/音声3など	
二重音声	主音声：副音声/主音声/副音声	二重音声については 24☞ をご覧ください。
放送時間	連動する/連動しない	次ページの「お知らせ」をご覧ください。

USBハードディスクに録画する場合

項　目	設定する内容	説　明
録画機器	USB	録画先のUSBハードディスクを選んでください。
連ドラグループ名	右記	予約リストと録画リストの「連ドラグループ別」タブ 49☞ に表示する連ドラグループ名が変更されます。
追跡キーワード	右記	「連ドラ予約」する番組の「キーワード」（番組名など）を設定します。
追跡基準	右記	「連ドラ予約」する番組の放送日時を設定します。
放送時間	連動する/連動しない	次ページの「お知らせ」をご覧ください。
上書き録画	する/しない	上書き録画をする、しないかを設定します。「連ドラ予約」を選んだときに設定できます。
保護	する/しない	録画した番組の保護をする、しないを設定します。

■ ワンセグ録画について

● 前回の設定によって、「する（○○○CH）」または「しない」と表示されます。「する（○○○CH）」と表示された場合、チャンネル番号（○○○CH）は録画指定した番組のチャンネルによって変わるため、前回のチャンネル番号とは異なります。

LANハードディスクに録画する場合

項　目	設定する内容	説　明
録画機器	LAN1/LAN2など	録画先のLANハードディスク(またはフォルダのショートカット)を選んでください。
連ドラグループ名	右記	予約リストと録画リストの「連ドラグループ別」タブ 49 に表示する連ドラグループ名が変更されます。
追跡キーワード	右記	「連ドラ予約」する番組の「キーワード」(番組名など)を設定します。
追跡基準	右記	「連ドラ予約」する番組の放送日時を設定します。
放送時間	連動する/連動しない	下の「お知らせ」をご覧ください。
上書き録画	する/しない	上書き録画をする、しないかを設定します。「連ドラ予約」を選んだときに設定できます。
保護	する/しない	録画した番組の保護をする、しないを設定します。

i.LINK機器に録画する場合

項　目	設定する内容	説　明
録画機器	i.LINK1/i.LINK2など	「i.1 ～ i.8」(準備編 69)に登録した録画可能な機器を選んでください。
放送時間	連動する/連動しない	下の「お知らせ」をご覧ください。

東芝RDシリーズに「テレビdeナビ予約」で録画するとき

項　目	設定する内容	説　明
録画機器	東芝RDアナログ／東芝RDデジタル1～3	録画予約の種類(機器)を選びます。
画質モード	TS/SP/LP/ MN1.4 ～ MN9.2	「TS」は、「東芝RDデジタル1 ～ 3」のときにだけ設定できます。 音質モードがL-PCMのときは、SP/LP/MN8.2以上は選択できません。
音質モード	M1/M2/L-PCM	画質モードがSP/LP/MN8.2以上のときは、L-PCMは選択できません。 (画質モードが「TS」のときは、音質モードの設定はできません)
DVD互換	切/入(主音声)/入(副音声)	音声多重番組のときは、本機はこの設定に従った音声をビデオレコーダーに出力します(東芝RDアナログで予約した場合)。DVD-Video作成を前提とする場合は、必ず「入(主音声)」または「入(副音声)」に設定します。 「切」に設定した場合は、音声多重番組のままVRモードで録画されます。
映像信号	映像1/映像2/映像3など	「東芝RDデジタル1 ～ 3」の場合や日時指定予約の場合、および選択できる信号がない場合は設定できません。
音声信号	音声1/音声2/音声3など	

HDMI連動機能に対応した東芝レコーダーで録画するとき

項　目	設定する内容	説　明
録画機器	HDMI1 機器名など	録画予約の種類(機器)を選びます。
画質モード	録画機器の現在設定内容/ 録画機器の設定1 ～ 5/ TS/SP/LP/MN1.4 ～ MN9.2	音質モードがL-PCMのときは、SP/LP/MN8.2以上は選択できません。 「画質モード」の「現在設定内容」と「設定1 ～ 5」は、録画機器側で設定されている内容です。
音質モード	M1/M2/L-PCM	画質モードがSP/LP/MN8.2以上のときは、L-PCMは選択できません。 (画質モードが「録画機器の現在設定内容」「録画機器の設定1 ～ 5」「TS」のときは、音質モードの設定はできません)
DVD 互換	切/入(主音声)/入(副音声)	DVD-Video作成を前提とする場合は、必ず「入(主音声)」または「入(副音声)」に設定します。 「切」に設定した場合は、音声多重番組のままVRモードで録画されます。 画質モードが「録画機器の現在設定内容」「録画機器の設定1 ～ 5」「TS」のときは、選択できません。
放送時間	連動する/連動しない	下の「お知らせ」をご覧ください。

お知らせ

■ 放送時間連動について

- 放送局から番組遅延の情報が送信されていれば、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です。(放送時間の繰上げには対応しません)
- 日時指定予約の場合は設定できません。
- ビデオやDVDで「REC OUT デジタル放送録画出力(自動録画機能なしの場合)」および「テレビdeナビ予約」の場合には、放送時間連動に対応できません。
- 放送時間連動の結果、ほかの予約と重なった場合の優先順については 42 をご覧ください。
- 放送時間の変更によって、予約した番組が録画できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。
- 連ドラ予約の場合は設定できません。

録画・予約をする つづき

予約リストを確認する・予約を取り消す

※ デジタル放送録画出力端子に接続した機器(自動録画機能なし)や東芝RDシリーズの「テレビdeナビ予約」を使って予約した予約の場合、以下の操作で予約を取り消しても接続機器側の予約は、取り消されません。接続機器側でも予約を取り消してください。

1 を押す

2 ▲·▼で「予約リストを確認する」を選び、(決定)を押す

3 ▲·▼で予約内容を見たい番組を選び、(決定)を押す

予約時間が重なっている場合

- 画面に「重複予約取り消し」ボタンが表示されます。重なっている予約をすべて取り消すには、以下の操作をしてください。

❶ ◀·▶で「重複予約取り消し」を選び、(決定)を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、(決定)を押す

- 重複している他の番組指定予約、日時指定予約はすべて取り消されます。重複している他の「連ドラ予約」は重複している回の予約が実行されなくなります。

予約を取り消すには

❶ ◀·▶で「はい」を選び、(決定)を押す

「録画設定」の内容を変更するには

❶ ◀·▶で「録画設定変更」を選び、(決定)を押す

- 東芝RDシリーズの場合は変更できません。
- 以降は 38 をご覧ください。

4 終わったら、(終了)を押す

連ドラ予約番組確認

- 「連ドラ予約」をした個々の番組をリストで確認できます。

1 (レグザリンク)を押す

2 ▲·▼で連ドラ予約番組を選び、(決定)を押す

- 選んだ予約番組の内容が表示されます。
  ※ 8日以上先の番組は表示されません。

予約を取り消すには

❶ ◀·▶で「連ドラ予約取り消し」を選び、(決定)を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、(決定)を押す

予約を1回だけ実行させないようにするには

❶ ◀·▶で「連ドラ予約変更」を選び、(決定)を押す

❷ 録画しない予約を▲·▼で選び、(決定)を押す

- (決定)を押すたびに、録画をする/しないが交互に切り換わります。

❸ 前画面に戻るには、(戻る)を押す

3 予約リストに戻るには、(戻る)を押す

■「連ドラ予約番組確認」について

- 視聴年齢制限によって予約が実行できない番組を予約実行に設定することはできません。

■ 予約リストについて

- チャンネル番号の表示が「－－－」となって、内容が薄く表示された予約は、「初期スキャン、再スキャン、自動スキャン」(準備編 73、74)などでチャンネルがなくなったために録画できないことを示します。
- 「東芝RDデジタル」と「東芝レコーダー(HDMI連動機能対応機器)」で予約した内容は、予約リストに表示されません。(番組表にも予約アイコンは表示されません)予約内容の確認や予約の取消しは接続機器側で行ってください。

予約設定時にメッセージが表示された場合

● 予約設定時にメッセージが表示された場合に、予約を続けるための手順を説明します。

「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

❶ ◀･▶で「はい」を選び、(決定)を押す
● 予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

❷ 予約リスト画面で他の予約を取り消す
● 前ページ左側手順 **3** の操作で取り消します。

「他の予約と時間が重なっています。」が表示された場合

❶ ◀･▶で「はい」を選び、(決定)を押す
● 予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

❷ 予約が重複している番組のリスト画面で、「はい」を選び、(決定)を押す
● 重複している予約がすべて取り消されます。

「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」が表示された場合

❶ ◀･▶で「はい」を選び、(決定)を押す
● ダウンロード予約が取り消されます。
● 録画予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。
● ダウンロードについては、87 をご覧ください。

東芝RDデジタルでの予約(録画)のご注意

● 東芝RDシリーズ側で非契約のチャンネルの場合は、予約の設定はできますが番組は録画されません。
● 視聴制限のある番組の場合、東芝RDシリーズ側の視聴制限を解除しないと、番組は録画されません。
● 放送時間連動には対応していません。

HDMI連動機能対応東芝レコーダーでの予約(録画)のご注意

● 東芝レコーダー側で非契約のチャンネルの場合は、予約の設定はできますが番組は録画されません。
● 視聴制限のある番組の場合、東芝レコーダー側の視聴制限を解除しないと、番組は録画されません。

録画を停止したい場合

❶ (リンク)を押す

❷ ▲･▼で「東芝レコーダーを操作」を選び、(決定)を押す

❸ 録画を停止したい機器を選び、(決定)を押す

❹ 「東芝レコーダーを操作」内の「画面表示」を選び、(決定)を押し、録画の状態を確認する

❺ 「ドライブ切換」または「W録切換(「その他の操作」内)」で停止したい録画を選び 、(■)を押す

❻ 録画停止確認画面で◀･▶で「はい」を選び、(決定)を押す

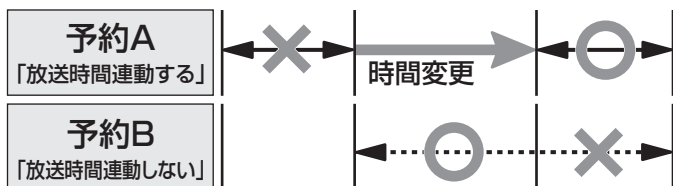
録画・予約をする つづき

予約番組の優先順位について

● 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

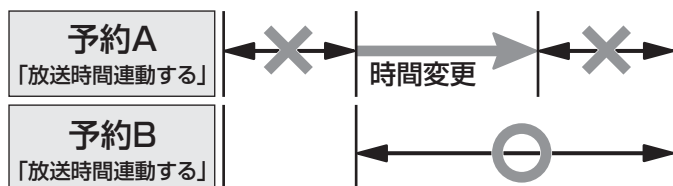
「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

■「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。

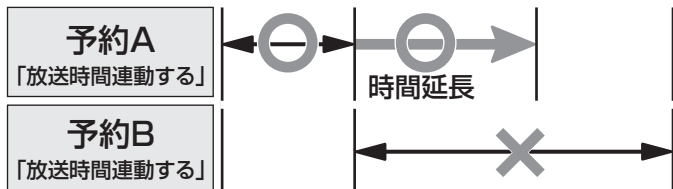
例：「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Bは録画されません。

「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

(1)開始時刻が変更された場合

■ 開始時刻の早い予約が優先されます。

例：「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aの開始時刻が変更になったため、録画開始時刻の早い予約Bが優先されます。予約Aは取り消されます。

(2)終了時刻が延長された場合

■ 先に予約を実行した番組の終了時刻が優先されます。

例：「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aの終了時刻延長に対応したため、先に予約を実行した予約Aが優先されます。予約Bは取り消されます。

(3)複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

■ 最初に予約設定した番組が優先されます。

●二番目以降に設定した番組の予約は取り消されます。

予約の動作について

● テレビを視聴中の予約の動作について説明します。
「東芝RDデジタル」と「HDMI連動機能対応東芝レコーダー」の場合は、このとおりではありません。

予約設定後

● 録画予約の場合は本体前面の「録画／ダビング」表示がオレンジ色に点灯します。

予約した番組放送が始まるとき

● 予約した番組の放送開始時刻近くになると、画面にメッセージが表示されます。予約を中止する場合は、終了を押します。

● 予約した番組の放送開始時刻になると、自動的に予約した番組のチャンネルに切り換わります。

● 録画予約の場合は、本体前面の「録画／ダビング」表示が赤色に点灯し、内蔵ハードディスクに録画中は本体前面の「ハードディスク表示」が緑色に点灯します。

● 視聴予約した視聴制限のある番組が始まるときには、視聴制限がある旨のメッセージが表示されます。決定を押したあと、暗証番号（準備編 91）を入力してください。

予約した番組の放送中

● 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、「＊＊＊を録画中です。終了を押すと録画を中止します。」または、「録画実行中は切り換えられません。」が表示されます。

録画を中止したいとき

❶ 終了を押し、メッセージが表示されている間に、もう一度終了を押す

● 東芝RDシリーズに「テレビdeナビ予約」で録画している場合と、HDMI連動機能対応東芝レコーダーに録画している場合は、上記の操作をしても録画機器側の録画は中止されません。録画機器側でも録画中止の操作をしてください。

予約した番組の放送終了時

● 録画予約した動作が終わり、本機を通常どおり使用できます。

● 録画予約した番組の録画が終了した場合は、本体前面の「録画／ダビング」表示が消えます。ただし、ほかにも録画予約がある場合は、「録画／ダビング予約」表示はオレンジ色に点灯したままです。

ハードディスクなどに録画した番組を見る

録画リストの基本操作～リモコンの操作～

● 番組を再生中にリモコンのボタンで操作ができます。

ボタン	i.LINK機器 ハードディスクビデオレコーダー	i.LINK機器 D-VHSビデオ	内蔵ハードディスク、USBハードディスク	LANハードディスク、SDメモリーカード※1、DLNA認定サーバー
ちょっとタイム再生 ▶/II	再生します。再生中に押すと一時停止します。録画ボタンで開始した録画の途中で押すと、録画済部分の再生（ちょっとタイム再生）がはじまります。	再生します。再生中に押すと一時停止します。	再生します。再生中に押すと一時停止します。録画ボタンで開始した録画の途中で押すと、録画済部分の再生（ちょっとタイム再生）がはじまります。放送を見ているときに押すと、最後に見ていた番組を再生します。（SDメモリーカード、DLNA認定サーバーを除く）	
■	停止します。	停止します。	停止します。 再生を始める前に選択していたチャンネルまたは入力に戻ります。	
早見早聞 ▶▶	早送り再生をします。（押すたびに速さが変わります。）	早送りします。	再生中に1回押すと、1.5倍の速さで、音声付早送り（早見早聞）をします。2回以上押すと、通常の早送りをします。（内蔵ハードディスクに録画したワンセグは早送りできません）	ハードディスクビデオレコーダーと同様。（SDメモリーカードは早送りできません）
◀◀	早戻し再生をします。（押すたびに速さが変わります。）	巻戻します。	ハードディスクビデオレコーダーと同様。（内蔵ハードディスクに録画したワンセグと、SDメモリーカードは早戻しできません）	
» ➡	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。（スキップする時間は、「ワンタッチスキップ設定」準備編 60 で変更できます。）	―――	ハードディスクビデオレコーダーと同様。	
⬅ «	再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します。（リプレイする時間は、「ワンタッチリプレイ設定」準備編 60 で変更できます。）	―――	ハードディスクビデオレコーダーと同様。	
スキップ ▶▶I	一つ先に進んで頭出し再生します。	一つ先に進んで頭出しします。	ハードディスクビデオレコーダーと同様。	
スキップ I◀◀	前に戻って頭出し再生します。（再生してから5秒以内の場合は、前の番組の先頭に戻ります。）	前に戻って頭出しします。	ハードディスクビデオレコーダーと同様。	

※1 42ZH7000では、使用できません。

● 放送を見ているときに ちょっとタイム再生 ▶/II で内蔵、USB、LANハードディスクの録画済番組が再生されない場合は、録画リストから再生したい番組を選びなおしてください。

● 放送を見ているときに ちょっとタイム再生 ▶/II を押しても、SDメモリーカードやDLNA認定サーバーの番組は再生できません。

ハードディスクなどに録画した番組を見る つづき

- 接続・設定については準備編 58 ～ 69 、93 ～ 94 をご覧ください。
- つないだ機器の取扱説明書もよくお読みください。
- USB、LANハードディスクの場合は、あらかじめ電源を入れておいてください。
- SDメモリーカードの挿入口は、準備編 18 をご覧ください。（42ZH7000にはありません。）

録画リストの基本操作～内蔵、USB、LANハードディスクやDLNA認定サーバーなどに録画した番組を見る～

1 （レグザリンク）を押し、▲・▼で「映像を見る／機器選択」を選び、（決定）を押す

- 「機器選択」画面が表示されます。

※ 内蔵ハードディスクだけの場合は、録画リストが表示されます。（下図）

2 ◀・▶で機器を選び、（決定）を押す

- 録画リストが表示されます。（下図）
- LANハードディスクを選んだ場合で、LANハードディスクにアクセスするためのユーザー名とパスワードの入力画面が表示されたときは、入力します。（ 30 をご覧ください。）

3 ▲・▼で見たい番組を選ぶ

- 選んだ番組の情報を見るには、（黄）を押します。

4 （決定）を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
  ※ 再生されるまでに時間がかかる場合があります。
- 「録画中」の番組を選ぶと、録画している番組が再生されます。（これを「ちょっとタイム再生」といいます）たとえば、帰宅したときなどに予約番組の録画中であっても、録画予約が終了するまで待たずに再生することができます。（LAN端子（中央）につないだLANハードディスクでは、ちょっとタイム再生ができない場合があります）
- 停止、早送り、早戻しなどの操作は、リモコンのボタンで行います。 43

SDメモリーカードに保存した番組を見る（42ZH7000を除く）

1 左の手順 2 でSDメモリーカードを選ぶ

SDメモリーカードにワンセグと東芝カメラで撮影した動画の両方が保存されている場合

❶ ワンセグを見たい場合は、「ワンセグ」、東芝カメラで撮影した動画の場合は、「東芝カメラで撮影した動画」を▲・▼で選び、（決定）を押す

- 選んだ録画リストが表示されます。（ワンセグ録画リストは 53 をご覧ください）

ワンセグ、または東芝カメラで撮影した動画のどちらかが保存されている場合

- ワンセグの場合はワンセグ録画リスト 53 、東芝カメラで録画した動画の場合は、該当の録画リストが表示されます。

2 ▲・▼で見たい番組を選ぶ

- 選んだ番組の情報を見るには、（黄）を押します。 17

3 （決定）を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 停止、一時停止などの操作はリモコンのボタンで行います。 43

- 番組放送時間などは送信側の情報によっては正しく表示されない場合があります。

■ 録画リストについて

- 録画開始した直後の番組は、録画リストには表示されません。録画開始から数分後に録画リストに表示されます。
- 録画リストでは、録画番組の削除や保護、他の機器へのダビングなどもできます。47☞、48☞
- 録画リストに表示できる最大数は、内蔵ハードディスクは350番組、USBハードディスクは500番組、LANハードディスクはフォルダ数と番組数を合わせて1000までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。最大数は機器によって制限されることがありますので、各機器の取扱説明書でご確認ください。
- LANハードディスクに録画した番組をパソコンなどで編集すると、録画リストに表示されない場合があります。
- 地上デジタル放送のチャンネル番号などは、本機のチャンネル設定が変更された場合や、本機以外の操作で録画した番組の場合には、録画リストに正しく表示されないことがあります。
- 番組の表示時刻は実際の録画情報から算出していますので、ハードディスクの録画動作時間とは一致しない場合があります。
- 録画リスト画面で選んだ番組を最後まで再生し終わると、そのまま静止状態になります。

■ 内蔵ハードディスクの再生についてのお知らせ

次の場合は、録画した番組の最初の部分を約4秒間飛ばして、再生がはじまります。

- 録画番組をはじめて再生するとき
- スキップ（⏮⏭）で別の番組に切り換えたとき
- 最後まで再生した録画番組をもう一度再生するとき
- 録画リストの再生画面で再生するとき
- クイックメニューの「頭出し再生」をしたとき48☞

■ 接続機器について

- 「機器（メディア）にアクセスできません。」が表示された場合は、機器の電源がはいっているか、正しく接続されているかなどを確認してください。LANハードディスクの場合は、ハードディスクの名前や共有フォルダの名前が変更されたとき、共有フォルダが削除されたときなどにもアクセスできなくなります。
- LAN端子（中央）につないだハードディスクで録画・再生する場合、他のネットワーク機器の動作状態によっては、録画や再生（ちょっとタイム再生を含む）ができないことがあります。
- DLNA認定サーバーを使用する場合は、準備編64☞もご覧ください。

機器操作中にはこんなこともできます！

■ 録画リストを表示する

❶ 録画番組再生中に、[録画リスト]を押す

機器選択画面ではこんなこともできます！

■ 機器の情報を見る

❶ 情報を見たい機器を選び、[クイック]を押す

❷ ▲・▼ で「機器の情報」を選び (決定) を押す

- 登録名、機器名などが表示されます。
- 情報を確認後 (決定) を押します

■ 名前の変更（LANハードディスクのみ）

❶ 名前を変更したいショートカットを選び、[クイック]を押す

❷ ▲・▼で「ショートカット名の変更」を選び (決定) を押す

- 半角30文字以内の名前がつけられます。
- 文字入力のしかたは、26☞をご覧ください。

■ ショートカット削除（LANハードディスクのみ）

❶ 削除したいショートカットを選び、[クイック]を押す

❷ ▲・▼で「ショートカット削除」を選び、(決定) を押す

❸ ◀・▶で「はい」を選び、(決定) を押す

※ 録画予約が設定されているショートカットは削除できません。（メッセージが表示されます）

■ SDメモリーカードの初期化（42ZH7000を除く）

- **初期化をすると、SDメモリーカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。**
- 一度も初期化されていないSDメモリーカードを初期化することもできます。

❶ 機器選択画面で初期化したいSDメモリーカードを選び、[クイック]を押す

❷ ▲・▼で「SDカードの初期化」を選び、(決定) を押す

❸ ◀・▶で「はい」を選び、(決定) を押す

- 「いいえ」を選ぶと、フォーマットを中止します。

- 降雨対応放送中の番組を録画した場合、早送り再生や早戻し再生の映像は正しく表示できません。

■ 録画リストの番組再生順について

- 再生の順番は録画リストの古い番組順になります。

■ ちょっとタイム再生について（44☞）

- ちょっとタイム再生をする場合は、録画リストから録画中の番組を選び、(決定) を押します。
- ちょっとタイム再生時に、早送りなどで現在録画中の場面まで進むと、録画機器によっては、ちょっとタイム再生を停止する機器があります。このような機能は、録画機器によって動作が異なります。
- ちょっとタイム再生中の早送り／早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。

■ DLNA認定サーバー（準備編64☞）について

- DLNA認定サーバーによっては、「再生」と「再生停止」しかできない場合があります。また、再生時間表示などが表示されない場合があります。

■ 本機で再生可能なSDメモリーカードハイビジョン映像対応機器についてー 2008年9月現在ー

- gigashot：GSC-A100F、GSC-A40F（いずれもバージョン1.50以降）

ハードディスクなどに録画した番組を見る つづき

録画リストの基本操作～内蔵、USB、LANハードディスクやDLNA認定サーバーなどに録画した番組を見る～ つづき

録画リストではこんなこともできます!

● DLNA認定サーバー(準備編 64)の場合は、削除とムーブの操作ができません。DTCP-IP対応サーバー(準備編 64)の場合は、ムーブの操作ができません。一部のDTCP-IP対応サーバーでは削除の操作ができないことがあります。

表示のしかたを変える

● 録画リストを「すべて表示」から「曜日別」や「ジャンル別」、「連ドラグループ別」に切り換えることができます。

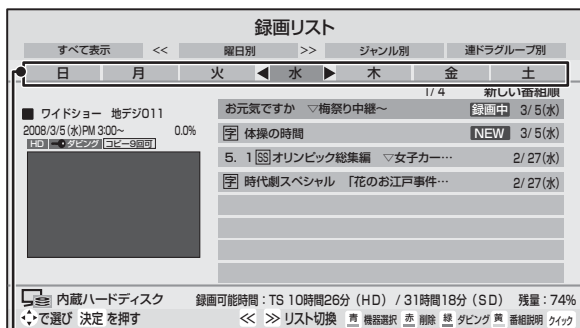
❶録画リスト画面で«·» を押す

※ DLNA認定サーバーでは「すべて表示」「曜日別」が切り換えられます。

● **すべて表示**：すべての録画番組を表示します。
● **曜日別**：録画した曜日ごとに表示します。
● **ジャンル別**：ドラマや映画などのジャンルごとに表示します。
※ 番組情報がない場合は「その他」に分類されます。
● **連ドラグループ別**：「連ドラ予約」33 の予約ごとに表示します。
※「連ドラ予約」で録画した番組がない場合は選べません。

❷表示したい曜日や項目などのタブを◀·▶で選ぶ

※「すべて表示」以外は、タブが表示されます。

例)曜日別の録画リストの場合

曜日別の場合は、曜日のタブを選んでください。
※表示モードや録画内容によって画面は変わります。

機器を選択しなおす

❶録画リスト画面で、青 を押す

● 機器選択画面が表示されます。
※ 機器が1台しか接続されていない場合は、その旨のメッセージが表示されます。

❷▲·▼·◀·▶で使いたい機器を選び、決定 を押す

録画番組やフォルダを削除する

ひとつの番組を削除する

❶削除したい番組を▲·▼で選び、赤 を押す

❷確認画面が表示されたら、◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

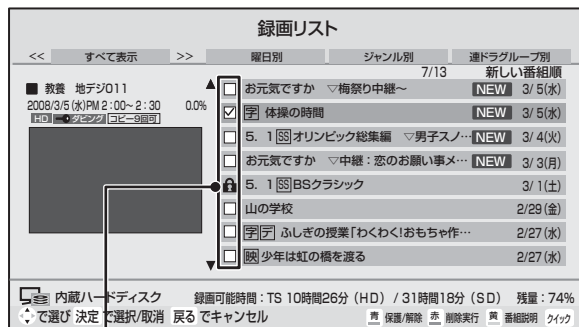
※ 削除中は操作しないでください。

❸「削除を完了しました。」が表示されたら、決定 を押す

複数の番組を削除する

❶録画リスト画面で、赤 を押す

❷◀·▶で「複数選択画面へ」を選び、決定 を押す

● 番組名の前にチェックボックスが表示されます。

保護された番組にチェックは付きません。

❸削除したい番組を▲·▼で選び、決定 を押す

● 決定 を押すたびに、☑と□が交互に切り換わります。
● 手順❷の画面では、以下の操作もできます。
・ 保護を解除したい場合は、保護されている番組を選んで、青 を押します。
・ 番組の情報を見たいときは 黄 を押します。

❹すべて選んだら、赤 を押す

❺確認画面が表示されたら、「はい」を◀·▶で選び、決定 を押す

※ 削除中は操作しないでください。

❻「削除を完了しました。」が表示されたら、決定 を押す

お知らせ

■ 録画リストの表示について
● フォルダは「すべて表示」のときにだけ、表示されます。
●「ジャンル別」は、そのときに録画リストに表示されている番組だけが分類の対象です。

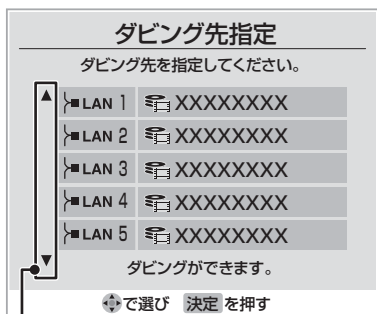
■ 録画の削除について
● ごみ箱機能のあるLANハードディスクでは、削除したファイルはゴミ箱フォルダの中に移動します。ファイルを完全に削除したい場合は、ゴミ箱の中を空にして(削除して)ください。

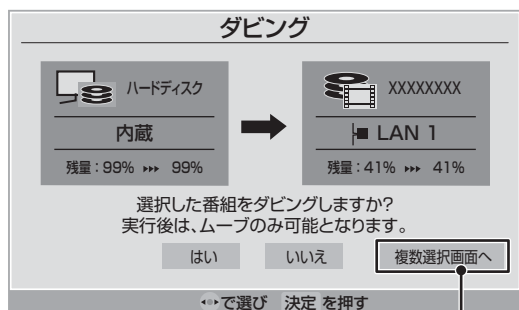
■ 番組の保護について
● 機器によっては保護できない場合があります。機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 録画番組をダビングする

● 録画した番組を内蔵ハードディスク、USBハードディスク、LANハードディスクにムーブ、SDメモリーカード(42ZH7000を除く)、DTCP-IP対応サーバーにダビングすることができます。
※ 録画中にはできません。
※ ダビング中には機器の接続を変更しないでください。

❶ ダビングしたい番組を▲·▼で選び、緑を押す

❷ ▲·▼でダビングしたい場所を選び、決定を押す

❸ 以下の操作をする

■ 選んだ番組だけをダビングする

① 確認画面で、「はい」を◀·▶で選び、決定を押す

■ 複数の番組をダビングする

① 確認画面で、「複数選択画面へ」を◀·▶で選び、決定を押す

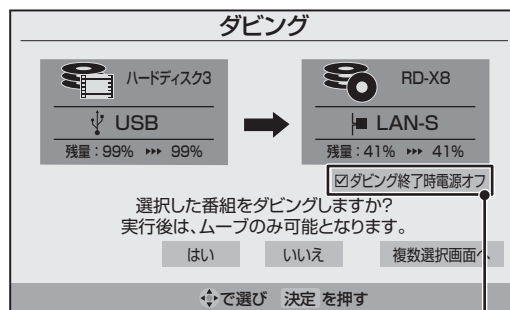
② 「録画リスト」でダビングしたい番組を▲·▼で選び、決定を押す
● 決定を押すたびに、☑と□が交互に切り換わります。
• 保護を解除したい場合は、保護されている番組を選び、青を押します。
• 番組の情報を見たいときは黄を押します。

③ ダビングしたい番組をすべて選んで緑を押す
● 一度にダビングできるのは16番組までです。

④ 確認画面で、「はい」を◀·▶で選び、決定を押す
※ 番組のダビング中は本体前面の「録画/ダビング」表示が赤色に点灯します。

■ ダビング終了後に自動的に機器の電源を切る

● ダビング先に東芝レコーダーを選んでいる場合、ダビングが終了すると、東芝レコーダーの電源を自動的に切ります。
※ 本機能が使用できる東芝レコーダー
形名：RD-X8、RD-S503、RD-S303
(2008年11月中旬発売予定)

① 確認画面で、「ダビング終了時電源オフ」を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

■ ダビングを中止する

① 終了を押す

② メッセージが表示されている間に、もう一度終了を押す

■ 録画番組の情報を見る

● 録画した番組の情報を表示します。

❶ 録画リスト画面で、情報を見たい番組を▲·▼で選び、黄を押す

● 内蔵、USB、LANハードディスクから、DTCP-IP対応サーバーやSDメモリーカードへダビングをした番組は、内蔵、USB、LANハードディスクに戻すことはできません。

■ 録画番組のダビングについて
● 同一機器内のフォルダ間でダビングをする場合は、状況をあらわすバーが表示されないことがあります。
● ダビング中に、SDメモリーカードを本機から抜いたり、本機の電源を切ったり、停電が発生した場合などは、正常にSDメモリーカードにダビングできない場合があります。

ハードディスクなどに録画した番組を見る つづき

録画リストの基本操作～内蔵、USB、LANハードディスクやDLNA認定サーバーなどに録画した番組を見る～ つづき

録画リストではこんなこともできます！ つづき

番組の冒頭から再生をする

❶録画リスト画面で、▲·▼で再生したい番組を選び、クイックを押す

❷▲·▼で「頭出し再生」を選び、決定を押す

番組を並べ替える

❶録画リスト画面で、クイックを押す

❷▲·▼で「並べ替え」を選び、決定を押す

❸▲·▼で「新しい番組」または「古い番組」を選び、決定を押す
- 選んだ順に番組が並べ替えられます。

録画番組を保護する

- 録画した番組が削除・ムーブされないように設定します。

※ 録画中にはできません。

❶録画リスト画面で、保護したい番組を▲·▼で選び、クイックを押す

❷▲·▼で「保護」を選び、決定を押す
- 選ぶたびに、保護と解除が交互に切り換わります。保護されている番組を選ぶと、「保護解除」が表示されます。
- 保護された番組にはアイコン「🔒」がつき、削除やムーブはできなくなります。

録画番組を検索する

- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して番組を検索できます。

※ 内蔵、USB、LANハードディスクでは、録画中の検索はできません。

❶録画リスト画面で、クイックを押す

❷▲·▼で「番組検索」を選び、決定を押す
- 検索画面が表示されます。

❸▲·▼で「ジャンル」または「キーワード」を選び、決定を押す
- 選びかたは、「ジャンルやキーワードを指定して番組を検索する」13をご覧ください。

※ ジャンル、キーワードのどちらかは必ず指定してください。

日付を指定するときは以下の操作をする

① ▲·▼で「日付」を選び、決定を押す

② 日付指定画面で、指定する日付を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

※ 画面の左端の項目を「指定する」にしたときに、検索開始日と終了日を指定できます。

チャンネルを指定するときは以下の操作をする

① ▲·▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

② ◀·▶で指定する項目、▲·▼で指定する内容を選ぶ
- 放送の種類 ：地デジ／ BS ／ CS ／すべて
- 放送メディア ：テレビ／データ／すべて
- チャンネル ：すべて／上記の受信可能なチャンネル

③ 指定が終わったら、決定を押す

検索場所を指定するときは以下の操作をする

- LANハードディスクでは、検索する場所（フォルダ）を指定することができます

① ▲·▼で「検索場所」を選び、決定を押す

② ▲·▼·◀·▶で「フォルダ」を選び、決定を押す
- 選んだフォルダの下の階層のフォルダー覧が表示されます
- 上の階層に移動する場合は、「上の階層へ」を選び、決定を押してください。

③ 手順①、②の操作を繰り返して、検索するフォルダを選ぶ

④ ▲·▼·◀·▶で「この中を検索」を選び、決定を押す

❹▲·▼·◀·▶で「検索開始」を選び、決定を押す
- 検索にはしばらく時間がかかります。

❺検索結果が表示されたら、▲·▼で番組を選ぶ
- 選んだ番組の説明を見るには、黄を押します。

❻決定を押す
- 選んだ番組の再生が始まります。
- 再生中に早送りなどの操作をしたいときは、リモコンで操作してください。43
- 保護番組リピート再生は、検索結果画面の古い順になります。

リピート再生設定

- リピート再生や保護番組リピート再生の設定ができます。

❶録画リスト画面で、クイックを押す

❷▲·▼で「リピート再生設定」を選び、決定を押す

❸▲·▼で設定項目を選び、決定を押す
- リピートオフ ：通常の再生をします。
- リピート再生 ：一つの番組を繰り返して再生します。
- 保護番組リピート再生 ：保護している番組を順次再生します。再生される順番は録画リスト44の古い番組順になります。

- 保護については、このページの左側をご覧ください。

※ 設定した「リピート再生」、「保護番組リピート再生」のアイコンは、録画した番組を再生した際に、カウンター表示で確認できます。

※ 録画中の番組は、リピート再生できません。

お知らせ

■ 保護番組リピート再生について
- 保護番組リピート再生をする際は、再生の切換わり時に、まれに音がひずむことがあります。
- 保護番組リピート再生時であっても、録画リストの全番組が再生する番組の対象となります。
- 保護されていない番組を選んだ場合は、その番組だけを繰り返し再生します。
- 早戻しで番組の先頭に戻ると一時停止します。早送りで次の保護された番組に移動すると通常再生になります。

フォルダ作成(LANハードディスクのみ)

※ 録画中にはできません。

❶ クイック を押し、▲･▼で「フォルダ管理」を選び、決定を押す

❷ ▲･▼で「フォルダ作成」を選び、決定を押す

❸ 文字入力画面でフォルダの名前を入力する

- 入力できない文字は、半角カタカナと¥/:*?<>¦$@,”などです。
- 文字入力のしかたは、26☞をご覧ください。

❹ ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

❺ 引き続きフォルダのショートカットを作成する場合は、◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

名前の変更(LANハードディスクのみ)

※ 録画中にはできません。

❶ 名前を変更したいフォルダを▲･▼で選び、クイック を押す

❷ ▲･▼で「フォルダ管理」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼で「フォルダ名の変更」を選び、決定を押し、新しい名前をつける

- 入力できない文字は、半角カタカナと¥/:*?<>¦$@,”などです。
- 文字入力のしかたは、26☞をご覧ください。

フォルダ間ムーブ(LANハードディスクのみ)

- 同一機器内で録画番組のムーブができます。

※ 録画中にはできません。

❶ フォルダ間ムーブをしたい番組を選び、クイック を押す

❷ ▲･▼で「フォルダ管理」を選び、決定を押し、▲･▼で「フォルダ間ムーブ」を選び、決定を押す

- 保護を解除したい場合は、保護されている番組を選び、青を押します。
- 番組の情報を見るときは、黄を押します。

❸ 移動先のフォルダを選び、「ムーブ先決定」を押す

❹ 確認画面で「はい」を選び決定を押す

- ムーブが始まります。

複数の番組をムーブする場合

① 確認画面で、「複数選択画面へ」を◀･▶で選び、決定を押す

②「録画リスト」でムーブしたい番組を▲･▼で選び、決定を押す

③ ムーブしたい番組をすべて選び、緑を押す

④ 確認画面が表示されたら、◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

※ 番組のムーブ中は他の操作をしないでください。

※ 番組のムーブ中は本体前面の「録画/ダビング」表示が赤色に点灯します。

ショートカット作成(LANハードディスクのみ)

※ 録画中にはできません。

※ ショートカットとは、録画番組が保存されているLANハードディスクの場所(フォルダ)への入口です。

❶ ショートカットを作りたいフォルダを▲･▼で選び、クイック を押す

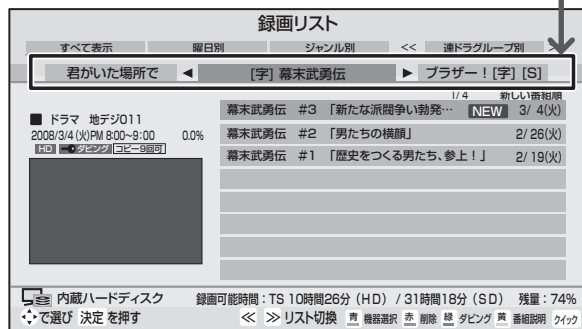
❷ ▲･▼で「フォルダ管理」を選び、決定を押す

❸ ▲･▼で「ショートカット作成」を選び、決定を押す

- ショートカットが「機器選択」画面に作成されます。作成できる数は最大16個です。

連ドラグループ名の変更(DLNA認定サーバーにはありません)

- 録画リストの表示モードを「連ドラグループ別」44☞にした場合に、連ドラグループのタブ名を変更することができます。
- ここで名前を変更すると、予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。
- 番組の録画中は、名前の変更はできません。

❶「連ドラグループ別」の録画リスト画面で、名前を変更したいタブを◀･▶で選ぶ

❷ クイック を押す

❸ ▲･▼で「連ドラグループ名の変更」を選び、決定を押す

❹ 文字入力画面で連ドラグループのタブ名を変更する

- 文字入力のしかたは26☞をご覧ください。
- 半角カタカナは入力できません。

ハードディスク残量表示

- ハードディスクの残量を画面で確認できます。

※ 残量表示や録画可能時間表示は、あくまでも目安であり、保証するものではありません。

❶ 録画リスト画面で、クイック を押す

❷ ▲･▼で「ハードディスク残量表示」を選び、決定を押す

❸ 残量表示画面を消すには、決定を押す。

■ 名前の変更について
- 機器によっては「名前の変更」ができない場合があります。

■ ショートカット作成について
- ショートカット作成後にフォルダの名前を変えると、ショートカットからアクセスできなくなります。

ハードディスクなどに録画した番組を見る つづき

● 接続・設定については準備編 67～69 をご覧ください。
● 接続した機器の取扱説明書もよくお読みください。

録画リストの基本操作～ i.LINK機器に録画した番組を見る～

1 レグザリンク を押し、▲・▼で「映像を見る」を選び、決定 を押す

● 「機器選択」画面が表示されます。
※ 録画機器が1台しか接続されていない場合は、録画リストが表示されます。（下図）

2 ◀・▶で機器を選び、決定 を押す

■ ハードディスクビデオレコーダー（i.LINK接続）を選んだ場合

● 録画リストが表示されます。（下図）

❶ 見たい番組を▲・▼で選ぶ

● 選んだ番組の情報を見るときは、黄 を押します。17

❷ 決定 を押す

● 選んだ番組の再生が始まります。
※ 再生されるまでに時間がかかる場合があります。
● 「録画中」の番組を選ぶと、録画中の番組が再生されます。
● 停止、早送り、早戻しなどの操作は、リモコンのボタンで行います。43

■ D-VHSビデオ（i.LINK接続）を選んだ場合

❶ ちょっとタイム再生 ▶/II を押すと再生がはじまります。
● 停止、早送り、巻戻しなどの操作は、リモコンのボタンで行います。43

■ 録画リストについて

● 録画リストでは、録画番組の削除や保護などもできます。51、52
● 録画リストに表示できる最大数は、ハードディスクビデオレコーダーで350までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。最大数は機器によっても制限されることがありますので、各機器の取扱説明書でご確認ください。
● 地上デジタル放送のチャンネル番号などは、本機のチャンネル設定が変更された場合や、本機以外の操作で録画した番組の場合には、録画リストに正しく表示されないことがあります。
● ハードディスクビデオレコーダーでは、数秒程度の短い録画内容や、受信障害やコピー制限などで正常に録画できなかった番組は、レコーダー自身が自動的にそれらを削除することがあります。

■ 接続機器について

● 他の機器から本機がi.LINK操作されているときは、本機から操作することはできません。本機から操作するには、他の機器からの操作を終了させてください。
● i.LINK機器の場合、「機器に接続できません。」が表示されたときは、いったん機器操作モードを終了し、i.LINKケーブルをつなぎ直してから、再び機器操作モードにしてください。
● ブロードキャスト（準備編 69）の場合は、「i.LINK機器選択」画面に「ブロードキャスト」と表示されます。本機で対応していないブロードキャスト出力信号の場合には、本機では視聴できません。
● 「登録モード設定」で「手動」に設定している場合は、i.LINK機器の登録をしてください。（準備編 69）
● 本機のリモコンによる動作は、機器によって異なることがあります。

● 送信側の情報によって、番組放送時間などが正しく表示されない場合があります。

お知らせ

● データ放送を録画した場合、録画した内容によっては再生できないことがあります。
● データ放送の録画番組を再生しているときに一時停止にすると、映像が消えます。
● 番組連動データ番組を再生中に一時停止にする場合は、クイック を押し、「その他の操作」から「データ放送終了」でデータ放送を終了してください。
● データ放送の録画番組を再生しているときに画面に従って操作をすると、現在のデータ放送チャンネルに飛ぶことがあります。

録画リストの基本操作～ i.LINK機器に録画した番組を見る～ つづき

機器操作中にはこんなこともできます!

■ 録画リストを表示する

❶一画面再生中に、機器操作[録画リスト]を押す

❷▲･▼で「録画リスト」を選び、(決定)を押す

■ 電源を操作する

● i.LINK機器の電源をオン、オフします。
※ 録画中は電源オフできません。
※「テレビ電源入連動」(準備編 69)を「連動する」にしているときは、電源入連動機器に設定されている機器は電源オフできません。

❶一画面再生中に、機器操作[録画リスト]を押す

❷▲･▼で「電源」を選び、(決定)を押す

❸▲･▼で「電源オフ」または「電源オン」を選び、(決定)を押す

機器選択画面ではこんなこともできます!

■ 機器の情報を見る

❶情報を見たい機器を選び、[クイック]を押す

❷「機器の情報」を選び、(決定)を押す
• メーカー名、形名などが表示されます。
• 情報を確認後、(決定)を押します

録画リストではこんなこともできます!

■ 別の機器を選ぶ

❶録画リスト画面で、[青]を押す
● 機器選択画面が表示されます。

❷▲･▼･◀･▶で使いたい機器を選び、(決定)を押す

■ 一つの番組を削除する

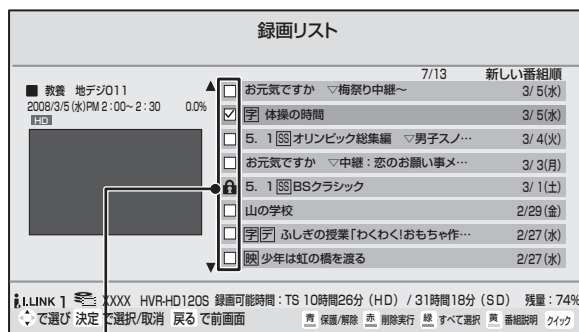
❶削除したい番組を▲･▼で選び、[赤]を押す

❷確認画面で、「はい」を◀･▶で選び、(決定)を押す
※ 削除中は他の操作をしないでください。

❸「削除を完了しました。」が表示されたら、(決定)を押す

■ 複数の番組を削除する

❶録画リスト画面で、[赤]を押す

❷「選択削除画面へ」を◀･▶で選び、(決定)を押す
● 番組名の前にチェックボックスが表示されます。

❸削除したい番組を▲･▼で選び、(決定)を押す
● 番組名の前にチェックボックスが表示され、(決定)を押すたびに、☑と□が交互に切り換わります。
● 手順❷の画面では、以下の操作もできます。
• 番組をすべて選択したい場合は[緑]を押します。
• 保護を解除したい場合は、保護されている番組を選んで[青]を押します。
• 番組の情報を見るときは、[黄]を押します。

❹すべて選んだら、[赤]を押す

❺確認画面で「はい」を◀･▶で選び、(決定)を押す
※ 削除中は他の操作をしないでください。

❻「削除を完了しました。」が表示されたら、(決定)を押す

■ ハードディスクビデオレコーダーについて
● ハードディスクビデオレコーダーをD-VHSモードで使用している場合は、正しく動作しないことがあります。また、リモコンボタンによる動作は、一般のD-VHS機器と異なる場合があります。

■ D-VHSについて
● データ放送の録画番組を再生しているときに一時停止にすると、映像が消えます。
● 番組連動データ番組を再生中に一時停止にする場合は、[クイック]を押して「その他の操作」から「データ放送終了」でデータ放送を終了してください。
● データ放送の録画番組を再生しているときに画面に従って操作をすると、現在のデータ放送チャンネルに飛ぶことがあります。

ハードディスクなどに録画した番組を見る つづき

録画番組の情報を見る

❶録画リスト画面で、情報を見たい番組を▲·▼で選び、黄を押す

番組の冒頭から再生をする

❶録画リスト画面で、再生したい番組を▲·▼で選び、クイックを押す

❷▲·▼で「頭出し再生」を選び、決定を押す

番組を並べ替える

❶録画リスト画面で、クイックを押す

❷▲·▼で「並べ替え」を選び、決定を押す

❸▲·▼で「新しい番組順」または「古い番組順」を選び、決定を押す

録画番組を保護する

● 保護は、録画した番組が削除されないようにする機能です。

※ 録画中にはできません。

❶保護したい番組を▲·▼で選び、クイックを押す

❷▲·▼で「保護」を選び、決定を押す

● 決定を押すたびに、保護と解除が交互に切り換わります。
保護されている番組を選ぶと、「保護解除」が表示されます。

● 保護された番組にはアイコン「🔒」がつき、削除はできなくなります。

録画番組を検索する

● ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して番組を検索できます。

❶録画リスト画面で、クイックを押す

❷▲·▼で「番組検索」を選び、決定を押す

● 検索画面が表示されます。

録画番組検索
i.LINK 1 XXXX HVR-HD120S
検索条件を指定してください。

ジャンル	指定なし
キーワード	指定なし
日付	指定なし
チャンネル	すべて

検索開始

で選び 決定 で検索開始 戻る で前画面

❸▲·▼で「ジャンル」、「キーワード」を選び、決定を押す

● 選びかたは「ジャンルやキーワードを指定して番組を検索する」13をご覧ください。

※ ジャンル、キーワードのどちらかは必ず指定してください。

日付を指定するときは、以下の操作をする

① ▲·▼で「日付」を選び、決定を押す

② 日付指定画面で、指定する日付を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

※ 画面の左端の項目を「指定する」にしたときに、検索開始日と終了日を指定できます。

チャンネルを指定するときは、以下をする

① ▲·▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

② チャンネル指定画面で、◀·▶で指定する項目、▲·▼で指定する内容を選ぶ

- 放送の種類　：BS ／ CS ／地デジ／すべて
- 放送メディア：テレビ／データ／すべて
- チャンネル　：すべて／上記の受信可能なチャンネル

③ 指定が終わったら、決定を押す

❹▲·▼·◀·▶で「検索開始」を選び、決定を押す

● 検索にはしばらく時間がかかります。

● 番組が351個以上ある場合は、検索対象は新しい番組から350個です。

リピート再生設定

● リピート再生や保護リピート再生の設定をします。

❶設定したい番組を▲·▼で選び、クイックを押す

❷▲·▼で「リピート再生設定」を選び、決定を押す

❸▲·▼で設定項目を選び、決定を押す

● **リピートオフ**：通常の再生をします。

● **リピート再生**：一つの番組を繰り返して再生します。

● **保護リピート再生**：保護している番組を順次再生します。再生される順番は録画リスト44の古い番組順になります。

• 保護についてはこのページ左側をご覧ください。

※ 設定した「リピート再生」、「保護リピート再生」のアイコンは、録画した番組を再生した際に、カウンター表示で確認できます。

※ 録画中の番組は、リピート再生できません。

■ 保護について

● 機器によっては保護できない場合があります。機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 保護リピート再生について

● 保護リピート再生する際は、再生の切り換わり時に音がひずむことがあります。

● 頭出し再生は、保護リピート再生時であっても全番組が頭出し再生の対象となります。

● 保護していない番組を選んだ場合は、その番組だけを繰り返し再生します。

- SDメモリーカードの挿入口については、準備編 18 をご覧ください。(42ZH7000にはありません。)
- 内蔵ハードディスクにワンセグ録画した番組の内容を確認したり、SDメモリーカードに保存してあるワンセグなどを本機で見たりすることができます。
- 基本的な操作は、通常の録画リストと同様です。詳しい操作は、45 ～ 49 をご覧ください。(ワンセグ録画リストでは、一部できない操作があります)

録画リストの基本操作～ワンセグ録画リストを見る～ (42ZH7000を除く)

1 レグザリンク を押す

2 ▲·▼ で「ワンセグ録画リスト」を選び、決定 を押す

- 内蔵ハードディスクに録画したワンセグ録画リストが表示されます。
- SDメモリーカードに録画したワンセグを見るには、レグザリンクを押して「映像を見る／機器選択」を選び、SDメモリーカードを選んでください。

※ ワンセグ録画中は、ワンセグ録画リストを表示できません。

3 ▲·▼ で見たい番組を選ぶ

- 選んだ番組の情報を見るときは、黄 を押します。17

4 決定 を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
  ※ 再生されるまでに時間がかかる場合があります。
- ワンセグを再生中に早送り、早戻しはできません。

録画番組をダビングする

- 内蔵ハードディスクにワンセグ録画した番組をSDメモリーカードにダビングすることができます。
  ※ 録画中にはできません。
  ※ ダビング中は、本機からSDメモリーカードを抜かないでください。

❶ 本機にSDメモリーカードを挿入する
❷ ダビングしたい番組を▲·▼で選び、緑 を押す
❸ 以下の操作をする

選んだ番組だけをダビングする場合

① 確認画面で、「はい」を◀·▶で選び、決定 を押す

複数の番組をダビングする場合

① 確認画面で、「複数選択画面へ」を◀·▶で選び、決定 を押す
② 「録画リスト」でダビングしたい番組を▲·▼で選び、決定 を押す
③ ダビングしたい番組をすべて選び、緑 を押す
※ 一度にダビングできるのは16番組までです。
④ 確認画面で「はい」を◀·▶で選び、決定 を押す
※ 番組のダビング中は操作しないでください。

※ 内蔵ハードディスクの録画リストから、ワンセグアイコンのついた番組を選んだあと 緑 を押し、ダビング先をSDメモリーカードに指定してダビングすることもできます。47
(その場合、複数の番組を一度にダビングすることはできません。)

- 番組放送時間などは送信側の情報によっては、正しく表示されない場合があります。

お知らせ
- 本機でワンセグを再生する場合、字幕は表示されません。また、ラジオ放送、データ放送は録画できません。
- 本機で初期化していないSDメモリーカードにダビングをした場合は、携帯機器で再生できない場合があります。
- SDメモリーカードにダビング可能な番組数は最大99番組、1番組あたりの最大時間は6時間です。

レグザリンクを使う～レグザリンクとは～

はじめに

■ レグザリンクとは

● 本機に録画機器や再生機器、パソコン、AVアンプなどを接続して、便利に使う機能です。
　※ HDMI連動機能対応機器や、東芝RDシリーズ（アナログ・デジタル）を本機に接続して使用する場合には、設定が必要です。（準備編 44、46、48、49、52）

■ HDMI 連動機能について

● 本機の HDMI 連動機能では、HDMI で規格化されている HDMI CEC（Consumer Electronics Control）を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。
● 本機と東芝製の HDMI 連動機能対応機器（レコーダー、パソコン、ハイビジョンムービーカメラなど）を HDMI ケーブルでつなぐことで利用できます。
また、東芝推奨の AV アンプなどでも利用することができ、それらの接続機器を本機のリモコンで操作することができます。
（機器の接続方法や推奨機器については準備編 44、46、48、49 をご覧ください）
● 推奨機器以外の機器を HDMI 接続した場合に HDMI 連動機能対応機器と認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。
● 推奨機器であっても、機器によっては一部の連動操作ができない場合があります。
● HDMI 連動機能対応機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
　・ 接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
　・ すべての接続機器の動作を確認してください。
　※ 機器に割り振られる番号は接続形態によって変化する場合があります。
● HDMI 連動機能を使うには、接続機器それぞれの設定が必要です。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

■ ワンタッチプレイについて（HDMI 連動機能対応機器のみ）

● HDMI連動機能に対応した機器を操作すると、機器に連動してテレビの電源がはいり、操作した機器に合わせて入力が切り換わります。
　※「レグザリンク設定」内「HDMI連動設定」の「HDMI連動機能」を「使用する」、「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しておくことが必要です。（準備編 52）
　※ 本機能は、東芝レコーダー RD-A600 ／ RD-A300では対応していません。（バージョンアップ後も対応していません）

■ システムスタンバイについて（HDMI 連動機能対応機器のみ）

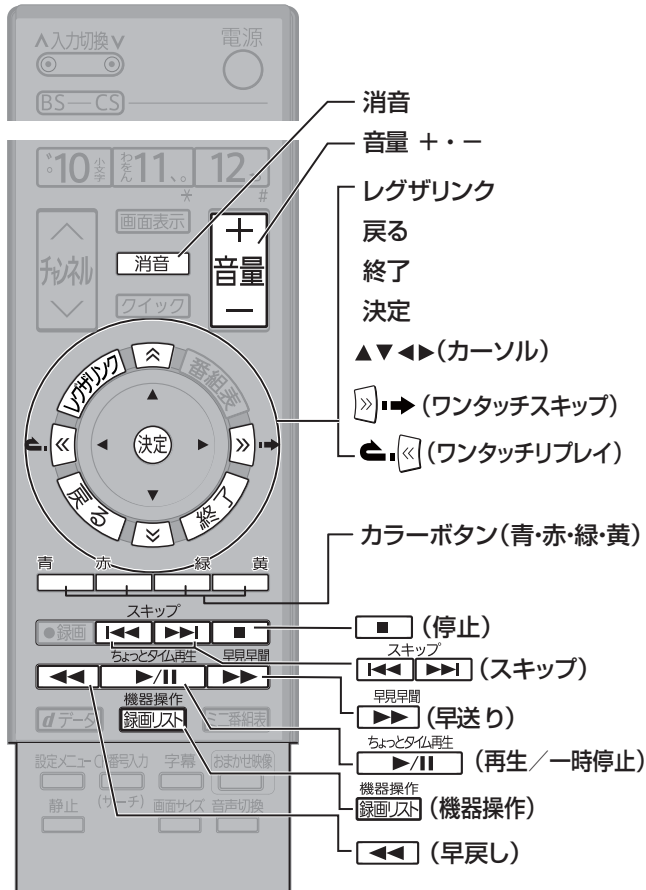
● テレビのリモコンで本機の電源を「待機」にしたときや、オフタイマー、省エネ設定の機能などで本機が待機状態になったときに、テレビからのシステムスタンバイが働き、HDMI連動機能に対応した機器も同時に電源が「待機」になります。
また、接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源を「待機」にしたときに、本機の電源を「待機」にすることもできます。
　※ 本機からのシステムスタンバイは、「レグザリンク設定」内「HDMI連動設定」の「HDMI連動機能」を「使用する」、「テレビ→連動機器電源オフ」を「連動する」に設定しておくことが必要です。（準備編 52）
　※ 接続機器からのシステムスタンバイは、「レグザリンク設定」内「HDMI連動設定」の「HDMI連動機能」を「使用する」、「連動機器→テレビ電源」を「連動する」に設定しておくことが必要です。（準備編 52）
　※ 本機能は、東芝レコーダー RD-A600 ／ RD-A300では対応していません。（バージョンアップ後も対応していません）

レグザリンクのメニューについて

● (レグザリンク)を押すと、以下のメニューが表示されます。
下図は、レグザリンクメニューの内容を説明したものです。
詳しい操作については、各ページを参照してください。

レグザリンクを使う つづき

本機のリモコンでできる操作

● HDMI連動機能対応の機器を接続した場合、本機のリモコンで次の操作をすることができます。
※ 以下は代表的な動作です。操作する接続機器によっては、動作が異なる場合があります。

再生／一時停止
- 番組を再生します。
- 再生中に押すと再生を一時停止します。

ワンタッチスキップ
- 再生中に押すと少し先に進んで再生します。

ワンタッチリプレイ
- 再生中に押すと少し戻って再生します。

停止
- 再生中に押すと再生を停止します。
- 録画中に押すと録画を停止します。

終了
- 操作の途中で押すと、操作を中断します。

スキップ
- ⏮は、前に戻って頭出し再生します。
- ⏭は、一つ先に進んで頭出し再生します。

早送り
- 再生中に押すと早送りします。

早戻し
- 再生中に押すと早戻しします。

■ リモコン動作対応表

※：そのときの状況によって、「再生」「一時停止」になります。

本機のリモコンボタン	HDMI連動機能対応 東芝レコーダー	HDMI連動機能対応 東芝パソコン	HDMI連動機能対応 東芝ハイビジョンムービーカメラ	AVシステム
ちょっとタイム再生・一時停止	○ ※	○ ※	○ ※	―――
停止	○	○	○	―――
スキップ	○	○	○	―――
早送り・早戻し	○	○	○	―――
ワンタッチスキップ･リプレイ	○	○	ワンタッチスキップのみ	―――
カーソル	○	○	○	―――
決定	○	○	○	―――
戻る・リターン	○	○	○	―――
終了	○	○	○	―――
機器操作	○	○	○	―――
カラーボタン･青	○(Blue/A)	○(A)	―――	―――
カラーボタン･赤	○(Red/B)	○(B)	―――	―――
カラーボタン･緑	○(Green/C)	○(C)	―――	―――
カラーボタン･黄	○(Yellow/D)	○(D)	―――	―――
音量 ＋・－	―――	―――	―――	○
消音	―――	―――	―――	○

映像を見る／機器選択

1 (レグザリンク)を押す

2 ▲・▼で「映像を見る／機器選択」を選び、(決定)を押す

● 機器選択が表示されます。

※ 機器が接続されていない場合は、内蔵ハードディスクの録画リスト画面に切り換わります。

3 操作したい機器を◀・▶で選び、(決定)を押す

● 選んだ機器によって、表示される項目が変わります。

※ メニューが表示されない場合は、機器操作 録画リストを押してください。

内蔵、USB、LANハードディスク、DLNA認定サーバーの場合

● 録画リストが表示されます。
詳しい操作については44をご覧ください。

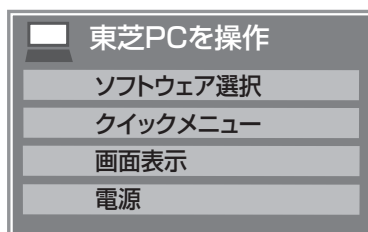
SDメモリーカードの場合(42ZH7000を除く)

● SDメモリーカードのワンセグ録画リストが表示されます。
詳しい操作については、53をご覧ください。

HDMI連動機能対応東芝レコーダーの場合

● 次ページの「東芝レコーダーを操作する」の項目をご覧ください。

HDMI連動機能対応東芝パソコンの場合

● 「HDMI連動設定」の「PC映像連動」(準備編52)を「使用する」に設定すると、HDMI連動機能対応東芝パソコンをHDMI接続した際に、映像設定が最適に調整された状態でテレビ画面に表示されます。この初期状態から設定を手動で変更した場合は、変更した状態が新たな初期状態として記憶されます。

ソフトウェア選択

● 表示される項目を▲・▼で選び(決定)を押すと、アプリケーションが起動します。

クイックメニュー

● 東芝パソコンのクイックメニューが表示されます。

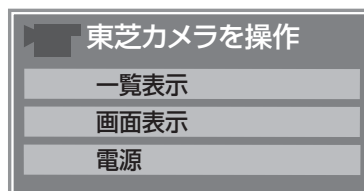
画面表示

● 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

電源

● (決定)を押すと、電源オン／オフをします。

HDMI連動機能対応東芝ハイビジョンムービーカメラの場合

東芝カメラを操作
一覧表示
画面表示
電源

一覧表示

● 一覧表示画面が表示されます。

画面表示

● 状態表示の表示内容を切り換えます。

電源

● (決定)を押すと、電源オフします。

お知らせ

■ HDMI連動機能対応東芝パソコンについて
- 選択したアプリケーションによっては、動作しないリモコン操作や項目があります。
- アプリケーションの状態によってはパソコンでの操作が必要になる場合があります。

■ HDMI連動機能対応東芝ハイビジョンムービーカメラについて
- 機種によっては、「東芝カメラを操作」の「電源」を選んでも電源を入れることはできません。

レグザリンクを使う つづき

東芝レコーダーを操作する

● HDMI連動機能対応の東芝レコーダーを本機のリモコンで操作できます。

1 （レグザリンク）を押す

2 ▲・▼で「東芝レコーダーを操作」を選び、（決定）を押す

● 機器選択画面が表示されます。
※ 機器が1台しか接続されていない場合は、接続されている機器の画面に切り換わります。

3 操作したい機器を◀・▶で選び、（決定）を押す

● 選んだ機器の電源がはいり、画面が切り換わります。
● 本機のリモコンでの操作についての詳しい説明は、56 の表をご覧ください。

4 操作したい項目を▲・▼で選び、（決定）を押す

● 選んだ機器によって、表示される項目が変わります。
※ メニューが表示されない場合は、機器操作/録画リストを押してください。

■ 見ながら選択

●「見ながら選択」画面が表示されます。

■ ドライブ切換

● ハードディスクとDVDを切り換えます。

■ 画面表示

● 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

■ 電源

● （決定）を押して、電源をオン／オフします。

■ DVDトップメニュー（その他の操作内）

● DVD視聴中に選ぶと、DVDトップメニューが表示されます。

■ DVDメニュー（その他の操作内）

● DVD視聴中に選ぶと、DVDメニューが表示されます。

■ W録切換（その他の操作内）

● 表示されるW録設定を切り換えます。

番組の予約をする

■ はじめに

● 東芝RDシリーズ（アナログ／デジタル）に録画する場合は、RDシリーズの電源を入れておきます。
● 録画機器の準備については、28 をご覧ください。
● HDMI連動機能を使って、他社製のハードディスクレコーダーに録画をすることはできません。

1 （レグザリンク）を押し、▲・▼で「予約する」を選び、（決定）を押す

2 ▲・▼で予約方法を選び、（決定）を押す

■ 番組表から予約をする

● 番組表を使って予約をします。
32 をご覧ください。

■ 日時を指定して予約をする

● 開始時間と終了時間を設定して予約をします。番組表を使った予約ができない場合は、こちらから予約してください。
37 をご覧ください。

■ HDMI連動機能対応東芝レコーダーについて
● 機種によっては表示内容が異なる場合があります。

写真をテレビで見る

● SDメモリーカード、USB機器(デジタルカメラ、メモリーカード)、LANハードディスク、DLNA認定サーバー(準備編 64)に記録されている写真(JPEGファイルの画像)を見ることができます。

● SDメモリーカードの挿入口は準備編 18、USB機器の接続は準備編 50、LANハードディスク、DLNA認定サーバーの接続は準備編 60 をご覧ください。

※ 42ZH7000では、SDメモリーカードは使えません。

データのバックアップを取ることをおすすめします。

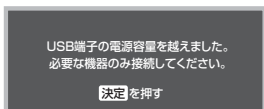
本機で使用したことでデータが変化・消失した場合の補償はできませんので、たいせつなデータは本機で使用する前にあらかじめバックアップをとっておいてください。

USB 機器を使用するときのお願いとご注意

●USB 機器を抜き差しするときは、リモコンまたは本体の電源ボタンで本機の電源を切ってください。

■ 図のようなメッセージが表示されたとき

USB端子の電源容量を越えました。
必要な機器のみ接続してください。
決定 を押す

❶ 決定 を押したあと、本体の電源ボタンを押して電源を切る
❷ 本機に接続している USB 機器をすべてはずす
❸ 本機の電源プラグをコンセントから抜く
❹ 約 10 秒後に電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源ボタンを押して、電源を入れる
❺ 使いたい USB 機器だけを本機に接続する

1 レグザリンク を押し、▲·▼で「写真を見る」を選び、決定 を押す

● 「機器選択」画面が表示されます。
見たい機器を▲·▼·◀·▶で選び、決定 を押します。
● 写真やフォルダがマルチ表示されます。

※ USB再生機器が1台しか接続されていない場合は、機器のマルチ表示画面が表示されます。
※ LANハードディスクを選んだ場合で、LANハードディスクにアクセスするためのユーザー名とパスワードの入力画面が表示されたときは、入力してください。(30 をご覧ください。)
※ **表示形式については、次ページの「写真の表示形式について」をご覧ください。**

2 次の操作で写真を見る

■ 1枚だけ拡大して表示する(シングル表示)

❶ **▲·▼·◀·▶で写真を選び、決定 を押す**
● フォルダの中の写真を見るには、▲·▼·◀·▶でフォルダを選び、決定 を押してフォルダを開きます。
※ 上の階層に戻るときは、▲·▼·◀·▶で「上の階層へ」を選び、決定 を押します。
● ◀·▶で前や次の写真を選びます。

■ 自動的に順番に表示する(スライドショー表示)

❶ **マルチ表示やシングル表示のときに、緑 を押す**
● 今選んでいる写真から順番に表示します。
・ スライドショーを一時停止するには 青 を押します。もう一度押すと再び再生します。
・ 見たい写真を◀·▶で選ぶことができます。
・ マルチ表示に戻るには 緑 を押します。
・ シングル表示に戻るには 黄 を押します。

3 写真を見終わったら、終了 を押す

● 再生できる写真(静止画ファイル)

圧縮方式	JPEG 準拠
静止画ファイルフォーマット	Exif ver2.2 準拠
画素数	6000 × 4000 ピクセル以内
ファイルサイズ	24MB 以内

● 対応しているファイルシステム(USB 機器のPC 接続モード時)

FAT12/FAT16/FAT32

● 使用できる SDメモリーカードについて(42ZH7000を除く)

· SD Specifications Part 1 Physical Layer Specification Version 2.00
· SD Specifications Part 2 File System Specification Version 2.00

●対応している USB機器の規格

· Universal Serial Bus Mass Storage Class(この取扱説明書では PC 接続モードと表現します。)
※機器によってはマスストレージクラス、MassStorage などと表現されていることがあります。
· Universal Serial Bus Still Image Capture Device(この取扱説明書ではプリンタ接続モードと表現します。)
※機器によっては PTP などと表現されていることがあります。

● **SDメモリーカードでの再生中は、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。**
● **DLNA認定サーバーに保存された写真については、DLNA認定サーバー側で自動的にサイズを変更して表示する場合があります。**
● パソコンのアプリケーションを使って加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。また、JPEG圧縮ではないファイル(非圧縮のファイルも含みます)や動画ファイルは再生できません。

レグザリンクを使う つづき

カラーボタンでできること

■ 並べ替え

- マルチ表示(通常表示)の写真を並べ替えることができます。
- DLNA認定サーバーではできません。

❶ **通常表示のときに、青 を押す**

- 青 を押すたびに、「古い順」と「新しい順」が交互に切り換わります。
- 先にフォルダが並び、続いて写真が並びます。

■ 写真を回転させる

❶ **シングル表示で写真を見ているときに、赤 を押す**

- 押すたびに時計回りに90度回転させることができます。
- 回転した状態は保存されません。

■ スライドショーの表示時間の間隔を変える

❶ **スライドショー表示のときに、赤 を押す**

❷ **▲･▼･◀･▶で表示時間の間隔を選び、決定 を押す**

- 表示時間の間隔とは、写真の表示が完了してから次の写真の表示が始まるまでの時間のことです。

■ 写真の表示形式について

- 本機での写真の表示方法には以下の方法があります。
  - ･**マルチ表示** ･･････････ 写真やフォルダをサムネイル(一覧表)で表示します。マルチ表示には、通常表示とシームレス表示の2種類があります。
  - ･**シングル表示** ････････ 1枚の写真を画面に表示します。
  - ･**スライドショー表示** ･･ シングル表示した写真を、自動で順番に表示します。

● 各機器で対応しているマルチ表示の形式

USB 機器	PC 接続モード	●通常表示 ●シームレス表示 (DCIM フォルダがあるときのみ)
	プリンタ接続モード	●シームレス表示
LAN ハードディスク		●通常表示
DLNA 認定サーバー		●通常表示
SD メモリーカード (42ZH7000では使えません)		●通常表示 ●シームレス表示 (DCIM フォルダがあるときのみ)

※ シングル表示、スライドショー表示(前ページ手順 **2** 参照)は、どの機器でも表示できます。

マルチ表示(通常表示)

- 複数の写真と、同じ階層にあるフォルダが合計1000枚まで表示されます。
  ※ 階層が深い場合や、ファイル名、フォルダ名が長い場合は表示できないことがあります。

マルチ表示(シームレス表示)

- 複数の写真が表示されます。(フォルダは表示されません。)ファイル数が多い場合や、JPEG以外のファイルがある場合は表示に時間がかかることがあります。
  ※ PC 接続モードの場合は、第 1 階層にある DCIM フォルダや、その中にある第 6 階層までのフォルダに保存されている JPEG ファイルのみが最大 1000 ファイルまで表示されます。
  ※ プリンタ接続モードの場合は、JPEG ファイルのみが最大 1000 ファイルまで表示されます。
- USB機器のPC接続モードとSDメモリーカードの写真を見ている場合には、黄 を押して通常表示とシームレス表示を切り換えることができます。

- DCIMフォルダとは、デジタルカメラで写真を撮ったときに、その画像ファイルが保存されるフォルダのことです。
- 前ページ手順 **2** で写真以外の情報表示を消すには 画面表示 を押します。押すたびに表示と非表示を繰り返します。
- 写真(JPEGファイル)の表示中は、デジタル放送録画出力端子から映像・音声は出力されません。

予約を確認する

● 本機の予約リスト画面に、「東芝RDデジタル」、「HDMI連動機能対応東芝レコーダー」に録画予約した番組は表示されません。

1 を押す

2 ▲･▼で「予約を確認する」を選び、決定 を押す

● 予約リストが表示されます。予約内容を確認したり、予約を取り消したりする場合は、40 をご覧ください。

スピーカーを切り換える

● 音声をテレビのスピーカーとAVシステムのどちらから出すかを切り換えることができます。

1 を押す

2 ▲･▼で「スピーカーを切り換える」を選び、決定 を押す

3 ▲･▼で「テレビのスピーカーから音声を出す」または「AVシステムから音声を出す」を選び、決定 を押す

● 本機のリモコンで操作できることについては、56 の表をご覧ください。

ワンセグ録画リストを見る(42ZH7000を除く)

● 内蔵ハードディスクに録画したワンセグを見ることができます。

1 を押す

2 ▲･▼で「ワンセグ録画リスト」を選び、決定 を押す

● 詳しい操作については、53 をご覧ください。

※ SDメモリーカードに録画したワンセグを見る場合は、「映像を見る／機器選択」57 の手順 **2** でSDメモリーカードを選択すると、SDメモリーカードのワンセグ録画リストが表示されます。

レグザリンク設定

● レグザリンクを使うための設定メニューを表示します。

1 レグザリンク を押す

2 ▲･▼で「レグザリンク設定」を選び、決定 を押す

● 設定項目の詳しい内容は、準備編 93 をご覧ください。

HDMI入力拡張切換

● 複数のHDMI連動機能対応機器を接続している場合、使いたい機器をクイックメニューから選ぶことができます。

1 入力切換 で、使いたい機器がつながっている入力を「HDMI 1」～「HDMI4」から選ぶ

2 クイック を押す

3 ▲･▼で「HDMI入力拡張切換」を選び、決定 を押す

● HDMI接続機器一覧が表示されます。

● オンキヨー製AVシステムの場合は、機器一覧にHDMI連動機能対応機器だけでなく、AVシステムの端子名も表示されます。(何も接続されていない端子も表示されます)

4 ▲･▼で操作したい機器を選び、決定 を押す

● 選んだ機器の電源がはいります。

※ 各HDMI端子に機器が1台しか接続されていない場合は、選択できません。

※ AVシステムを選ぶことはできません。

5 選んだ機器を操作する

● HDMI連動機能対応機器の場合は、本機のリモコンで一部の操作ができます。56

■「スピーカーを切り換える」について

● 音声をAVシステムから出しているときは、本機のヘッドホーン端子からも音声は出ません。

● 消音表示は数秒で消えます。

レグザリンクを使う つづき

HDMI連動機能対応機器を使用するときのご注意

録画・録画予約について

- HDMI連動機能を利用して録画できるのはHDMI連動機能対応の東芝レコーダーだけです。
- 録画機器の状態によっては録画設定ができなかったり、録画設定に時間がかかったりすることがあります。
- 接続機器側が録画設定中の場合は、次の録画や録画予約をすることはできません。
- 録画設定中のメッセージが表示されているときに を押すと、メッセージ画面を消すことができますが、録画設定結果のメッセージは表示されません。

AVアンプについて

- AVシステムの入力状態によっては、テレビから音声が出ない場合があります。
- AVシステム連動操作中にAVシステム側の入力を切り換えたときに、実際の映像と画面右上の接続機器表示が一致しない場合があります。

オンキヨー製AVシステムをHDMI連動機能を利用して連動動作させる場合のお願い

対象機種：オンキヨー製　TX-SA605(N)、TX-SA605(S)、TX-SA705(N)、TX-SA805(N)、TX-NA905(N)、DTX-5.8、DTX-7.8、DTX-8.8、DTC-9.8

- AVシステムの電源プラグをコンセントに差す場合には、本機の電源を入にしてから、AVシステムの電源プラグをコンセントに差し込んで電源を入れてください。この順番が逆になると、HDMI連動機能を使用したときに、まれにAVシステムが正しく動作しないことがあります。その場合は本機の電源を入れた状態で、AVシステムの電源を入れ直してください。
  ※ 停電のあとやブレーカーの操作などで、本機とAVシステムの電源が同時にはいるようなときにも起こることがあります。

インターネットなどを楽しむ

アクトビラを楽しむ

はじめに

■ アクトビラとは

- 「アクトビラ」は、(株)アクトビラが提供するテレビ向けインターネット・サービスです。
  本機をブロードバンドのインターネット回線に接続するだけで、お楽しみいただけます。
  (別途、プロバイダーとの契約が必要です)
  ※ 回線の速度によっては、視聴できないサービスがあります。

■ アクトビラには以下のようなサービスがあります(2008年9月現在)

◆アクトビラビデオ
映画やドラマ、アニメなど10ジャンル・1000番組以上のビデオを番組ごとに購入して楽しむことができるビデオオンデマンド(VOD)サービスです。
標準画質でのサービスのほかに、ハイビジョンレベルでのサービスもあります。
テレビのリモコンで、早送り、早戻し、一時停止などの操作をしてご覧いただけます。

◆アクトビラベーシック
テレビ番組に関する情報や、話題の商品など、気になるトレンドをチェックして買い物をしたり、生活に関する最新情報(ニュース、天気予報、株価、交通情報など)を入手したりすることができます。

アクトビラを楽しむための準備

LANの接続(準備編 29)と
設定(準備編 86 ～ 87)をする

初めてアクトビラを使うとき

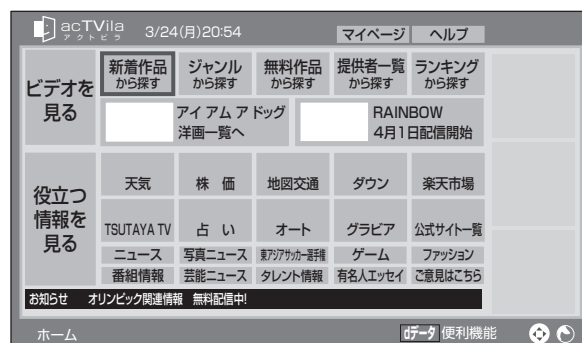
- 初めてアクトビラを使うときに、本機に組み込まれた識別情報が自動で送信されます。
  その後、郵便番号を入力画面が表示されます。
  画面の指示に従って入力してください。
  郵便番号を入力しないと、アクトビラの一部の機能が使用できない場合があります。

アクトビラの見かた

1 ブロードバンド を押す

2 ▲・▼で「アクトビラ」を選び、決定 を押す

- しばらくするとアクトビラのトップページが表示されます。

※ **回線の状態によって時間がかかることがあります。**

3 以下の操作をする

■ ビデオサービスを見る場合

- ▲・▼・◀・▶で「ビデオを見る」の中から見たい項目を選び、決定 を押してください。
- 目的の項目になるまで上記の操作を繰り返します。
- 購入画面などが表示されたら、画面の表示に従って操作してください。

■ 情報サービスを見る場合

- ▲・▼・◀・▶で「役に立つ情報を見る」の中から見たい項目を選び、決定 を押してください。
- 目的の項目になるまで上記の操作を繰り返します。

4 アクトビラを終了するには、終了 を押す

- 「アクトビラを終了してよろしいですか？」と表示された場合は、◀・▶で「はい」を選んで、決定 を押してください。

- 手順 **1** や手順 **2** の画面では、dデータ を押して、「便利機能」を使うことができます。64(「便利機能」は、アクトビラがサービスしている機能ではなく、本機独自の機能です)
- i.LINK機器への録画中には、アクトビラの視聴はできません。
- アクトビラサービスを内蔵ハードディスク、USBハードディスク、LANハードディスクやi.LINK機器にデジタル録画することはできません。

インターネットなどを楽しむ つづき

アクトビラを楽しむ つづき

ビデオサービスを見る

※ サービス提供者側の状況によっては、各操作が実行されるのに時間がかかる場合があります。

基本の操作

● [▶/II]、[◀◀]、[▶▶]で操作します。

● 「スキップ：[I◀◀][▶▶I]」、「ワンタッチスキップ：[»] ➡」「ワンタッチリプレイ：⬅ [«]」もできます。43

時間を指定して再生する(タイムサーチ)

❶ [(サーチ)](ふたの中)を押す

● 画面右上に [サーチ－－:－－:－－] が表示されます。

❷ [1]～[10]で時間を指定する

例)冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき

➡ [10][1][2][5][10][5]

と6ケタの数字を押す

※ 間違えて入力したときは、[(サーチ)]を押し、入力画面を消してから、再度[(サーチ)]を押して入力し直してください。

音声切換をする

● 音声多重のテレビサービスでは、主音声と副音声が同時に聞こえます。

● 音声多重の場合は、[音声切換]を押すたびに、次のように切り換わります。

主：副 ➡ 主音声 ➡ 副音声

※ ビデオの視聴を終了すると、「主：副」に戻ります。

● 放送の種類によっては、音声多重以外に、「音声1」「音声2」など複数の音声に切り換わる場合があります。

ビデオ再生開始前の画面に戻るには

❶ [戻る]または[■]を押す

ビデオなどの情報を見るには

❶ [画面表示]を押す

● 情報表示を消すには、もう一度押します。

アクトビラの「便利機能」を使う

※ 「便利機能」は、アクトビラがサービスしている機能ではなく、本機独自の機能です。

1 アクトビラを見ているときに、[dデータ]を押す

● 便利機能リストが表示されます。

2 ◀･▶で機能を選び、(決定)を押す

● 機能(アイコン)を選ぶと、機能(アイコン)が反転します。

アイコン、機能名	内容
「ウインドウ」	新しいウィンドウを開いたり閉じたりします。
「戻る」	一つ前のページに戻ります。
「進む」	一つ先のページに進みます。
「再読み込み」 「中止」	↻：表示しているページを読み込みしなおします。 ✕：読込み中に読込みを中止します。(読込み中のときは✕が表示され、それ以外のときは↻が表示されます)
「ホーム」	アクトビラのトップページに戻ります。
「お気に入り」	・**「お気に入り一覧」**･･･一覧からページを見ることができます。 ・**「お気に入りに登録」**･･見ているページを「お気に入り」に登録します。 ※詳しい操作は 69 をご覧ください。 ※ここで登録した「お気に入り」は「アクトビラ」専用です。
「履歴表示」	今までに見たページの履歴から選ぶことができます。 ※詳しい操作は 69 をご覧ください。
「ポインター」	画面を操作するツールを「↖」または「✋」に変更することができます。 ※詳しい操作は 70 をご覧ください。
「検索」	・**「ページ内検索」**を利用して表示しているページ内の検索をすることができます。 ※詳しい操作は 70 をご覧ください。

ひかりTVを楽しむ

はじめに

ひかりTVとは

- 光回線(NTT東日本、またはNTT西日本のフレッツ回線)を利用して多チャンネル放送やビデオなどを楽しめる有料のブロードバンド映像配信サービスです。(あらかじめ、接続と設定が必要です)
- 標準画質でのサービスのほかに、ハイビジョンでのサービスもあります。
  ※ ご使用の回線のスピードによっては、映像が乱れたり、視聴できなかったりする場合があります。

ひかりTVにはテレビサービスとビデオサービスなどがあります(2008年9月現在)

- テレビサービス ‥‥ 70チャンネル以上の放送があります。(オプション契約が必要な約20チャンネルを含みます)
- ビデオサービス ‥‥ 映画やドラマなど数多くのビデオを好きな時間に楽しむことができます。早送り、早戻し、一時停止などもできます。

※ サービスの内容は、契約内容(料金プラン)によって異なります。

本書では、基本操作のみを記載しています

- ほかの操作については、「ひかりTVのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」(準備編 30)をご覧ください。
- 画面のイラストは一例であり、ご契約のプロバイダーによって異なります。

ひかりTVを楽しむための準備

「ひかりTVのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」(準備編 30)を参照の上、ひかりTVの申込みをする

ひかりTVの接続(準備編 30)と設定(準備編 86～87、90)をする

ひかりTVの見かた

1 [ブロードバンド]を押す

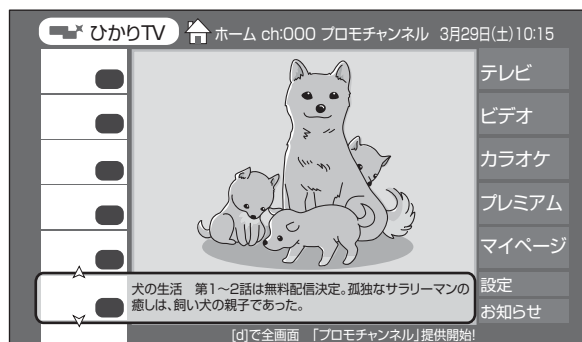
2 ▲・▼で「ひかりTV」を選び、(決定)を押す

3 ▲・▼で「ホーム」または「テレビ」を選び、(決定)を押す

- 「ホーム」を押すと、ひかりTVのホーム画面が表示されます。
  「テレビ」を押すと、ひかりTVの多チャンネル放送が表示されます。

※ **回線の状態によっては、時間がかかります。**

- IPTV設定(準備編 90)をしていない場合は、その旨のメッセージが表示されます。

【ホームを選んだ場合】

4 ▲・▼・◀・▶で項目やチャンネルを選び、(決定)を押す

※「ホーム」を選んだときの操作です。「テレビ」を選んだ場合は次ページをご覧ください。

- この操作を繰り返してチャンネルやビデオを選びます。(視聴画面での操作は次ページをご覧ください)
- 購入画面などが表示されたら、画面の表示に従って操作してください。

5 ひかりTVを終了するには、(終了)を押す

- 「IPTVを終了してよろしいですか?」が表示された場合は、◀・▶で「はい」を選んで、(決定)を押してください。

- ひかりTVの視聴中に録画予約や視聴予約の開始時刻になると、ひかりTVを終了して予約を実行します。
- 録画中には、ひかりTVは視聴できません。
- ひかりTVサービスを内蔵、USB、LANハードディスク、i.LINK機器にデジタル録画することはできません。

ひかりTVを楽しむ つづき

テレビサービスの視聴画面での操作

チャンネルを変える

● 順に選ぶとき

❶ [チャンネル]を押す

● チャンネルを指定して選ぶとき

❶ [CH番号入力](ふたの中)を押す

❷ [1]～[10][0](0)で3ケタのチャンネル番号を押す

※ 間違えて入力したときは、[CH番号入力]を押して、入力画面を消してから、再度[CH番号入力]を押して入力しなおしてください。

● 番組表から選ぶとき

❶ [番組表]を押す

❷▲･▼･◀･▶で番組を選び、[決定]を押す

※ 番組表画面では、カラーボタンで次のことができます。詳しい操作の手順については 13 をご覧ください。

- [青]：今の時間の番組表を見る
- [赤]：好きな時間の番組表を見る（8日先まで）
- [緑]：番組を検索する
- [黄]：番組情報を見る

音声切換をする

● 音声多重のテレビサービスでは、主音声と副音声が同時に聞こえます。

● 音声多重の場合は、[音声切換]を押すたびに、次のように切り換わります。

※ 選局操作などをすると「主：副」に戻ります。

● 放送の種類によっては、音声多重以外に、「音声1」「音声2」など複数の音声に切り換わる場合があります。

ひかりTVの選択画面に戻るには

❶ [ブロードバンド]を押す

❷ 65 手順 **2** 以降の操作をする

チャンネルなどの情報を見るには

❶ [画面表示]を押す

● 情報表示を消すには、もう一度押します。

※ そのほかにも、テレビサービスの視聴中に、[クイック]を押して、番組情報を見ることができます。

● テレビサービスの番組表から録画・視聴予約をすることはできません。

● ビデオサービスを見ているときに、[◀◀]で番組の始まりまで戻ったときに、冒頭付近の早戻し映像が表示されないことがあります。同様に、[▶▶]で番組の終わりまで送ったときに、末尾付近の早送り映像が表示されないことがあります。

ビデオサービスの視聴画面での操作

※ ご利用の際の宅内環境、ネットワーク環境やサービス提供者側システムの状況によっては、各操作が実行されるまでに時間がかかる場合があります。

基本の操作

- ［▶/II］、［◀◀］、［▶▶］で操作します。
- 「スキップ：［I◀◀］［▶▶I］」、「ワンタッチスキップ：［»］➡」「ワンタッチリプレイ：⬅［«］」もできます。43

時間を指定して再生する（タイムサーチ）

❶ ［（サーチ）］（ふたの中）を押す
- 画面右上に   が表示されます。

❷ ［1］～［10/0］で時間を指定する

例）から1時間25分5秒後の位置を指定するとき

➡ ［10/0］［1］［2］［5］［10/0］［5］

と6ケタの数字を押す

※ 間違えて入力したときは、［（サーチ）］を押して、入力画面を消してから、再度［（サーチ）］を押して入力し直してください。

音声切換をする

- 音声多重のテレビサービスでは、主音声と副音声が同時に聞こえます。
- 音声多重の場合は、［音声切換］を押すたびに、次のように切り換わります。

主：副 ➡ 主音声 ➡ 副音声

※ ビデオの視聴を終了すると「主：副」に戻ります。

- 放送の種類によっては、音声多重以外に、「音声1」「音声2」など複数の音声に切り換わる場合があります。

ビデオ再生開始前の画面に戻るには

❶ ［戻る］または［■］を押す

ビデオなどの情報を見るには

❶ ［画面表示］を押す
- 情報表示を消すには、もう一度押します。

ひかりTVの視聴制限について

- ひかりTVには、視聴年齢制限が定められた番組があります。（視聴制限の設定については準備編 92 をご覧ください）チャンネルやビデオを視聴する際に、設定した年齢を超えている放送番組やビデオを表示、視聴する場合は、暗証番号の入力が必要です。（その際、「この番組には視聴年齢制限があります。」などのメッセージが表示されます）
- 成人向けコンテンツやR指定コンテンツなどの視聴には、「視聴年齢制限設定」（準備編 92）での設定が必要です。

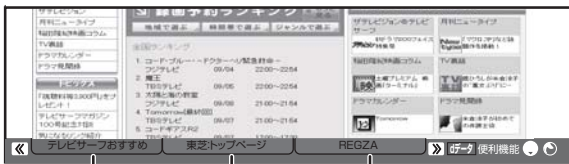
インターネットなどを楽しむ つづき

インターネットを楽しむ

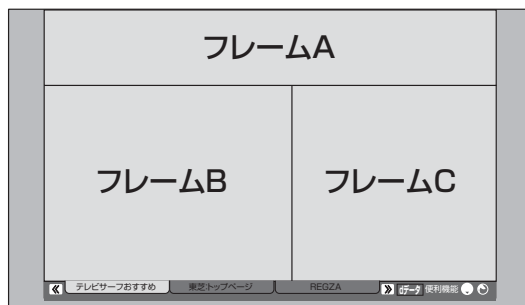
● 接続、設定については、準備編 29 、86 ～ 87 をご覧ください。

ホームページを見る／終了する

1 [ブロードバンド]を押し、▲·▼で「インターネット」を選び、(決定)を押す

● インターネット画面が表示されます。
● ▲·▼·◀·▶を押し続けると、画面に表示しきれない部分を見ることができます。[⌃]·[⌄]·[«]·[»]を押すと、ページが大きく移動します。

● タブごとに画面をもっています。(各画面は[«]·[»]を押して切り換えられます)タブには設定されているホームページ名が表示されています。設定されているホームページは変更できます。

■ Webページがいくつものフレームで作られている場合にフレーム間を移動するとき

● Webページによっては、一つのページが複数のフレーム(それぞれが別々の内容を表示する領域)で構成されていることがあります。その場合は、以下の操作でフレームを選びます。

❶ ▲·▼·◀·▶を押してフレームを移動する
※選んだフレームには青い枠がつきます

■ リンク先を別のタブに開くには

❶ [dデータ]を押し、◀·▶で(ウインドウ)を選び、(決定)を押す。

❷ ▲·▼で「新しいウインドウで開く」を選び、(決定)を押す。
● 新しいリンク先を別のタブで開くことができます。
● タブは最大五つまで開くことができます。

2 見たい項目を▲·▼·◀·▶で選び、(決定)を押す

● 画面右下の▲·▼·◀·▶が明るく表示されている場合は、画面に表示しきれない部分が矢印の方向にあることを表しています。
▲·▼·◀·▶を押し続けると、その方向に進んで表示されます。
[«]·[»]を押すと、ページが大きく移動します。

3 インターネットを終了するには、(終了)を押す

「便利機能」を使う

● 「便利機能」はよく使う機能への入口です。

1 Webページを見ているときに、[dデータ]を押す

● 便利機能リストが表示されます。

2 ◀·▶で機能アイコンを選び、(決定)を押す

ウインドウ　戻る　進む　再読込み　URL入力　ホーム　お気に入り　履歴表示　ポインター　検索　メニュー
http://www.yahoo.co.jp/

アイコン、機能	内容
「ウインドウ」	新しいウインドウを開いたり閉じたりします。
「戻る」	一つ前のページに戻ります。
「進む」	一つ先のページに進みます。
「再読込み」 「中止」	↻：表示しているページを読込みし直します。 ✕：読込み中に読込みを中止します。(読込み中のときは✕が表示され、それ以外のときは↻が表示されます)
「URL入力」	アドレス(URL)を入力してホームページを表示させるときに使います。69
「ホーム」	ホームに登録されているページに戻ります。登録のしかたは 69 をご覧ください。
「お気に入り」	あらかじめ登録したお気に入りのリストから選ぶときに使います。
「履歴表示」	表示したページ履歴から選ぶときに使います。69
「ポインター」	ポインターのオン／オフ、ドラッグを切り換えます。70
「検索」	検索画面を表示します。70
「メニュー」	ページ操作や、いろいろな設定 71 ～ 73 をするときに使います。

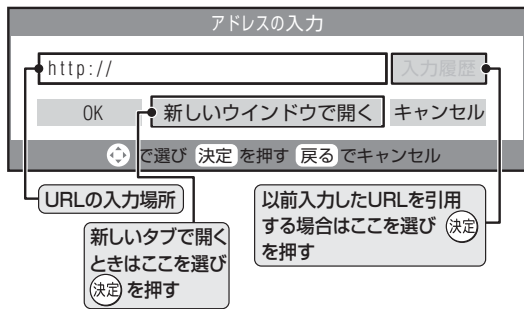
お知らせ

● インターネットを終了するときは、必ず(終了)を押してください。終了前に本体の電源ボタンを押したり、電源プラグを抜いたりすると、お気に入りや履歴、Cookieなどのさまざまな情報が正しく保存されません。
● インターネットの利用中に、LANケーブルを抜いたり、ネットワーク接続環境を変更したりすると、本機の操作ができなくなることがあります。そのような状態になったときは、本体の電源ボタンで電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。
● Webページが表示されるまでの時間は、接続業者との契約の種類や回線の混み具合などによって大きく異なります。

URLを入力してWebページを見る

1 ｄデータ を押し、◀･▶で「URL入力」を選び、決定を押す

2 ▲･▼･◀･▶で「URLの入力場所」を選び、決定を押し、見たいWebページのURLを入力する

- 入力文字は半角英数字と半角記号で254文字までです。文字入力のしかたは26をご覧ください。
- 今までに入力したURLを引用する場合は「入力履歴」から、引用するURLを選んでください。

3 ▲･▼･◀･▶で「OK」を選び、決定を押す

「お気に入り」リストからWebページを見る

1 ｄデータ を押し、◀･▶で「お気に入り」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で「お気に入り一覧」を選び、決定を押す

3 見たいWebページを▲･▼で選び、決定を押す

「お気に入り」一覧での便利機能

❶「お気に入り」を選んだ状態で ｄデータ を押し、▲･▼で項目を選び、決定を押す

※項目の前の数字（❶など）はリモコンの 1 ボタンを押して選ぶこともできます。

❶ 新しいウインドウで開く：選んだお気に入りページを新しいタブで開きます。

❷ 編集：選んだWebサイトの名称やURLを編集します。

① ▲･▼･◀･▶で編集したい項目を選び決定を押す

- 文字入力のしかたは26をご覧ください。
- タイトルの入力文字数は、全角12文字（半角24文字）です。（「お気に入り」を最大登録可能数の50個まで登録した場合の目安です）
- URLの入力文字数は半角英数字/半角記号で254文字までです。

❸ アドレスで表示：「お気に入りリスト」をURLで表示します。（「アドレスで表示」を選ぶと、項目名は「タイトルで表示」に換わります。）

❹ 上へ移動：ひとつ上へ順番を移動します。

❺ 下へ移動：ひとつ下へ順番を移動します。

❻ 削除：選んだ「お気に入り」を削除します。

① ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

❼ すべて削除：登録してある「お気に入り」をすべて削除します。

① ◀･▶で「はい」を選び、決定を押す

Webページを「お気に入り」に登録する

- 最大50個のWebページを「お気に入り」に登録することができます。（お買い上げ時に登録されているものも含みます。）

1 登録したいWebページを開く

2 ｄデータ を押し、◀･▶で「お気に入り」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「お気に入りに登録」を選び、決定を押す

- 「お気に入り」リストの一番下に追加されます。

履歴からWebページを見る

1 ｄデータ を押し、◀･▶で「履歴表示」を選び、決定を押す

2 見たいWebページを▲･▼で選び、決定を押す

「履歴」一覧での便利機能

❶「履歴」を選んだ状態で ｄデータ を押し、▲･▼で項目を選び決定を押す

※項目の前の数字（❶など）はリモコンの 1 ボタンを押して選ぶこともできます。

インターネットなどを楽しむ つづき

インターネットを楽しむ つづき

履歴からWebページを見る つづき

1 新しいウインドウで開く
2 アドレスで表示
3 削除
4 すべて削除

1新しいウインドウで開く：選んだ履歴ページを新しいタブで開きます。

2アドレスで表示：「履歴一覧」をURLで表示します。（「アドレスで表示」を選ぶと、項目名は「タイトルで表示」に換わります。）

3削除：選んだ履歴を削除します。
① ◀・▶で「はい」を選び、(決定)を押す

4すべて削除：履歴一覧をすべて削除します。
① ◀・▶で「はい」を選び、(決定)を押す

画面の操作方法を変更する

● 画面を操作するときのツールを「ポインター」または「ドラッグ」に変更することができます。

1 **dデータを押し、◀・▶で「ポインター」↖を選び、(決定)を押す**

2 **以下の操作で「↖」または「☝」に切り換える**

■「ポインター」を選ぶ場合

❶ ▲・▼で「ポインター：ON」を選び、(決定)を押す

■「ドラッグツール」を選ぶ場合

❶ ▲・▼で「ポインター：ON」を選び、(決定)を押す
❷ 手順1を繰り返し、▲・▼で「ドラッグモード」を選び(決定)を押す

● 画面に（↖）または（☝）が表示されます。
● ポインターやドラッグツールを使わない場合は、「ポインター：OFF」を選びます。

■「↖」の使いかた

❶ ▲・▼・◀・▶で「↖」アイコンが「☝」表示になる場所まで移動し(決定)を押す

■「☝」の使いかた

❶ 画面上で(決定)を押す
❷ アイコンが「✊」に換わっている状態で▲・▼・◀・▶でお好みの位置まで移動する

※「☝」は一部のWebページ（地図ページなど）でしか使用できません。

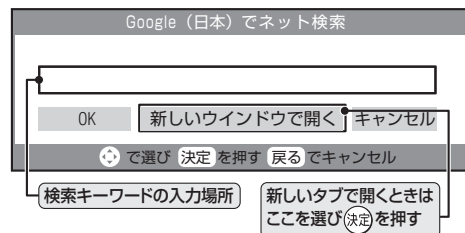
検索機能を使う

● google（グーグル）、Yahoo!（ヤフー）を使っての検索画面が表示されます。

1 **dデータを押し、◀・▶で「検索」🔍を選び、(決定)を押す**

2 **▲・▼で検索方法を選び、(決定)を押す**

• **Googleでネット検索**：Googleを利用してインターネット検索をします。
• **Yahoo!でネット検索**：Yahoo!を利用してインターネット検索をします。
• **ページ内検索**：表示しているWebページ内を検索します。

3 **検索キーワードを入力し、(決定)を押す**

● 入力文字は半角英数字と半角記号で254文字までです。文字入力のしかたは26☞をご覧ください。

■ **ホームページとWeb（ウェブ）ページについて**
● ホームページは階層構造になっています。この取扱説明書では、下の階層を含めた全体をホームページと記載し、個々のページをWebページと記載しています。

■ **インターネット機能使用時の文字入力では、さらに以下の機能を使うことができます。**
● 改行ができるようになります。（記号一覧末尾に改行記号が追加されます）
● URLの入力時にwww.などの定型文を一覧から選んで入力することができます。

■ **定型文の入力方法**
❶ URLの入力時に文字(画面表示)を押す
❷ ▲・▼・◀・▶で定型文一覧から選び、(決定)を押す
［定型文］
www. co.jp/ .ne.jp/ .ac.jp/ .or.jp/ .com/ http:// https://

いろいろな設定　～ページ操作～

1 データを押し、◀･▶で「メニュー」を選び、決定を押す

2 ◀･▶で「ページ操作」を選び、▲･▼で設定項目を選び、決定を押す

- 設定できる項目と内容は下表のとおりです。
- 設定できない項目名は薄く表示されます。
- 「フレームの切り替え」を選んだ場合は、フレームが移動します。

※項目の前の数字(❶など)はリモコンの*1ボタンを押して選ぶこともできます。

3 設定したい項目を▲･▼で選び、決定を押す

4 戻るでWebページに戻る

設定項目	内容
❶ホームページに設定	現在表示されているWebページをホームページとして設定します。
❷フレームの切り替え	「ホームページを見る/終了する」68の「Webページがいくつものフレームで作られている場合にフレーム間を移動するとき」と同じ動作です。

いろいろな設定　～表示～

1 データを押し、◀･▶で「メニュー」を選び、決定を押す

2 ◀･▶で「表示」を選び、▲･▼で設定項目を選び、決定を押す

- 設定できる項目と内容は下表のとおりです。
- 設定できない項目名は薄く表示されます。
- 「詳細設定」の設定項目については次ページの「設定項目を選んだ場合」をご覧ください。

※ 項目の前の数字(❶など)はリモコンの*1ボタンを押して選ぶこともできます。

3 設定したい項目を▲･▼で選び、決定を押す

設定項目	内容
❶表示モード	**「通常」**にするとWebページをそのままのサイズで表示します。 **「Just-Fit Rendering」**にするとWebページの横幅を、本機の表示エリアの幅に合わせて表示します。
❷文字サイズ	画面の文字サイズを変更します。 **「最大」、「大」、「中」、「小」、「最小」**から選びます。 ※この文字サイズはWebページだけの設定です。
❸表示倍率	Webページの表示を拡大・縮小することができます。 **「200%」、「150%」、「125%」、「100%」、「75%」、「50%」**から選びます。 ※Webページによっては拡大・縮小できない場合もあります。
❹エンコード	日本語の文字コードが異なっている場合は、文字コードを変更してください。 ● 一般的に日本語のWbページは**「Shift-JIS」**ですが、**「EUC-JP」**の場合もあります。
❺詳細設定	次ページの説明をご覧ください。
❻ページ情報	現在見ているWebページの情報を表示します。
❼サーバ証明書	「サーバ証明書」を表示します。

4 戻るでWebページに戻る

インターネットなどを楽しむ

お知らせ
- 各項目の用語については、準備編114をご覧ください。

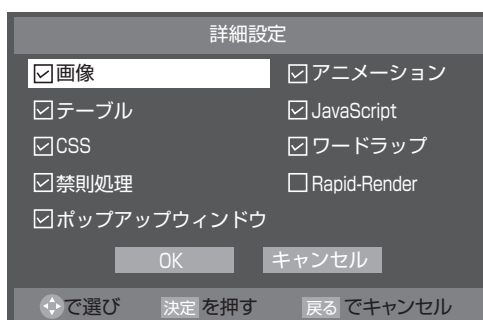
インターネットを楽しむ つづき

いろいろな設定 ～表示～ つづき

■「5詳細設定」を選んだ場合

❶設定したい項目を ▲･▼･◀･▶で選び、決定を押す

※ 選んだ項目のチェックボックスにチェックが付きます。決定を押すたびに、☑と□が交互に切り換わります。

詳細設定
☑画像 ☑アニメーション
☑テーブル ☑JavaScript
☑CSS ☑ワードラップ
☑禁則処理 □Rapid-Render
☑ポップアップウィンドウ
OK キャンセル
で選び 決定を押す 戻るでキャンセル

❷▲･▼･◀･▶で「OK」を選び、決定を押す

設定項目	内容
画像	画像の表示／非表示を設定します。 非表示にすると、画像がある場所に画像アイコンが表示されます。
テーブル	テーブルタグの有効／無効を設定します。
CSS	CSSの有効／無効を設定します。
禁則処理	禁則処理の有効／無効を設定します。 有効にすると、Webページの見栄えを良くするために、句読点などの位置を調整します。
ポップアップウィンドウ	ポップアップウィンドウの表示の有効／無効を設定します。無効にするとWebページを開いたときに出てくるポップアップウィンドウタイプの広告表示が出ません。
アニメーション	アニメーション画像の表示／非表示を設定します。 非表示にすると、静止画像が表示されます。
JavaScript	JavaScriptの有効／無効を設定します。
ワードラップ	ワードラップの有効／無効を設定します。 有効にすると、文章を折り返すときに行末で収まりきらない単語が次の行に配置されます。
Rapid-Render	Rapid-Renderの有効／無効を設定します。 有効にすると、まず文章のみが読み込まれ、その状態で選択部分の移動などの基本操作をすることができます。 最終的にはWebページが通常表示されます。

いろいろな設定 ～設定～

1 dデータを押し、◀･▶で「メニュー」を選び、決定を押す

2 ◀･▶で「設定」を選び、▲･▼で設定項目を選び、決定を押す

● 設定できる項目と内容は下表のとおりです。
● 設定できない項目名は薄く表示されます。
※ 項目の前の数字（1など）はリモコンの1ボタンを押して選ぶこともできます。

3 設定したい項目を▲･▼で選び、決定を押す

設定項目	内容
1スタートアップ設定	**「ホームページを表示」**にするとインターネットを起動した際に、ホームページに設定されているWebページが表示されます。 **「最後に表示したページを表示」**にすると、前回インターネットを見たときに最後に表示していたWebページが表示されます。
2セキュリティ	**「保護あり／なしのページ間の移動時に通知する」**にチェックを付けると保護あり→保護なしのページへの移動時に、その旨のメッセージを表示してお知らせします。 **「使用するSSLバージョン：SSL2.0、SSL3.0、TLS1.0」**ではSSLバージョンを選びます。 **「ルート証明書」**では証明書の内容確認と有効／無効の設定ができます。 **「CA証明書」**では証明書の内容確認と有効／無効の設定ができます。 ※ **「ルート証明書」「CA証明書」**については、右の「「ルート証明書」「CA証明書」を選んだ場合」をご覧ください。
3Cookie	※ **Cookieについては、次ページの「お知らせ」をご覧ください。** **「受信する」**を選ぶとCookieを受信し、本機内に記録します。 **「受信しない」**を選ぶと、Cookieの受信はしません。 **「受信前に通知する」**を選ぶとCookieを受信する際、メッセージを表示してお知らせします。
4Cookieを削除する	本機内に記録されているCookieをすべて削除します。
5キャッシュ	**「キャッシュを使用する」**にチェックを付けるとキャッシュ（以前表示したページを再度見る場合に本機内に保存されている過去のデータを表示して表示時間を短縮すること）を使用します。 **「キャッシュを全て削除」**を選ぶと、本機に保存されているキャッシュをすべて削除します。
6ブラウザ情報	ブラウザの情報が表示されます。

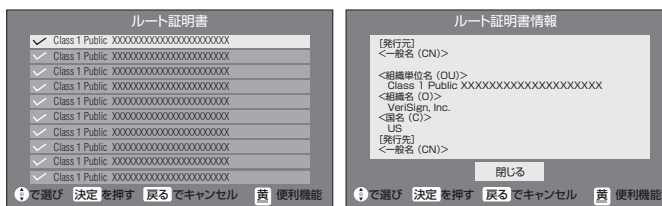
4 戻るでWebページに戻る

■「ルート証明書」または「CA証明書」を選んだ場合

- 証明書のリストが表示されます。
- 証明書を選び 決定 を押すと、詳細画面が表示されます。
- 以下の操作で、証明書の内容確認、証明書の有効／無効の設定ができます。
  ※ この設定はアクトビラでも有効です。

❶ ▲･▼で証明書を選び、dデータ を押す

※ 押すたびに、「✓無効にする」と「✓有効にする」が交互に切り換わります。

❷ 戻る を押す

● Cookie（クッキー）とは

ユーザーの情報やアクセスした履歴などの情報をWebサーバからの指示で本機内に自動的に受信、記録して、インターネットブラウザとWebサーバ間でやりとりをするための仕組み、またはその受信・記録されるファイルのことです。Netscape社によって開発され、本機をはじめ、各種のインターネットブラウザが対応しています。多くの場合、ユーザーがWebサイトをより使いやすくするために使用されますが、個人情報の流出につながるとの指摘もされています。本機では 72 の手順 **3** の操作でWebサイトから送られてくるこのCookieを受信するかしないかの設定をすることができます。

※ Cookieを受信しないように設定すると、Webサイトによってはまったく利用できなくなる場合があります。

お好みや使用状態に合わせて設定する

お好みの映像を選ぶ

1 [クイック]を押す

2 ▲･▼で「映像設定」を選び、(決定)を押す

3 ▲･▼で「映像メニュー」を選び、(決定)を押す

4 ▲･▼でお好みの映像を選び、(決定)を押す

(映像メニューの詳しい内容については、下表をご覧ください)

● 終わったら、(終了)を押します。

映像メニュー
おまかせ
あざやか
標準
映画
テレビプロ
映画プロ
メモリー
ゲーム
PCファイン

映像メニュー	内　容
おまかせ	周囲の明るさと見ている映像に適した画質を表示します。
あざやか	明るく、迫力ある映像で楽しむとき
標準	お部屋で落ち着いた雰囲気で楽しむとき
映画	暗くした部屋で映画館のような雰囲気で楽しむとき(暖かみのある色あいを再現します)
テレビプロ	テレビ番組を見るのに適した設定です(お好みにあわせて、さらに細かな調整を記憶させることができます)
映画プロ1、2	映画を見るのに適した設定です(お好みにあわせて、さらに細かな調整を記憶させることができます)
メモリー	お好みに調整した映像で楽しむとき
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視し、ゲームをするのに適した画質設定です(入力切換を「ビデオ入力1 ～ 4」「HDMI1 ～ 4」のどれかに切り換えているときに選べます)
PCファイン	PCの画面を表示するのに適した設定です。(入力切換を「HDMI1 ～ 4」のどれかに切り換えているときに選べます)

※「おまかせ」、「メモリー」、「テレビプロ」、「映画プロ1、2」、「ゲーム」、「PCファイン」には、それぞれ異なったお好みの調整を記憶させることができます。

※ 映像メニューは、入力端子ごとにそれぞれ記憶させることができます。

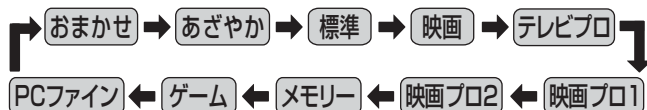
「おまかせ映像」について

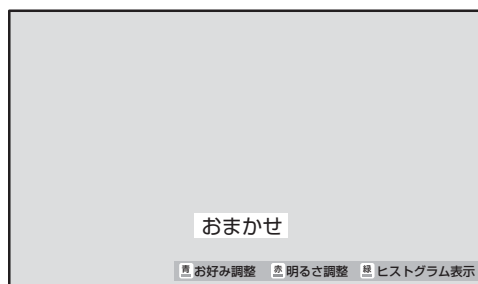
● [おまかせ映像](ふたの中)を押すと、映像メニューを切り換えたり、一部の映像調整項目をカラーボタンで表示したりすることができます。

1 [おまかせ映像](ふたの中)を押す

● 押すたびに「映像メニュー」が以下のように切り換わります。

おまかせ → あざやか → 標準 → 映画 → テレビプロ → 映画プロ1 → 映画プロ2 → メモリー → ゲーム → PCファイン → (おまかせに戻る)

おまかせ
青 お好み調整　赤 明るさ調整　緑 ヒストグラム表示

2 カラーボタンを押す

● 以下の操作ができます。

ボタン操作	表示される内容	説　明	詳しい説明
青	映像調整(お好み調整)	より細かく映像を調整をすることができます。 ※「映像メニュー」を「おまかせ」に設定しているときには「映像調整」は「お好み調整」に換わります。	75
赤	明るさ調整	部屋の明るさに応じた画面の明るさを、お好みで調整できます。 ※「明るさセンサー」を「オフ」に設定している場合は表示されません。(「おまかせ」を除く)	75
緑	ヒストグラム表示	画面に映像のヒストグラムが表示されます。	82

お好みの映像に調整する

● 前ページの「お好みの映像を選ぶ」で「おまかせ」、「テレビプロ」、「映画プロ」、「ゲーム」、「PCファイン」を選んで調整すると、調整した状態をそれぞれに記憶できます。それ以外を選んでいる場合は、調整した状態が映像メニューの「メモリー」に記憶され、映像メニューも「メモリー」に設定されます。また、入力端子ごとに「メモリー」に記憶できます。

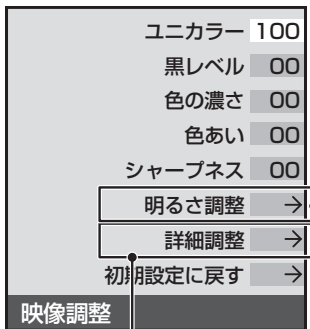
1 クイックを押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「映像調整」を選び、決定を押す
● 「映像メニュー」を「おまかせ」に設定している場合は「お好み調整」と表示されます。

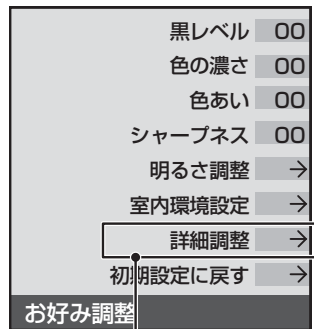
3 ▲·▼で調整項目を選び、決定を押す
● 前ページの「お好みの映像を選ぶ」で「おまかせ」を選んでいる場合、調整できる内容が異なります。

4 ◀·▶でお好みの映像に調整し、決定を押す
● いくつもの項目を設定する場合は、手順 **3**、**4** を繰り返してください。
● 決定を押さずに、▲·▼で調整項目を切り換えることもできます。
● 調整が終わったら、終了を押します。

「映像メニュー」で「おまかせ」以外を選んでいる場合

「詳細設定」をする場合は次ページをご覧ください。

「明るさセンサー」が「オフ」の場合は「バックライト」になります。

「映像メニュー」で「おまかせ」を選んでいる場合

「詳細設定」をする場合は次ページをご覧ください。

※お好み調整で設定した調整値は、入力端子ごとに記憶されます。（室内環境設定を除く）

調整項目	内　容	◀·▶を押したとき
ユニカラー	コントラスト・明るさ・色の濃さが同時に調整できます。	00　～　100 淡くなる⇔濃くなる
黒レベル	黒の階調を調整します。（黒髪などを見やすくします）	−50　～　+50 暗くなる⇔明るくなる
色の濃さ	色の濃さが調整できます。	−50　～　+50 淡くなる⇔濃くなる
色あい	色あいが調整できます。（肌の色に注目して調整します）	−50　～　+50 紫っぽくなる⇔緑っぽくなる
シャープネス	映像の鮮明さが調整できます。	−50　～　+50 やわらかい映像になる⇔くっきりした画像になる
明るさ調整 ※1	部屋の明るさに合わせて画面の明るさを調整できます。	調整方法は以下をご覧ください。
バックライト ※1	お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。	00　～　100 暗くなる⇔明るくなる
室内環境設定	お使いの照明の色や周りの明るさを設定します	準備編 92 をご覧ください。
詳細調整	さらに細かく映像を調整できます。	次ページをご覧ください。
初期設定に戻す	調整した項目をお買い上げ時の状態に戻します。	――――

※１「明るさセンサー」 82 が「オン」のときは「明るさ調整」、「オフ」のときは「バックライト」が表示されます。

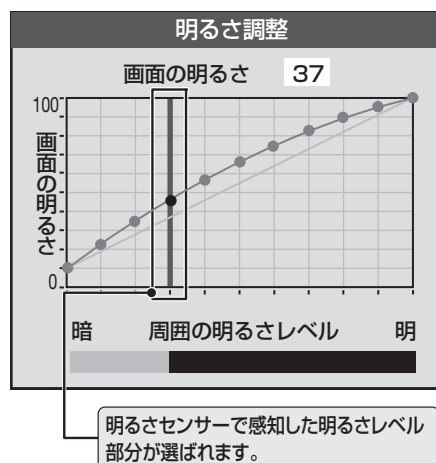
「明るさ調整」をする

● 部屋の明るさに応じた画面の明るさを調整することができます。

1 上記の手順 **1** ～ **2** の操作をする

2 ▲·▼で「明るさ調整」を選び、決定を押す

3 ◀·▶で明るさを変えたいレベルを選び、▲·▼で画面の明るさを調整し、決定を押す
● 青を押すと、調整前のレベルに戻ります。
● 赤を押すと、お買い上げ時の状態に戻ります。

明るさセンサーで感知した明るさレベル部分が選ばれます。

■「明るさ調整」について
● 調整中に照明を付けるなど周囲の明るさを変えたときには、調整後に画面の明るさが変わらないことがあります。

お好みや使用状態に合わせて設定する つづき

お好みの映像に調整する つづき

映像をより細かく調整する

● 74の「お好みの映像を選ぶ」で「おまかせ」を選んでいる場合は、一部選べないメニューがあります。

1 クイック を押す

2 ▲・▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 ▲・▼で「映像調整」を選び、決定 を押す

4 ▲・▼で「詳細調整」を選び、決定 を押す

5 ▲・▼で調整項目を選び、決定 を押す
● 調整項目の詳しい内容については、下表をご覧ください。

詳細調整	
カラーイメージコントロールプロ	→
超解像処理設定	→
ノイズリダクション設定	→
ヒストグラムバックライト制御	オン
モーションクリア	オン
オートファインシネマ	オフ
色温度	10
ダイナミックガンマ	10
ガンマ調整	00
Vエンハンサー	強

6 ◀・▶または▲・▼でお好みの映像に調整し、決定 を押す
● 数字の調整項目は、◀・▶で調整します。それ以外は▲・▼でレベルを選び 決定 を押してください。
● いくつもの項目を設定する場合は、手順 **4**、**5** を繰り返してください。
● 調整が終わったら、終了 を押します。
● 「カラーイメージコントロールプロ」は次ページ、「ノイズリダクション設定」、「ヒストグラムバックライト制御」は 79、「超解像処理設定」、「モーションクリア」、「オートファインシネマ」は 80 をご覧ください。

映像の何を調整するか？	詳細調整項目		調整レベル	映像状態
色あいの調整 映像のホワイトバランスや肌色などを好みに合わせて生彩にします。	色温度 ※1	通常時	0～10	色調を調整します。 数字が小さくなるほど暖色系、数字が大きくなるほど寒色系になります。
	色温度 ※1	おまかせ時	－5～00～＋5	
	色温度	Gドライブ	－15～00～+15	明るい部分の色温度を微調整します。「＋」方向で緑(G)または青(B)が強くなります。
	色温度	Bドライブ	－15～00～+15	
階調の調整 映像の明部と暗部のコントラストのバランスを細かく調整します。	ダイナミックガンマ	通常時	0～10	それぞれのシーンに最適な階調を調整し、調整を強くするにつれて、メリハリ感が強調されます。
	ダイナミックガンマ	おまかせ時	－5～00～＋5	
	ガンマ調整	通常時	－5～00～+5	映像の明部と暗部のコントラストのバランスを補正します。 「＋」方向で画面全体が明るくなります。
	ガンマ調整	おまかせ時	－5～00～＋5	
輪郭の調整 映像の輪郭などを強調したり弱めたりすることができます。	Vエンハンサー ※2 （垂直輪郭補正）	通常時	「強」「中」「弱」「オフ」	横線の輪郭を補正します。調整を強くするにつれて、輪郭が強調されます。
	Vエンハンサー ※2 （垂直輪郭補正）	おまかせ時	－5～00～＋5	

※1 色温度調整は、◀・▶で「0～10」の数値を選び、決定 を押します。そのあと、GドライブとBドライブをそれぞれ調整してください。
（GドライブとBドライブの設定ができるのは、「映像メニュー」が「おまかせ」以外に設定されている場合です。）
※2 Vエンハンサーは、「映像メニュー」で「PCファイン」を選択している場合は調整できません。

映像調整をお買い上げ時の状態に戻すとき

❶ 上記の手順 **3** で▲・▼で「初期設定に戻す」を選び、決定 を押す
❷ ◀・▶で「はい」を選び、決定 を押す

お知らせ
● 設定メニュー（ふたの中）を押して「映像設定」を選ぶこともできます。

色を細かく調整する（カラーイメージコントロールプロ）

カラーイメージコントロールプロのオン／オフを設定する

● 下の「カラーパレットプロ調整」をする場合は、「オン」に設定します。（お買い上げ時は「オン」に設定されています）

1 クイック を押す

2 ▲·▼ で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼ で「映像調整」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼ で「詳細調整」を選び、決定 を押す

5 ▲·▼ で「カラーイメージコントロールプロ」を選び、決定 を押す

6 ▲·▼ で「カラーイメージプロ設定」を選び、決定 を押す

7 ▲·▼ で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す
● 設定が終わったら、終了 を押します。

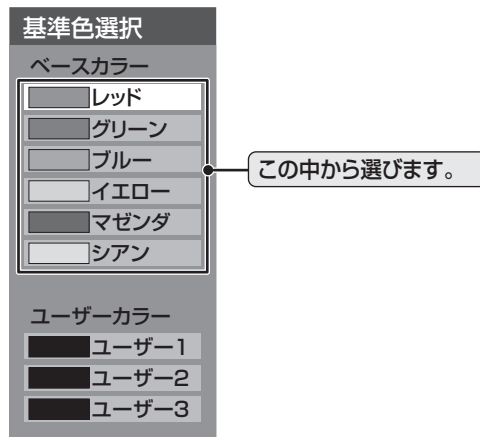
カラーパレットプロ調整

● カラーパレットプロ調整には、「ベースカラー調整」と「ユーザーカラー調整」があります。
● 調整した内容は、「映像メニュー」74の「メモリー」に記憶されます。

ベースカラー調整

● レッド、グリーン、ブルーなどの色ごとに、色あいや色の濃さ、明るさを調整できます。

❶ 以下の操作で、「カラーパレットプロ調整」の画面にする
① クイック を押す
② ▲·▼ で「映像設定」を選び、決定 を押す
③ ▲·▼ で「映像調整」を選び、決定 を押す
④ ▲·▼ で「詳細調整」を選び、決定 を押す
⑤ ▲·▼ で「カラーイメージコントロールプロ」を選び、決定 を押す
⑥ ▲·▼ で「カラーパレットプロ調整」を選び、決定 を押す

❷ ▲·▼ で調整したい色を選び、決定 を押す

❸ 以下の操作でお好みの色に調整する
① 青 を押して静止画にする
（もう一度押すと静止画が解除されます）
● 動画のままでも調整できますが、静止画のほうが調整しやすくなります。
② ▲·▼ で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選んだあと、◀·▶ で調整する
※ 元の色（初期状態）に戻すには、赤 を押します。

③ 手順②で他の項目を選び、同様に調整する
④ 選んだ色の調整が終わったら、戻る を押す
※ いくつもの色を調整する場合は、手順❷、❸を繰り返します。

❹ 調整が終わったら、終了 を押す

● 設定メニュー（ふたの中）を押してメニューから「映像設定」を選ぶこともできます。
● ベースカラーの調整範囲は−30 ～＋30です。
● テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、「カラーパレットプロ調整」を利用して、オリジナルの映像と異なる色の画面を表示すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

お好みや使用状態に合わせて設定する つづき

カラーパレットプロ調整 つづき

ユーザーカラー調整

● 実際にテレビ画面に表示されている色を指定して、その色の色あいや色の濃さ、明るさを調整できます。調整した結果は、指定した色と同じ色すべてに、同じように反映されます。肌色をお好みの色に調整する場合などに便利な機能です。

❶ 以下の操作で、「カラーパレットプロ調整」の画面にする

① クイック を押す

② ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

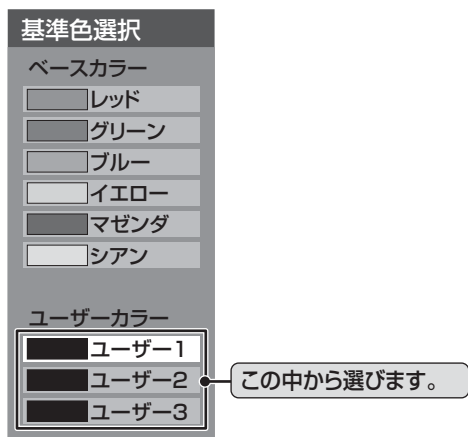
③ ▲·▼で「映像調整」を選び、決定を押す

④ ▲·▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

⑤ ▲·▼で「カラーイメージコントロールプロ」を選び、決定を押す

⑥ ▲·▼で「カラーパレットプロ調整」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼で「ユーザー 1」「ユーザー 2」「ユーザー 3」のどれかを選び、決定を押す

● 選んだパレットに記憶されます。

❸ 調整したい色を以下の操作で登録する

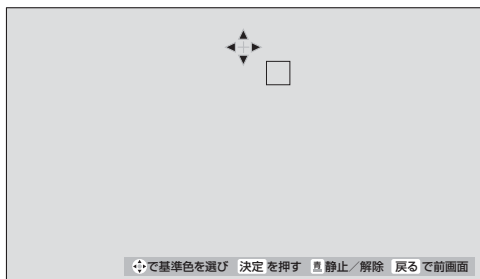
① 青 を押して静止画にする
（もう一度押すと静止画が解除されます）

● 動画のままでも調整できますが、静止画のほうが調整しやすくなります。

② ▲·▼で「基準色変更」を選び、決定を押す

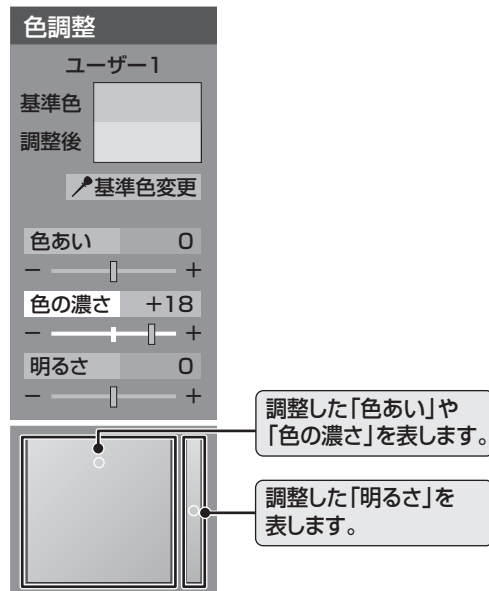
● カーソルが表示されます。

③ 調整したい色の上までカーソルを▲·▼·◀·▶で移動し、決定を押す

● 「基準色」に色が登録されます。

❹ 新しく登録したい色に以下の操作で調整する

① 青 を押して静止画にする

② ▲·▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、◀·▶で色を調整する

※ 元の色（初期状態）に戻すには、赤 を押します。

③ 手順②で他の項目を選び、同様に調整する

④ 色の調整が終わったら、戻る を押す

❺ 終了 を押して、メニューを消す

カラーイメージコントロールプロをお買い上げ時の状態に戻すとき

● すべての色がお買い上げ時の状態に戻ります。

❶ 以下の操作で、「カラーイメージコントロールプロ」の画面にする

① クイック を押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

② ▲·▼で「映像調整」を選び、決定を押す

③ ▲·▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

④ ▲·▼で「カラーイメージコントロールプロ」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼で「初期設定に戻す」を選び、決定を押す

❸ ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

❹ 終了 を押して、メニューを消す

お知らせ

● ユーザーカラーの調整範囲は－30 ～＋30です。

ノイズリダクション(NR)設定

● 映像のノイズやざらつきを減らします。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。
● 設定レベルを変更すると、「映像メニュー」74は「メモリー」になります。

1 クイックを押し、▲･▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で「映像調整」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

MPEG NR 弱
ダイナミックNR オート
ノイズリダクション設定

4 ▲･▼で「ノイズリダクション設定」を選び、決定を押す

5 設定したい項目を▲･▼で選び、決定を押す
● 設定項目については、下表をご覧ください。

6 ▲･▼でお好みの映像に調整し、決定を押す
● 別の項目を設定する場合は、手順 **4**、**5** を繰り返してください。
● 調整が終わったら、終了を押します。

映像の何を調整するか?	設定項目	設定レベル	映像状態
ノイズ量の調整 映像のノイズ量を調整します。	MPEG NR(エムペグ)	「強」「中」「弱」「オフ」	デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像の、ブロックノイズ(モザイク状のノイズ)を減らす機能と、モスキートノイズ(輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ)を減らす機能です。 ※ 強くかけると精細感をそこなう場合があります。
	ダイナミック NR	「オート」「強」「中」「弱」	画像のざらつきノイズやちらつきを減らす機能です。 ※ 強くかけると残像が気になる場合があります。通常は「オート」に設定してください。

※ 入力切換が「HDMI1 ～ 4」に切り換わっていてPC信号フォーマットを表示しているときには調整できません。
※「ゲームモード」に切り換わっているときは調整できません。

ヒストグラムバックライト制御

● 「オン」にすると映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。
● 設定を変更するたびに、「映像メニュー」74は「メモリー」になります。

1 クイックを押し、▲･▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で「映像調整」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「ヒストグラムバックライト制御」を選び、決定を押す

5 ▲･▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す
● 設定が終わったら、終了を押します。

● 設定メニュー(ふたの中)を押して「映像設定」を選ぶこともできます。

お好みや使用状態に合わせて設定する つづき

超解像処理設定

● 「オン」に設定すると、映像に処理をして、緻密で精細感のある映像で表示します。

1 クイックを押し、▲･▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で「映像調整」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「超解像処理設定」を選び、決定を押す

5 ▲･▼で「超解像処理」を選び、決定を押す

6 ▲･▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す
● 設定が終わったら、終了を押します。

■ 超解像処理のレベルを変更するとき

❶ 以下の操作で「レベル調整」の画面にする
①上記の手順 **1** ～ **4** の操作をする
② ▲･▼で「レベル調整」を選び、決定を押す

❷ ◀･▶でレベルを調整する

	映像メニュー	調整レベル	
レベル調整	おまかせ以外	01 ～ 05	プラス方向で、映像の精細感が強調されます。
	おまかせ時	－02 ～ +02	

❸ 終了を押して、メニューを消す

モーションクリア

● 「オン」に設定すると、動きの速い映像で生じるブレや、ぼやけを減らすことができます。
※ 「映像メニュー」 74 で「ゲーム」を選んでいるときには、設定できません。

1 クイックを押し、▲･▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で「映像調整」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「モーションクリア」を選び、決定を押す

5 ▲･▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す
● 設定が終わったら、終了を押します。

オートファインシネマ設定

● 映画ソフトのもつ映像の動きと画質を再現します。

1 クイックを押し、▲･▼で「映像設定」を選び、決定を押す

2 ▲･▼で「映像調整」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「オートファインシネマ」を選び、決定を押す

5 ▲･▼で以下の項目から選び、決定を押す
● 以下は、「映像メニュー」で「おまかせ」以外を選んでいるときの表示です。
※ 「映像メニュー」で「おまかせ」を選んでいるときには、「5－5フィルムモード」のかわりに「おまかせ」が表示されます。
• 5-5フィルムモード‥ 映画などの映像フィルムを原画に忠実な映像に再現します。
• スムーズモード‥ 映画などのフィルム映像を原画よりもなめらかな映像に再現します。
• オフ ‥‥‥‥‥ 特別な処理をせずにそのまま映します。
※ 「5－5フィルムモード」、「スムーズモード」を選んだときに映像に違和感がある場合は、「オフ」に設定してください。
● 設定が終わったら、終了を押します。

● 設定メニュー(ふたの中)を押してメニューから「映像設定」を選ぶこともできます。

■ 超解像処理設定について
● 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。
● 見ている放送によっては調整できない場合があります。
● 本機の超解像処理と同様の高画質機能を備えた機器をつないだ場合、本機の機能との相乗効果で画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、接続機器の高画質機能または本機の超解像処理をオフにしてください。

■ モーションクリア、オートファインシネマ設定について
● 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。
● モーションクリアを「オン」、またはオートファインシネマを 「5－5フィルムモード」や「スムーズモード」にしている場合、映像が乱れることがあります。

画面のスキャンモードを設定する

- 「画面サイズ切換」で「フル」「ゲームフル」または「ノーマル」「ゲームノーマル」、「標準」「大」「小」を選んだときの画面サイズを、常に「オーバースキャン」または、「ジャストスキャン」に設定することができます。

1 クイック を押し、▲·▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で「画面調整」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「スキャン切換」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼で「オーバースキャン」または「ジャストスキャン」を選び、決定 を押す

- **オーバースキャン**・・・・・・・ 16：9の映像を少し大きめに表示します。
- **ジャストスキャン** ・・・・・・・ 16：9の映像を画面内にすべて表示します。
- 設定が終わったら、終了 を押します。

画面の表示領域を調整する

- 「画面サイズ切換」で「フル」または「ノーマル」を選んだときに、画面に表示する映像の範囲を設定します。
- 「スキャン切換」で「オーバースキャン」を選んでいるときにだけ設定できます。

※ 映像の周りの黒いフチやチラツキが気になる場合に、調整してください。

1 クイック を押し、▲·▼ で「映像設定」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で「画面調整」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼ で「オーバーサイズ調整」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼で希望の設定を選び、決定 を押す

- ー１・・・・ 映像を通常よりも少し大きめに表示するため、周囲の映像が画面の外に隠れることがあります。
- ー２・・・・ 「ー 1」よりも、さらに大きめに表示するモードです。
- 設定が終わったら、終了 を押します。

画面の位置や幅を調整する

- 「画面調整」は、画面右下に表示されている「放送／端子、信号、画面サイズ」の組合せごとに設定内容を記憶します。

1 クイック を押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「画面調整」を選び 決定 を押す

4 ▲·▼で調整したい項目を選び、決定 を押す

- **上下振幅調整** ・・・・映像の縦のサイズを調整します。
- **上下画面位置** ・・・・映像の表示位置を上下に調整します。
- **左右振幅調整** ・・・・映像の横のサイズを調整します。

5 ◀·▶でお好みの状態に調整し、決定 を押す

- 上下振幅調整と左右振幅調整は－03 ～＋03、上下の表示位置は－10 ～＋10の範囲で調整できます。
- 調整画面では◀·▶を押さないと数秒でメニュー画面に戻ります。
- 調整が終わったら、終了 を押します。

■ 画面調整をお買い上げ時の状態に戻すとき

❶ 上記の手順 **2** で、「初期設定に戻す」を選び、決定 を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

■「スキャン切換」について
- 見ている映像によっては、調整できない場合があります。

■「オーバーサイズ調整」について
- 見ている映像によっては、調整できない場合があります。

■ 画面調整について
- 見ている映像と画面サイズによっては、調整できない場合があります。

お好みや使用状態に合わせて設定する つづき

明るさセンサー

● 「オン」に設定すると、周囲の明るさにあわせて、画面の明るさを自動で調整します。
※「映像メニュー」で「おまかせ」を選んでいる場合には、「オフ」に設定することはできません。

1 クイック を押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「明るさセンサー」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す
● 設定が終わったら、終了 を押します。

色空間

● 色を表現する範囲を広げ、より色を鮮やかに再現することができます。
● 外部入力が「HDMI1 ～ 4」に切り換わっているときに選ぶことができます。
● お買い上げ時は「オート」に設定されています。

1 クイック を押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「色空間」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼で「オート」、「ワイド」、「スタンダード」のいずれかを選び、決定 を押す
- **オート**··········見ている信号によって自動的に「ワイド」「スタンダード」を切り換えます。
- **ワイド**··········色の再現域を広げ、鮮やかな色彩を表現します。
- **スタンダード**····特別な処理をせずにそのまま映します。

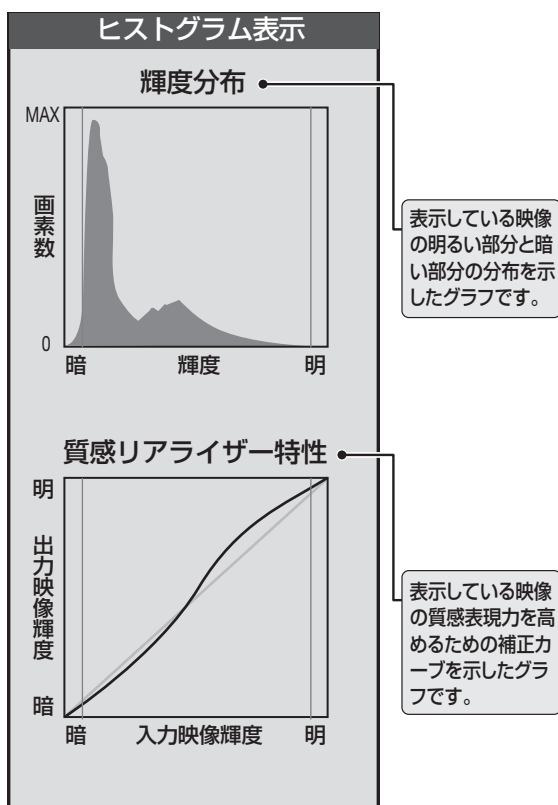
● 設定が終わったら、終了 を押します。

ヒストグラム表示

● 映像のヒストグラムを表示します。

1 クイック を押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「ヒストグラム表示」を選び、決定 を押す
● 見終わったら、終了 を押します。

● 設定メニュー（ふたの中）を押して「映像設定」を選ぶこともできます。

■ **明るさセンサーについて**
● 明るさセンサーの近くに物を置いたり、ふさいだりしないでください。明るさセンサーが正しく動作しなくなることがあります。
明るさセンサーの位置は 4 をご覧ください。

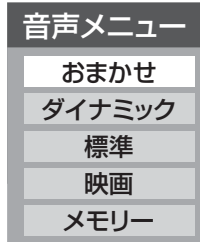
お好みの音声を選ぶ

● 「音声メニュー」は、入力端子ごとにそれぞれ記憶させることができます。

1 クイックを押し、▲·▼で「音声設定」を選び、決定を押す

音声メニュー
おまかせ
ダイナミック
標準
映画
メモリー

2 ▲·▼で「音声メニュー」を選び、決定を押す

3 ▲·▼でお好みの音声を選び、決定を押す
(音声メニューの詳しい内容については、下表をご覧ください)
● 終わったら、終了を押します。

音声メニュー	内　容
おまかせ	見ている番組に応じて、最適な音質を自動で設定します。
ダイナミック	音楽やドラマなどを楽しむとき(イコライザー、サラウンド、低音強調が調整されます)
標準	ニュースや情報番組などを楽しむとき(イコライザー、サラウンド、低音強調が調整されます)
映画	映画を楽しむとき(イコライザー、サラウンド、低音強調が調整されます)
メモリー	お好みに調整した音声で楽しむとき

※ 「おまかせ」、「メモリー」には、それぞれ異なったお好みの調整を記憶させることができます。
※ 「おまかせ」は、地上デジタル放送、BS/CS110度デジタル放送、インターネット経由での地上アナログ放送の番組表を使用している場合に選ぶことができます。(地上アナログ放送の番組表を使用していない場合は、「おまかせ」を選んでも効果は得られません。)ビデオ入力端子やHDMI入力端子に接続した機器の映像を見ている場合には、表示されません。
※ 「おまかせ」は、内蔵ハードディスクに録画した番組の視聴中にも選ぶことができます。

音声をより細かく調整する

イコライザー

● イコライザーで設定をすると、より詳細に音質の調整をすることができます。

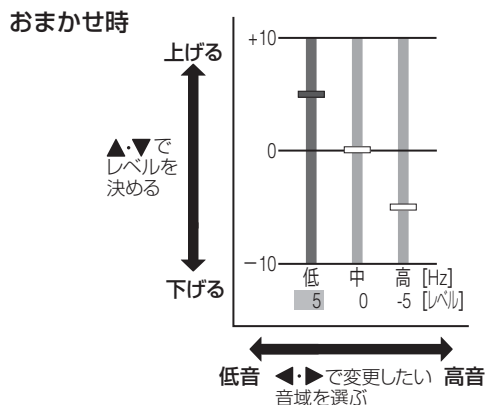
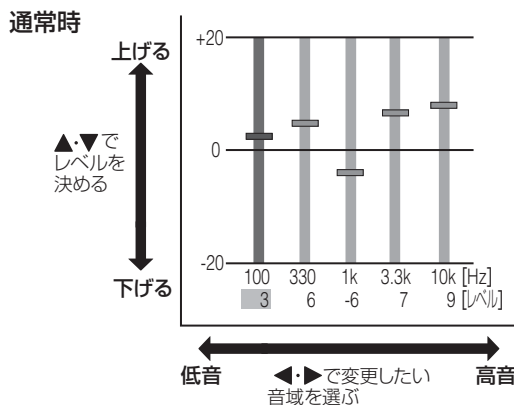
1 クイックを押し、▲·▼で「音声設定」を選び、決定を押す

2 ▲·▼で「音声調整」を選び、決定を押す
● 「音声メニュー」を「おまかせ」に設定している場合は、「お好み調整」と表示されます。

3 ▲·▼で「イコライザー」を選び、決定を押す

4 ◀·▶で調整したい音域を選び、▲·▼でレベルを変更する
● いくつもの音域を設定する場合は、この操作を繰り返してください。
● 変更前の音に戻すには、赤を押します。
● 調整が終わったら、終了を押します。

使用例①：・セリフなどがこもった感じで聞き取りにくい場合は、330Hzのレベルを上げる。

使用例②：・バラエティ番組などのにぎやかな感じを抑えたい場合は、3.3kHzと1kHzのレベルを少し下げる。

● 設定メニュー(ふたの中)を押してメニューから「音声設定」を選ぶこともできます。
● 電波の弱いステレオ放送のときに雑音が気になる場合は、「モノラル音声」に切り換えれば、改善されることがあります。(準備編 80)

お好みや使用状態に合わせて設定する つづき

音声をより細かく調整する つづき

サラウンド

● サラウンドは本機のスピーカーだけで、ステレオ音声の音に広がりを持たせる機能です。

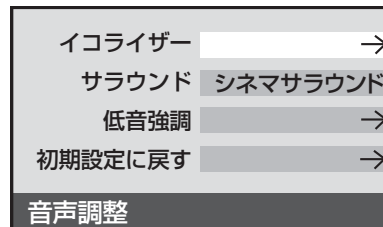
1 クイック を押し、▲·▼で「音声設定」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で「音声調整」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「サラウンド」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼でお好みの調整項目を選び、決定 を押す

- ライブサラウンド‥‥ 音楽番組等のステレオ放送を視聴するのに適したモードです。音の左右に広がり感を出します。
- シネマサラウンド‥‥ ステレオ放送や外部機器からのドルビーサラウンド(Lt/Rt)信号に適したモードです。左右の広がり感にあわせて、奥行き感も加わります。
- オフ‥‥‥‥‥‥‥‥ サラウンド機能をオフにします。

● 調整が終わったら、終了 を押します。

低音強調

● 低音強調は低音域をより細かく調整する機能です。

1 クイック を押し、▲·▼で「音声設定」を選び、決定 を押す

2 ▲·▼で「音声調整」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「低音強調」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼でお好みの調整項目を選び、決定 を押す

詳細調整項目		調整レベル	説明
通常時	低音強調周波数	「200Hz」「150Hz」「100Hz」	低音補正をしたい周波数を選びます。「100Hz」が一番低い低音になります。
	低音強調レベル	「強」「中」「弱」「オフ」	周波数のレベルをそれぞれ調整することができます。
おまかせ時	―	「おまかせ」「オフ」	見ている番組に応じて、低音強調が自動的に調整されます。

■ 音声調整をお買い上げ時の状態に戻すとき

❶ 上記の手順 **3** で▲·▼で「初期設定に戻す」を選び、決定 を押す

❷ ◀·▶で「はい」を選び、決定 を押す

■ サラウンドについて

● 音声多重放送を視聴しているときに、「音多切換」で「主+副」を選んでいる場合は働きません。

左右のスピーカーバランスを調整する

1 クイック を押す

2 ▲・▼で「音声設定」を選び、決定 を押す

3 ▲・▼で「バランス」を選び、決定 を押す

4 ◀・▶でお好みのバランスに調整し、決定 を押す

- 調整が終わったら、終了 を押します。

ドルビーボリューム

- 音の強弱を調整し、音量差を減らして聞きやすくします。また音の大きさにあわせた自動的に調整されるので、夜間に小さな音量でも効果的に楽しむことができます。

※「ドルビー DRC」を「オン」にすると、「ドルビーボリューム」は、自動的に「オフ」に切り換わります。

1 クイック を押す

2 ▲・▼で「音声設定」を選び、決定 を押す

3 ▲・▼で「ドルビーボリューム」を選び、決定 を押す

4 ▲・▼で「強」、「弱」、「オフ」のいずれかを選び、決定 を押す

ドルビーボリュームとは

- ドルビーラボラトリーズが開発した聴覚心理学モデルに基づくラウドネス処理技術です。聴感上の音の大きさを一定に保つ音量調整機能と、信号本来のバランスを音のレベルに影響されることなく再現する周波数帯域処理機能を備えています。

ドルビー DRC

- USBハードディスク、HDMI端子やLAN端子に接続した機器から、ドルビーデジタルで記録された番組などを見る場合に使用できます。

  ※ デジタル放送を視聴する場合には働きません。

  ※「ドルビーボリューム」を「強」または「弱」にすると、「ドルビー DRC」は、自動的に「オフ」に切り換わります。

1 クイック を押す

2 ▲・▼で「音声設定」を選び、決定 を押す

3 ▲・▼で「ドルビー DRC」を選び、決定 を押す

4 ▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す

- 設定メニュー (ふたの中)を押してメニューから「音声設定」を選ぶこともできます。

■ ドルビー DRCについて

- HDMI端子に接続した機器からの番組を視聴しているときには、ドルビーデジタルの音声信号が出力されるよう接続機器側を設定してください。

お好みや使用状態に合わせて設定する つづき

省エネ設定

1 設定メニュー(ふたの中)を押す

2 ▲・▼で「機能設定」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「省エネ設定」を選び、決定を押す

4 設定する項目を▲・▼で選び、決定を押す
- 各設定項目の内容は下表のとおりです。

消費電力	標準
番組情報取得設定	取得する
無操作自動電源オフ	動作しない
オンエアー無信号オフ	待機にする
外部入力無信号オフ	待機にする

省エネ設定

5 希望の設定を▲・▼で選び、決定を押す
- いくつもの項目を設定する場合は、手順 **3**、**4** を繰り返してください。
- 設定が終わったら、終了を押します。

設定項目	設定と内容
消費電力	・標準 ………… 標準の明るさです。 ・減1………… 画面の明るさをおさえて、消費電力を低減させます。 ・減2………… 明るさと消費電力を「減1」よりさらにおさえたモードです。
番組情報取得設定	・取得する …… 電源が「切」(本体の電源ボタンで電源を切った状態)または「待機」状態(リモコンの電源ボタンで電源を切った状態)のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。 ・取得しない …. 番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されない場合があります。
無操作自動電源オフ	・待機にする …. テレビの無操作状態が約3時間続くと電源が切れ、待機状態になります。 ・動作しない …. テレビの無操作状態が続いても電源が切れません。
オンエアー無信号オフ	・待機にする …. 放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと電源が切れ、待機状態になります。 ・動作しない …. 無信号状態が続いても電源が切れません。 ※ ビデオ入力(外部入力)を選んでいるときは機能しません。
外部入力無信号オフ	・待機にする …. 外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと電源が切れ、待機状態になります。 ・動作しない …. 無信号状態が続いても電源が切れません。

その他

B-CASカード番号表示

- B-CASカードに登録されている番号をテレビ画面で確認することができます。

1 設定メニュー(ふたの中)を押す

2 ▲・▼で「初期設定」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「B-CASカード番号表示」を選び、決定を押す
- テレビ画面にB-CASカードの情報が表示されます。
- 内容を確認したら、終了を押します。

ダウンロードについて

ダウンロード機能とは

● 本機のソフトウェアを書き換える機能です。機能の追加や改善をします。
● ダウンロードには、下表の三つの種類があります。

BSや地上デジタルの放送波で送られる自動ダウンロード用ソフトウェアをダウンロードする	あらかじめ設定しておくことによって、自動ダウンロード用のソフトウェアが送られてきたときに、本機が自動的にダウンロードします。
BSや地上デジタルの放送波で送られる任意ダウンロード用ソフトウェアをダウンロードする	ダウンロードをする場合は、下の操作でダウンロード予約をしてください。
東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードする（次ページ）	イーサネット通信（「LAN端子の接続」）によって、東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードします。

ダウンロード中は、電源プラグを抜かないでください。
ソフトウェアの書込みが中断され、本機が正常に動作しなくなる場合があります。

放送波で送信されるソフトウェアをダウンロードする

● ダウンロードをするには、あらかじめ電源を入れた状態で、BSまたは地上デジタル放送を数分間受信する必要があります。（本機がダウンロード情報を取得するためです）

自動ダウンロードの設定をする

● お買い上げ時は自動ダウンロードするように設定されています。「ダウンロードする」のまま、お使いいただくことをおすすめします。

1 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「放送からのダウンロード」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で「自動ダウンロード」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で「ダウンロードする」または「ダウンロードしない」を選び、決定を押す

● 青を押して、自動ダウンロードの日時一覧を確認することができます。
● 設定が終わったら、終了を押します。

任意ダウンロードをするには

● 任意ダウンロードの情報があるときには「本機に関するお知らせ」25でお知らせします。
ダウンロードする場合は、以下の操作でダウンロードの予約をしてください。

1 左の手順 **1**～**4** をする

2 ▲·▼で「ダウンロードの予約」を選び、決定を押す

3 画面の説明を読み、ダウンロード予約する場合は、◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で予約日時を選び、決定を押す

5 画面のメッセージを読み、決定を押す

● 予約できるダウンロードは一つです。
● 終わったら、終了を押します。
● **予約の開始時刻の前までにリモコンの電源を押し、電源を「待機」にしておいてください。**

● 任意ダウンロード用のソフトウェアは、お客様が任意で採用するものであり、自動ダウンロード用のソフトウェアとは異なります。
● ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
● 任意ダウンロードの開始時刻に本機からの録画をしていると、ダウンロード予約は取り消されます。
● 悪天候の場合や録画予約との重複などによってダウンロードが取り消された場合、「本機に関するお知らせ」25でお知らせします。

ダウンロードについて つづき

任意ダウンロードをするには つづき

任意ダウンロード予約の日時を変更するには

❶ 前ページの「任意ダウンロードをするには」の手順 **1** ～ **3** の操作で、予約日時一覧の画面にする
❷ 変更後の日時を▲・▼で選び、決定を押す
❸ ◀・▶で「はい」を選び、決定を押す
❹ 画面のメッセージを読み、決定を押す
- 終わったら、終了を押します。
- ダウンロードは、電源が「切」または「待機」のときに行われますので、予約開始時刻の前までに、電源を「切」または「待機」にしておいてください。

任意ダウンロード予約を取り消すには

❶ 前ページの「任意ダウンロードをするには」の手順 **1** ～ **3** の操作で、予約日時一覧の画面にする
❷ 予約済みのダウンロード日時を▲・▼で選び、決定を押す
❸ 画面のメッセージを読み、◀・▶で「はい」を選び、決定を押す
- 終わったら、終了を押します。

東芝サーバーからダウンロードする

- イーサネット通信を利用して東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードして、本機内部のソフトウェアを更新します。
- あらかじめ、LAN端子の接続と設定が必要です。（準備編 29、86 ～ 87）

1 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲・▼で「機能設定」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定を押す

4 ▲・▼で「サーバーからのダウンロード開始」を選び、決定を押す

5 ◀・▶で「はい」を選び、決定を押す
- ソフトウェアのダウンロードが始まります。

6 画面の説明文を読み、◀・▶で「はい」を選び、決定を押す
- ソフトウェアの更新をしない場合は「いいえ」を選びます。

7 画面の指示に従って操作する
- ソフトウェアの更新にはしばらく時間がかかる場合があります。
- ソフトウェアの更新が終了したあとで決定を押すと、電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

ソフトウェアのバージョンを確認する

1 設定メニュー（ふたの中）を押す

2 ▲・▼で「機能設定」を選び決定を押す

3 ▲・▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定を押す

4 ▲・▼で「ソフトウェアバージョン」を選び、決定を押す

5 ソフトウェアのバージョンを確認して、決定を押す
- 確認したら、終了を押します。

- 回線の速度が遅い場合には、正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、LAN端子の接続や設定（準備編 29、86 ～ 87）を確認し、数時間後にもう一度ダウンロードしてみてください。

困ったときには...

以下をご確認ください

自然現象や本機の特性に関すること

BS・110度CSデジタル放送での一時的な映像障害

- アンテナへの積雪や豪雨などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
- 春分、秋分、日食など、太陽と衛星の方向が一致する食のときには、放送が休止になります。

キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

本機内部からの「カチッ」という音

- 本機は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、本機内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

本機内部からの「ジー」という音

- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

蛍光管について

- お買い上げ時、蛍光管の特性上、画面にちらつきが出ることがあります。この場合、本体の電源をいったん「切」にして、もう一度電源を入れ直して確認してください。

■修理・改造・分解はしない
内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

- 電源プラグがはずれたり、アンテナなどに異常があると本機の故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に以下のことをお調べください。

基本操作

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
電源がはいらない	• 待機表示ランプ（赤）は点灯していますか。	• 待機表示ランプ（赤）が点灯していない場合は、電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているかご確認ください。本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。4
	• 待機表示ランプ（赤）が点滅していますか。	• 電源プラグをコンセントから抜き、1分以上たってからもう一度コンセントに差し込んでも待機表示ランプ（赤）が点滅しているときは故障です。本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
リモコンが動作しない	• 待機表示ランプ（赤）は点灯していますか。	• 待機表示ランプ（赤）が点灯していないときは、本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。4
	• リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作していますか。	• リモコンをリモコン受光部に向けてください。（準備編 21）
	• リモコンの乾電池が消耗していませんか。	• 新しい乾電池に交換してみてください。（準備編 21）
	• リモコンの乾電池の極性（＋、－）が逆向きにはいっていませんか。	• 極性（＋、－）を正しく入れてください。（準備編 21）
	• 本体のボタンで音量調整などの操作ができますか。（準備編 20）	• 上記を確認してもリモコンで操作ができない場合はリモコンの故障が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。
すべての操作ボタンが動作しない	• 電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 ※ソフトウェアのダウンロード 87 をしている場合は、終了するまで操作ボタン（本体、リモコンの 電源 以外のボタン）は動作しません。**ソフトウェアのダウンロード中は、絶対に電源プラグを抜いたり、本体の電源ボタンで電源を切ったりしないでください。**ソフトウェアの書き込みが中止され、正常に動作しなくなることがあります。	• 本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。約10秒後に電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。

困ったときには... つづき

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
地上アナログ放送の番組表が表示されない	• 正しい接続・設定をしていますか。	• 12 冒頭、番組表についての説明をご覧ください。
番組表の文字が小さい	――	•「文字サイズ変更」15 で文字の大きさを変更してください。

映像

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
放送の映像が出ない	• アンテナ線がはずれていませんか。	• アンテナ線を正しく接続してください。(準備編 25)
	• アンテナ、アンテナ線が破損、または断線していませんか。	• アンテナ、アンテナ線をご確認ください。
	• アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けてください。
	• 音声は出ていますか。	• 音声が出ている場合は、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。
映像や番組表が表示されるまでに時間がかかる	• 本体の電源ボタンで電源「入」にしましたか。	• 本体の電源ボタンで電源「入」にしたときは時間がかかります。(リモコンで電源「入」にしたときよりも時間がかかります)
	• 別の放送メディアのチャンネルを選局しましたか。	• 別の放送メディアのチャンネルを選局した場合は映像が表示されるまでやや時間がかかります。
接続した機器の映像が出ない	• 接続コードが正しく接続されていますか。	• 接続した映像コードの入力、出力が合っているか確認してください。
	• 入力切換は合っていますか。	• 本体またはリモコンの 入力切換 で外部機器を接続した入力端子を選んでください。
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	• ご希望の映像メニューや映像調整になっていますか。	• 映像メニューをご確認ください。74 映像メニューを選択してもご希望の映像にならない場合は「映像調整」75 でご希望の映像に設定します。
映像が二重、三重になる(ゴースト)	• 山やビルなどからの反射電波が考えられます。アンテナの位置、高さ、向きは合っていますか。	• アンテナの位置、高さ、向きを変えてみてください。(お買い上げの販売店にご相談ください)
雪や雨が降ったような画面になる	• アンテナの向きがずれていませんか。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしていませんか。	• アンテナの向き、アンテナ線の接続(準備編 25)に問題がない場合は、チャンネル設定が正しいか確認してください。(準備編 72)
画面にはん点が出る	• 平行フィーダー線(準備編 25 お知らせ)をお使いではありませんか。	• 自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、クリーナー、ヘアードライヤーなどからの妨害が原因と考えられます。アンテナ線の位置を原因妨害源(道路など)から離れた位置に移動することをおすすめします。 • 平行フィーダー線から電波妨害に強い同軸ケーブルに変えてみることをおすすめします。 ※上記の対処で直らない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。
画面にしま模様が出る	• 平行フィーダー線(準備編 25 お知らせ)をお使いではありませんか。	• 近くのテレビやパソコン、テレビゲーム、ビデオ、オーディオ機器、DVD 機器、携帯電話などや無線局などからの電波の混信が考えられます。 • アンテナ線は他の機器の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してみてください。 ※上記の対処で直らない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。
映像の輪郭が乱れる	――	•「映像設定」内の「モーションクリア」80 や「オートファインシネマ」80 を「オフ」にしてみてください。

音声

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
音声が出ない	• 音量が最小になっていませんか。	• ＋音量－で音量を上げてみてください。4
	• 画面に「消音」マークが表示されていませんか。	• 消音を押すと消音を解除できます。4 （＋音量－を押しても解除されます）4
ときどき音声が出ない、音がとぎれる	• 電波が弱いチャンネルではありませんか。	• 無信号消音機能が働いていることが考えられます。「無信号消音設定」を「オフ」にしてみてください。（準備編 80 ）。

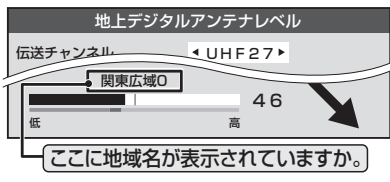
デジタル放送関係

デジタル放送全般

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
デジタル放送だけが映らない	• B-CASカードが正しく挿入されていますか。（カードの上下や裏表は正しいですか）	• B-CASカードを挿入しないと、放送や「放送局からのお知らせ」の受信ができません。B-CASカードを正しい方向で入れてください。（準備編 23 ）
	• アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 • アンテナ線がはずれていませんか。 • アンテナの向きがずれていませんか。	• BS・110度CSアンテナの方向を確認・調整してください。（準備編 71 ） • 地上デジタル放送に対応したアンテナ線が正しく接続されているかをご確認ください。
	• BS、110度CS放送の場合、アンテナ電源供給が「供給しない」になっていませんか。	• マンションなどの共聴アンテナ以外ではアンテナ電源供給を「供給する」にします。（準備編 70 ）
映像や音声が（ときどき）出たり、出なかったりする 映像の動きが（ときどき）停止する	• 電波の種類（BS、110度CS、地上デジタル）に適合したアンテナを使用していますか。 • 衛星デジタル放送の場合、地域に適したサイズ（口径）のアンテナを使用していますか。	• 放送に適合したアンテナをご使用ください。
	• アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 • アンテナ線がはずれていませんか。 • アンテナの向きがずれていませんか。	• BS・110度CSアンテナの方向を確認・調整してください。（準備編 71 ） • 地上デジタル放送に対応したアンテナ線が正しく接続されているかをご確認ください。
	• 積雪や豪雨、雷などが発生していませんか。	• 天候が回復すればもとの状態に戻ります。
有料放送が視聴できない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカードを正しい向きに入れてください。（準備編 23 ）
	• 有料放送を視聴するための手続きはお済みですか。	• 付属のファーストステップガイド（有料放送加入申込書）で視聴手続きをしてください。
引っ越しをしたら、データ放送や文字スーパー表示が表示されなくなった	• データ放送用の地域設定は正しいですか。	• 新住所に合わせて「郵便番号と地域の設定」をしてください。（準備編 81 ）

映像／音声

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
特定のチャンネルの映像や音声が出ない	• アンテナとの接続にデジタル放送に非対応のケーブルや機器などを使用していませんか。	• 携帯電話など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。 • デジタル放送に対応したケーブルや機器などをご使用ください。（準備編 25 、27 の「お知らせ」を参照）
不自然なブロックノイズ（モザイク状のノイズ）が見えるときがある	• 降雪や豪雨、雷などが発生していませんか。 • 特に動きの激しい画面でブロックノイズが見えますか。	• デジタル放送受信の特性上、発生することがあります。 以下の場合は故障ではありません。 • 降雨対応放送の映像の場合 • 悪天候などで、受信状態が悪化した場合 • 画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合

困ったときには… つづき

お知らせ

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
「お知らせ」アイコンが消えない	•「お知らせ」の内容を確認しましたか。	• メニューの「お知らせ」画面から「放送局からのお知らせ」「本機に関するお知らせ」の内容を表示させると消えます。25
未読の「お知らせ」がなくなっている • 放送局からのお知らせ • 本機に関するお知らせ • ボード	•「設定の初期化」をしませんでしたか。	•「設定の初期化」をすると「お知らせ」は削除されます。(準備編 95)
	•「お知らせ」が最大件数を超えていませんか。	•「放送局からのお知らせ」「本機に関するお知らせ」は、最大数を超えて受信した場合は未読でも自動的に削除されることがあります。詳しくは 25 の「お知らせ」をご覧ください。
	•「ボード」は、そのとき受信したものしか表示されません。	―
「放送局からのお知らせ」が受信できない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカードを正しい向きに入れないと「お知らせ」は受信できません。(準備編 23)

地上デジタル放送の受信や予約など

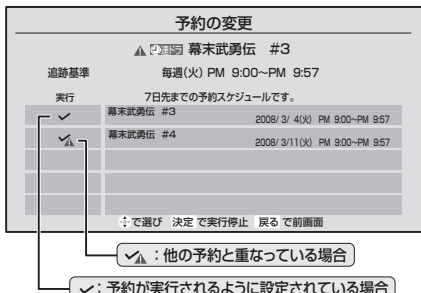
このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
地上デジタル放送がまったく受信できない ※以下も含みます • 地上デジタル放送の番組表などが表示されない • 本体の放送切換ボタンを押しても地上デジタル放送に切り換わらない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカードを正しい向きに入れてください。(準備編 23)
	• 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか。	• 地上デジタル用アンテナの接続をご確認ください。(準備編 25)
	• アンテナの方向は正しいですか。	• 地上デジタル用アンテナを地上デジタルの放送局側に向けてください。 • アンテナレベルの数値を確認しながら、アンテナの方向調整をしてみてください。(準備編 71)
	•「初期スキャン」をしましたか。	• 初期スキャンをしてください。(準備編 73) • 受信できたチャンネルは「番組表」で確認できます。12
	• お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	• 地上デジタル放送が行われているかをもよりの放送局にお問い合わせください。 以下のホームページのリンク先で確認することもできます。 http://www.toshiba.co.jp/product/tv/naruhodo/
	• 共聴システムをご使用の場合、共聴システムは地上デジタルに対応(パススルー方式)になっていますか。	• CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。(CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります)
引越しをしたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	• 引越し後、地上デジタル放送の「初期スキャン」または「再スキャン」を実施しましたか。	• 県外に引越しをした場合は、「初期スキャン」(準備編 73)をしてください。 • 県内で引越しをした場合は、「再スキャン」(準備編 74)をしてください。 •「初期スキャン」または「再スキャン」をしても受信できない場合は、上の「地上デジタル放送がまったく受信できない」の内容もご確認ください。
一部の地上デジタル放送が受信できない	• 放送は行われていますか。	• 地上デジタル放送が行われているかを、もよりの放送局にお問い合わせください。
複数台のテレビで、地上ダイレクト選局ボタンのチャンネルが異なっている **複数台のテレビで、枝番 9 が異なっている**	• 初期スキャンなどを異なる時間にしませんでしたか。	• 一部の東芝製テレビや他社メーカーのテレビの場合は、チャンネルの割当てや枝番が同じにならないことがあります。 •「チャンネル設定」の「手動設定」(準備編 75)でチャンネルの割当てを変更することができます。

地上デジタル放送の受信や予約など　つづき

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
地上デジタルアンテナレベル画面では受信できるチャンネルが、通常に視聴できない	地上デジタルアンテナレベル 伝送チャンネル ◂UHF27▸ 関東広域0 46 低 高 ここに地域名が表示されていますか。	• 表示されている場合は、再スキャンをしてください。(準備編 74) ※表示されている場合でも、背景が黒画面の場合は通常の選局では受信できません。 • 表示されていない場合は、検査放送なので通常の選局では受信できません。
受信できなくなった放送局が番組表表示などから消えない	―――	• 初期スキャンをしてください。(準備編 73)
地上ダイレクト選局ボタンに設定してあった放送局が別の放送局に変わっている ※以下も含みます • 以前選局できた放送がなくなっている	•「本機に関するお知らせ」の中に「放送局からの変更がありました。」などのお知らせがありますか。	• 放送の運用規定などに基づいて、設定内容が変更される場合があります。 「本機に関するお知らせ」の内容をご確認ください。 25
チャンネルでの選局時に同じ3ケタのチャンネル番号が複数表示される	• 枝番 9 で区別されているチャンネルではありませんか。	•「番組説明」 17 で枝番の有無をご確認ください。枝番があれば正常な動作です。
地上デジタル放送で、リモコンボタンに手動設定したチャンネルが消えている	•「初期スキャン」(準備編 74)をしませんでしたか。 •「再スキャン」(準備編 75)で「すべて設定し直す」を選択しませんでしたか。	• 必要に応じて再度「手動設定」をしてください。(準備編 75)
番組表を表示させても番組名などが表示されない場合や、実際の内容と合っていない場合が多い	―――	• 番組情報を取得してください。情報取得には時間がかかる場合があります。 15 • 番組データ全体を取得するには、毎日2時間以上本機の電源を「切」または「待機」にしてください。(準備編 15)
録画予約で、予約した番組が放送時間を繰り上げて放送されたが、「放送時間」を「連動する」に設定していたのに、連動して録画されなかった	―――	• 本機は放送時間の繰り上げには、対応していません。

通信・双方向サービス・通信設定など

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
イーサネット通信ができない(LAN端子を使った双方向サービスができない)	• LAN端子は正しく接続されていますか。	• 接続をご確認ください。(準備編 29)
	•「LAN端子設定」は正しく行われていますか。	• 正しい「通信接続設定」をしてください。(準備編 86 ～ 87) • 最後に「接続テスト」で、正しく通信できているかご確認ください。(準備編 87)
ダイヤルアップ通信ができない	• 電話回線は正しく接続されていますか。	•「通信環境設定」を「イーサネット優先」に設定してください。(準備編 86)
通信速度が遅い、不安定	• 接続ケーブルが長すぎませんか。	• ケーブルが長すぎると通信速度が遅くなる場合があります。短い接続ケーブルに換えてみてください。
	• 回線が混んでいるためではありませんか。	• イーサネット通信の場合、通信環境によるもの(ADSLの場合、局から遠いなど)ではありませんか。 • 接続機器の使用状況によっては、通信速度が遅くなる場合があります。(データ量が多い場合など) • 時間をおいてから通信をしてみてください。 ※通信速度については、インターネット接続業者にご相談ください。
ダイヤルアップ接続している通信が勝手に切れてしまう	• 通信切断前の確認画面表示を「表示しない」に設定していませんか。	•「接続確認メッセージ設定」を「表示する」に変更すると、通信切断前に確認画面を表示させることができます。(準備編 85)

困ったときには... つづき

録画・再生

内蔵ハードディスクの場合

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
内蔵ハードディスクを使用できない	•「処理中」(ハードディスク処理中アイコン)が画面に表示されていませんか。	•ハードディスクの処理中です。しばらくお待ちください。 •しばらく待ってもハードディスク処理中アイコン(左図)が消えない場合は、一時的なエラーの場合が考えられます。リモコンの電源ボタンを押して「待機」にし、5分ほど待ってから、再度電源ボタンを押して「入」にしてみてください。それでも使用できない場合は以下の方法で「リセット」をしてください。 ※リセットのしかた ①本体の電源ボタンを押して電源を「切」にする ②本体の「ハードディスク」表示ランプが消えていることを確認する ③電源プラグをコンセントから抜く ④約10秒後に電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源ボタンを押して電源を入れる ※上記の操作をしても使用できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	•本機の電源がはいっているときや、本機前面の「ハードディスク」表示が点灯しているときに、停電や雷などによる瞬間的な停電、電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで、電源が切れませんでしたか。	•「ハードディスク初期化」(準備編 94)をしてください。それでも使用できない場合はハードディスクの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
内蔵ハードディスクに録画した番組が消えた	•上記と同じ状態で電源が切れませんでしたか。	•左記の場合、録画した番組が消える場合があります。録画した番組がすべて消えた場合や、ハードディスクが動作しない場合は「ハードディスク初期化」(準備編 94)をしてください。それでも使用できない場合は、ハードディスクの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
内蔵ハードディスクに録画できない(再生はできる)	•本機のハードディスクの残量が足りていますか。	•不要な番組を削除してください。
	•コピー禁止の番組ではないですか。	•番組説明でご確認ください。
	•録画機器が内蔵ハードディスク以外に設定されていませんか。	•「録画設定」で録画機器を「内蔵ハードディスク」に変更してください。
	•電波の受信状態が不安定ではないですか。	•アンテナの接続をご確認ください。(準備編 25～27)(電波の受信状態が不安定な場合は録画できないことがあります。)
	•ハードディスクとの一時的な通信エラー。	•内蔵ハードディスクの接続をご確認ください。
	•ハードディスクが未登録ではないですか。 •ハードディスクが取りはずしできる状態ではありませんか。	•「本機に関するお知らせ」をご覧ください。25
再生中に不自然なブロックノイズが見えるときがある	―――	以下の場合に発生することがありますが、故障ではありません。 •もとの映像にブロックノイズがすでにある状態での録画の場合。 •天候などによって、受信状態が悪化した状態での録画の場合。 •画面の激しい変化に画像処理が対応できない場合。 •内蔵ハードディスクのディスク上のエラーによる場合。(内蔵ハードディスク寿命により大量に発生する場合は、内蔵ハードディスクの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください)

連ドラ予約

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
「連ドラ予約」が正しく録画できない	• 追跡キーワードや追跡基準は正しく設定されていますか。	• 「連ドラ予約確認画面」で、追跡キーワードや追跡基準を正しく設定しなおしてください。40☞
	• 連ドラ予約と通常の録画予約が重複していませんか。	• 「連ドラ変更画面」で、連ドラ予約番組をその回だけ、予約実行／実行停止させることができます。 **連ドラ予約番組の実行／実行停止をするには** ❶ クイック を押す ❷ ▲·▼で「予約リスト」を選び、決定 を押す ❸ ◀·▶で「連ドラ予約変更」を選び、決定 を押す ❹ 録画を実行／実行停止する回を選び、決定 を押す 予約の変更 連ドラ 幕末武勇伝 #3 追跡基準 毎週(火) PM 9:00~PM 9:57 実行 7日先までの予約スケジュールです。 幕末武勇伝 #3 2008/ 3/ 4(火) PM 9:00~PM 9:57 幕末武勇伝 #4 2008/ 3/11(火) PM 9:00~PM 9:57 で選び 決定 で実行停止 戻る で前画面 ：他の予約と重なっている場合 ：予約が実行されるように設定されている場合 • 番組を選んで 決定 を押すたびに、実行と実行停止が交互に切り換わります。

DLNA認定サーバー、DTCP-IP対応サーバー関係（再生のみ）

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
DLNA認定サーバーが「機器選択」画面に表示されない	• DLNA認定サーバーは正しく接続されていますか。	• 準備編 60☞ を参照して、正しく接続してください。（必ずルーターを通して接続してください。）
	• 本機のLAN端子およびDLNA認定サーバーはIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。	• 「通信接続設定」（準備編 86☞）の「LAN端子設定」で、「IPアドレス自動取得」を「する」に設定してください。 • DLNA認定サーバーについてはDLNA認定サーバーの説明書に従って設定してください。
	• IPアドレスが「192.168.XXX.XXX」、「172.16.XXX.XXX ～ 172.31.XXX.XXX」または「10.XXX.XXX.XXX」になっていますか。	• 準備編 64☞ の手順でIPアドレスを確認してください。ほかのIPアドレスに設定されたものは、本機に接続できません。
	• ルーターのIPアドレスが「192.168.XXX.XXX」、「172.16.XXX.XXX ～ 172.31.XXX.XX」または「10.XXX.XXX.XXX」範囲で割り当てる設定になっていますか。	• ルーターの説明書に従って、左記のIPアドレスがDLNA認定サーバーと本機に割り当てられるように設定してください。
	• 複数のDLNA認定サーバーを接続していますか。	• 2台目以降のDLNA認定サーバーが「機器選択」画面に表示されるまで15分程度かかることがあります。 • 「機器選択」画面を終了して、もう一度「機器選択」画面を表示すると、機器が表示される場合があります。
録画リストが表示されない	• DLNA認定サーバーによっては、アクセス後一定時間経過しないと録画リストを表示できないことがあります。	• しばらくお待ちください。
	• DLNA認定サーバーのアクセス制限は正しく設定されていますか。	• DLNA認定サーバーによってはMACアドレスによるアクセス制限をしている場合があります。DLNA認定サーバーの説明書に従って正しく設定してください。 ※本機のMACアドレスは、「通信接続設定」（準備編 86☞ ～ 87☞）の「LAN端子設定」で確認することができます。
DLNA認定サーバーのコンテンツが見られない	• DLNA認定サーバーが公開しているコンテンツは、本機が再生できる種類のものですか。	• 本機が再生できるコンテンツのフォーマットは、準備編 64☞ に記載のとおりです。DLNA認定サーバーが公開しているコンテンツのフォーマットは、DLNA認定サーバー側でご確認ください。

困ったときには... つづき

録画・再生 つづき

USBハードディスク関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
録画専用USB端子に接続したUSBハードディスクが「機器選択」画面に表示されない	• USBハードディスクの電源ははいっていますか。	• 電源を入れてください。
	• USBハードディスクを接続した直後ではありませんか。	• USBハードディスクを本機に接続してから自動登録されるまで1分ほどかかります。登録されるまでお待ちください。
	• USBハードディスクが正しく接続・設定されていますか。	• 正しく接続・設定してください。(準備編 55 ～ 57)
録画先に指定したUSBハードディスクに正しく録画できない	• 録画先に指定したUSBハードディスクが「機器選択」画面 55 に表示されていますか。	• 表示されない場合は、上の「録画専用USB端子に接続したUSBハードディスクが「機器選択」画面に表示されない」の内容をご確認ください。
	• 録画先に指定したUSBハードディスクに十分な残量がありますか。	• 残量が少ない場合は、不要な番組を消すか、または残量のある録画先を選択してください。
USBハードディスクを使用できない	• 使用したい機器が「機器選択」画面に表示されていますか。	• 表示されない場合は、上の「録画専用USB端子に接続したUSBハードディスクが「機器選択」画面に表示されない」の内容をご確認ください。 • それでも使用できない場合は、以下の操作をしてください。 ① テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切る ② 本機に接続しているUSBハードディスクをはずす ③ USBハードディスクを本機に接続する ④ 本機の電源ボタンを押して電源を入れる
USBハードディスクに録画した番組が消えた	• USBハードディスクを使用中に停電や雷などによる瞬間的な停電、USBハードディスクの電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで、電源が切れませんでしたか。	• 左記の場合、録画した番組が消える場合があります。録画した番組がすべて消えた場合や、USBハードディスクが動作しない場合は、「機器の初期化」(準備編 57)をしてください。

LANハードディスク関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
ハードディスク専用LAN端子に接続したLANハードディスクが「機器選択」画面に表示されない	• LANハードディスクを接続した直後ではありませんか。	• LANハードディスクを本機に接続してから自動登録されるまで10分ほどかかります。登録されるまでお待ちください。
	• 「登録モード設定」を「自動」に設定していますか。(準備編 69)	• 通常は「自動」に設定して使用してください。「登録モード設定」を「手動」に設定した場合は、手動で登録してください。(準備編 69)
	• LANハードディスクが正しく接続・設定されていますか。	• 正しく接続・設定してください。(準備編 58 ～ 60) • IPアドレスの設定で、本機側を自動取得、LANハードディスク側を手動・設定にしているなどの矛盾はありませんか。
LAN端子(中央)に接続したLANハードディスクが「機器選択」画面に表示されない	• LANハードディスクが正しく接続・設定されていますか。	• 正しく接続設定してください。(準備編 58 ～ 60) [汎用LAN端子に接続したLANハードディスクは自動登録されませんので、上記ページの操作で登録してください。]
	• IPアドレスが「192.168.XXX.XXX」、「10.XXX.XXX.XXX」、「172.XX.XXX.XXX」 のいずれかになっていますか。(XXXは数字。「168」の部分は異なっている場合があります)	• ほかのIPアドレスに設定されたものは、本機に接続できません。(準備編 60)
録画先に指定したLANハードディスクに正しく録画できない	• 録画先に指定したLANハードディスクが「機器選択」画面 55 に表示されていますか。	• 表示されない場合は、上の「ハードディスク専用LAN端子に接続したLANハードディスクが「機器選択」画面に表示されない」と、「汎用LAN端子に接続したLANハードディスクが「機器選択」画面に表示されない」の内容をご確認ください。
	• 録画先に指定したLANハードディスクに十分な残量がありますか。	• 残量が少ない場合は、不要な番組を消すか、または残量のある録画先を選択してください。
LANハードディスクに記録されているファイル(録画番組や写真)が再生できない	• LANハードディスクの電源がはいっていますか。	※ 以下をすると再生できるようになる場合があります。 • LANハードディスクの電源を入れ直して10分間待つ。

東芝RDシリーズ(東芝製ビデオレコーダー)の場合

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
本機と東芝RDシリーズで、「テレビdeナビ予約」ができない	• 本機と東芝RDシリーズの接続・設定をしましたか。	• 「東芝レコーダーをつなぐ」(準備編 41 ～ 44)に従って、接続・設定をしてください。
設定した録画開始時刻に録画が始まらない	• 東芝RDシリーズの時刻は正しく設定されていますか。	• 時刻設定が違っている場合は、東芝RDシリーズの取扱説明書を参照して正しい時刻に修正してください。
「東芝RDアナログでの予約」で録画中に録画を中止したが、本機でチャンネルを切り換えることができない	• 東芝RDシリーズ側で録画を中止しただけではありませんか。(本機側で録画中止しましたか)	• 本機のリモコンの 停止 を2回押し、本機側を録画中止にしてください。(東芝RDシリーズ側で録画を中止した場合は、本機でも録画中止の操作をしないとチャンネルが切り換えられません)
「東芝RDアナログでの予約」で録画中に録画を中止したが、東芝RDシリーズの録画が中止されない	• 本機側で録画を中止しただけではありませんか。(東芝RDシリーズ側で録画中止しましたか)	• 東芝RDシリーズ側の録画を中止してください。(本機側で録画を中止した場合は、東芝RDシリーズ側でも録画中止の操作をしてください)

HDMI連動機能

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
接続した機器の連動動作ができない	• 接続は正しいですか。	• 接続をご確認ください。(準備編 40 、44 、46 、48 、49) • HDMIケーブルはHDMIロゴ表示のついた規格にあったものを使用してください。 • はじめて連動機能対応機器を接続したときや、接続を変更したときには、AVシステムに接続している機器も含めてすべての機器が連動しているか(画面右上の接続機器表示に「HDMI連動」アイコンが表示されます)を確認してください。
	• 接続機器側の設定は正しいですか。 • 本機の設定は正しいですか。	• 接続機器側の設定をご確認ください。 • 「レグザリンク設定」の「HDMI連動設定」をご確認ください。(準備編 52)
	• 接続機器は本機の推奨機器ですか。	• 本機で推奨している機器を使用してください。 ※推奨機器以外の機器をHDMI接続した場合にHDMI連動機能対応機器と認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。
	• 接続している機器はHDMI連動対応の東芝パソコンですか。	• 東芝パソコンを再起動してからHDMIケーブルをはずし、本機と接続しなおしてください。
本機のリモコンの操作と連動機器側の動作が合わない	• 接続機器は本機の推奨機器ですか。	• 本機で推奨している機器を使用してください。 • 推奨機器を接続しているにもかかわらず、リモコンの操作と機器の動作が合わない場合は、接続機器側のリモコンで操作してください。
接続したAVシステムのスピーカーから音が出ない	• 接続機器側の設定は正しいですか。 • 本機の設定は正しいですか。 • 本機との接続は正しいですか。	• AVシステム側の設定をご確認ください。 • 「HDMI連動設定」の「AVシステム連動」を「使用する」に設定していますか。(準備編 52) • AVシステムの接続をご確認ください。(準備編 46) ※HDMIケーブル以外にオーディオケーブルを接続しないと、スピーカーからテレビの音は出ません。
映像機器からの映像と、AVシステムからの音声が違う	• 映像機器とAVシステムが別々のHDMI端子に接続されていませんか。	• 以下の操作をしてください。 ① 「レグザリンク」の「映像を見る／機器選択」で映像機器を選びなおしてください。 ② 映像機器をAVシステムに接続してください。 ③ テレビ放送を視聴してから①をしてください。
	• 接続している映像機器は、東芝レコーダーRD-A300、RD-A600ですか。	• RD-A300、RD-A600の接続をご確認ください。(準備編 47)その後、「レグザリンク」の「映像を見る／機器選択」で映像機器を選びなおしてください。

困ったときには… つづき

ワンセグ関係(42ZH7000を除く)

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
「機器一覧」にSDメモリーカードが表示されない	• フォーマットが異常ではありませんか。	• 携帯電話等の「ワンセグ」を再生したい機器(パソコンを除く)で初期化をしてください。
	• SDメモリーカードが異常ではありませんか。	• 他のメモリーカードをご使用ください。
本機からコピーした番組が他の機器で見られない	• 再生機器側で対応しているフォーマットになっていますか。	• 本機で初期化したSDメモリーカードを使用してください。

写真再生関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
USB機器やSDメモリーカード(42ZH7000を除く)の画像が見られない	• 本機のUSB端子に正しく接続していますか。	• USB機器の接続をご確認ください。(準備編 50)
	• SDメモリーカードが正しく挿入されていますか。	• SDメモリーカードを正しく挿入してください。(準備編 18)
	• 本機に接続できる機器ですか。	• USB機器の接続をご確認ください。(準備編 50)
	• 使用したい機器以外がつながっていませんか。	• 使用していないUSB機器を取りはずしてください。
	• USB機器の接続設定を変更できますか。	• USB機器の接続設定を変更してみてください。(変更方法はUSB機器の取扱説明書でご確認ください。)
	• 表示モードがシームレスモードになっていませんか。	• 表示モード切換をしてください。(DCIMフォルダがない場合は、シームレスモードで表示できません)
USB機器やSDメモリーカード(42ZH7000を除く)の一部の画像が見られない	• USB機器やSDメモリーカード内に1000枚以上のファイルが保存されていませんか。	• パソコンやデジタルカメラなどで不要なファイルを削除してください。
	• ファイル名やフォルダ名に長い名前のものがありませんか。	• ファイル名を短くしてください。 ※ 見たいファイルのファイル名とそのファイルが収容されているフォルダ名の合計文字数を200文字以内にしてください。
画像が表示されるのが非常に遅い	• USB機器の接続設定を変更できますか。	• USB機器の接続設定を変更してみてください。(変更方法はUSB機器の取扱説明書でご確認ください。)
	• ファイルサイズが大きくありませんか。	• パソコンなどでファイルサイズを小さくしてください。
写真再生で表示モード切換ができない	• USB機器の接続設定を確認してください。	• 表示モード切換は、USB機器の接続設定がPC接続モードの場合、またはSDメモリーカード挿入口(42ZH7000にはありません)に挿入したSDメモリーカードの場合にのみできます。

ひかりTV関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
ひかりTVを視聴できない	•「IPTV設定」（準備編 90）の「システム情報」で、「ネットワーク状態」が「接続中」になっていますか。	•「ネットワーク状態」が「未接続」の場合は、「IPTV 設定」の「接続テスト」をしてみてください。
	• 接続・設定は正しいですか。	• 正しく接続、設定してください。（準備編 30、90 ）
	• ひかりTVの申込みをしていますか。	•「ひかりのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」（準備編 30）を参照して申し込んでください。
	• 回線終端装置のLED表示が点灯していますか。	• 点灯していない場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

※ 上記の操作をしても視聴できない場合は、「ひかりTVのお問い合わせ・お申し込みはこちらから」（準備編 30）にご相談ください。

インターネット関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
インターネット画面が表示されない	• プロバイダーなどとのインターネットをするための契約はお済みですか。	• 契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
	• LAN端子は正しく接続されていますか。	•「LAN端子の接続（1）」（準備編 29）に従って、正しく接続してください。
	• インターネットをするための設定は正しいですか。	•「通信接続設定」（準備編 86）に従って、「通信環境設定」と「LAN端子設定」をしてください。 ※インターネット起動時に暗証番号の入力が必要となるようにする場合は、「インターネット制限設定」（準備編 91）で設定してください。
音声が出ない	• インターネットの音声は出力されません。	――――
リモコンボタンの効きが悪い	• Webサイトのデータ読込中などは、リモコンボタンの効きが悪くなる場合があります。	――――

困ったときには... つづき

エラー表示、メッセージ表示について

全般 （代表的なもの）

● 代表的なエラー表示、メッセージ表示について説明します。

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「放送が受信できません。 ・ アンテナの接続をや設定ご確認ください。 ・ 青 でアンテナレベルをご確認ください。 コード：E202」	• 適合したアンテナでないため。 • 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 • アンテナの設定が合っていない。 • アンテナの方向ずれや故障。 • 電波が弱くて視聴できない。	• 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることをご確認ください。 • アンテナの接続や設定が合っているかご確認ください。（準備編 25 ～ 27 、36 ） • アンテナ線をご確認ください。 ※選局しているチャンネルでの放送が休止中の場合も表示することがあります。
「このチャンネルはご覧になれません。 コード：E210」	• 部分受信サービス（準備編 101 ）を選局したため。	• 本機は対応していないので受信できません。
「電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201」	• 気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になったため。	• 降雨対応放送に切り換えることができます。 25
「現在放送されていません。コード：E203」	• 選局したチャンネルでの放送が休止中。 • 放送が終了している。	• 番組表などで放送時間をご確認ください。 • 放送中のチャンネルを選局してください。 ※雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示することがあります。
「放送チャンネルではないためご覧になれません。コード：E200」	• 通信など通常の放送形態でないチャンネルを選局した。 • ホテルなどで特定の視聴者向けのサービスとして放送しているチャンネルを選局した。	• 通常の放送チャンネルを選局してください。
「ご案内チャンネルに切り換えますか？」	• 有料の放送事業者のチャンネルを選局した場合など。	• 選んだチャンネルの契約のしかたなどをご覧になる場合は、「ご案内チャンネル」に切り換えてください。
「表示するチャンネルがありません。」	• 番組表で、表示するチャンネルがまったくないため。	• BS—CS や 地デジ—地アナ で、表示できるチャンネルを選んでください。
「B-CASカードが正しく挿入されていません。B-CASカードをご確認ください。」	• B-CASカードが挿入されていない、または正しく挿入されていない。	• カードを抜き差ししてみてください。 • B-CASカードが正しく挿入されているかご確認ください。（準備編 23 ）
「B-CASカードの交換が必要です。B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード：6400または6581」	• B-CASカードが故障している、または交換の必要がある。	• カードを抜き差ししてみてください。 • それでも正常にならない場合は、カードに記載されているB-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
「このB-CASカードはご使用になれません。B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード：A104またはA105またはA106またはA107」	• B-CASカードが登録されていない。	• B-CASカードの登録をしてください。カードに記載されているB - CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
「このICカードはご使用になれません。使用可能なB-CASカードを挿入してください。」	• 同梱のB-CASカード以外のカードを挿入している。	• 同梱のB-CASカードを挿入してください。
「このICカードはご使用になれません。使用可能なICカードを挿入してください。コード：EC01」	• このICカードは無効です。	
「このB-CASカードはご使用になれません。コード：A1FFまたはA102」	• 使用できないB-CASカードを挿入している。	
「B-CASカードが故障しています。」	• B-CASカードが故障している、または交換の必要がある。	• B-CASカスタマーセンターに、交換についてお問い合わせください。

全般 （代表的なもの） つづき

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「時刻情報を取得できませんでした。」	• デジタル放送が受信できないため、時刻情報を自動取得できない。	• しばらくしてからデジタル放送を受信して、時刻情報を自動取得してください。
「この番組には視聴制限があります。」	• 設定した視聴年齢を超えた番組を選局した。	• 視聴年齢を設定していない場合は「視聴年齢制限設定」（準備編 92）で視聴年齢を設定してください。 • ご覧になる場合は暗証番号を入力してください。（準備編 91）
「番組に視聴制限があるためご覧になれません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード：8903または8503または8303」	• 選んだチャンネル（番組）の視聴地域が限定されているため、視聴できない。	• 詳しくはご覧のチャンネルのカスタマーセンターにご連絡ください。

■ デジタル放送を受信中にメッセージが表示された場合

● メッセージ表示の中に、「【画面表示】を押し続けると消去」という文章が表示された場合は、画面表示を数秒間押し続けると、メッセージ表示を消すことができます。
● 「【画面表示】を押し続けると消去」の文章は、メッセージが表示されてから数秒後に自動的に消えます。
この文章が消えたあとも、画面表示を数秒間押し続けると、表示されている他のメッセージ表示を消すことができます。

USB機器に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「機器（メディア）が接続されていません。」	―――	• 本機が対応しているメディア、または機器を使用してください。
「機器（メディア）を認識できません。」	• 正常にフォーマットされていないメディアまたは機器が接続された。	• 本機が対応しているフォーマット形式のものを使用してください。
	• その他の原因。	• 本体の電源ボタンを押して電源を切り、機器を接続してから、もう一度本機の電源を入れてください。
「機器（メディア）にアクセスできません。」	• USB接続に異常が発生した。	• USB機器をはずしてから、もう一度接続してください。
「USB端子の電源容量を越えました。 必要な機器のみ接続してください。」	• USB過電流エラーが発生した。 （USB機器を多くつないでいる場合には、使用できなくなる場合があります）	• 以下の方法で復帰をしてください。 ① テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切る ② 本機に接続しているUSB機器をすべてはずす ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜く ④ 約10秒後に電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源ボタンを入れる ⑤ 使いたいUSB機器だけを接続する

困ったときには… つづき

内蔵ハードディスクに関するエラー表示やお知らせ

<table>
<tr><th>画面に出るエラー表示</th><th>考えられる原因など</th><th>対処のしかた・その他</th></tr>
<tr><td>「内蔵ハードディスクが正しく取り付けられていません。」</td><td>• 内蔵ハードディスクに一時的なエラーが発生した。
• 内蔵ハードディスクが正しく取り付けられていない。</td><td>• 内蔵ハードディスクの接続を確認してください。
• それでも同じエラー表示が出る場合は、リセット(下記参照)をしてください。
• 以上のどちらをしても同じエラー表示が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>「内蔵ハードディスクの再検出ができませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」</td><td>• 内蔵ハードディスクが正しく取り付けられていない。</td><td>• 内蔵ハードディスクの接続を確認してください。</td></tr>
<tr><td>「内蔵ハードディスクのエラーにより録画を中止しました。」</td><td>• 内蔵ハードディスクに一時的にエラーが発生した。</td><td rowspan="3">• 以下の操作でリセットをしてから、もう一度同じ操作をしてください。それでも同じエラー表示が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
※リセットのしかた
① 本体の電源ボタンを押して、電源を切る
② 本体の「ハードディスク」表示ランプが消えていることを確認する
③ 電源プラグをコンセントから抜く
④ 約10秒後に電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源ボタンを押して電源を入れる</td></tr>
<tr><td>「ファンの異常により、録画を中止しました。」</td><td rowspan="2">• 本機内部の冷却ファンに一時的な異常が発生した。
• ファンが故障している。</td></tr>
<tr><td>「ファンの異常により、内蔵ハードディスクが動作しません。」</td></tr>
</table>

通信（電話回線やLAN端子を使った通信）に関するエラー表示 （代表的なもの）

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。電話機コードが正しく接続されているかご確認ください。コード：C100」	• 電話がつながらなかったため。	• 「電話回線の接続」（準備編 28）および「電話回線設定」（準備編 83～85）で接続・設定の状態をご確認ください。
「接続に失敗しました。電話回線の設定をご確認ください。コード：C103」	• 電話回線を使用した通信ができなかったため。	
「サーバーと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	• サーバーからのダウンロードに失敗したため。	• 回線が混みあっているなどの場合も考えられますので、時間帯を変えて、もう一度操作してください。 • 「LAN端子の接続」（準備編 29）および「通信接続設定」（準備編 86～87）で接続・設定の状態をご確認ください。
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。」	• 本機にルート証明書が設定されていない。	• ルート証明書番号（準備編 81）を確認し、東芝家電ご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。 番号が確認できなかった場合は、数時間後にもう一度、番号を確認してください。 それでも確認できない場合は、東芝家電ご相談センターにお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。」	• ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証が取れない。	• ルート証明書番号（準備編 81）を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝家電ご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。」	• ルート証明書の有効期限が切れている。	
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	• 接続先の証明書が有効期限切れになっている。	• 接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。（本機の動作は正常です）
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	• サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。	
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	• 接続先の証明書が改ざんされている。	
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	• 認証エラーが発生した。	
「接続できません。通信環境設定をご確認ください。」	• 本機の通信環境設定が正しく設定されていない。	• 「通信接続設定」を正しく設定し直してください。（準備編 86）

困ったときには… つづき

東芝RDシリーズに「テレビdeナビ予約」をするときと、HDMI連動機能対応の東芝レコーダーに録画・予約するときのエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「録画時間に一部重複があります。録画機器で設定内容をご確認ください。」	• 予約はできたが、録画機器側の予約時間と、本機の「テレビdeナビ予約」の時間が一部重なっている。	• 録画機器の予約内容をご確認ください。
「録画機器で設定が変更されました。録画機器で設定内容をご確認ください。」	• 予約はできたが、録画機器側で録画設定が変更されている。	• 録画機器で録画設定の内容をご確認ください。
「録画機器の動作により登録できません。しばらく待ってからもう一度操作してください。」	• 録画機器側の動作との競合（何らかの操作、動作、表示をしている）がある。	• しばらくしてからやり直すか、または、録画機器側の操作などを中止してください。
「録画機器の予約がいっぱいです。」	• 録画機器側の予約数がいっぱいになっている。	• 録画機器側で、どれか予約を取り消してください。
「指定した時刻情報では予約を登録できません。」	• 録画機器側が対応していない形式で時刻を設定した。	• 録画機器の取扱説明書で、指定できる時刻の形式をご確認ください。
「録画機器の予約時間と重複するため、設定できません。」	• 録画機器側の予約と、本機からの予約時間時間が重なっている。	• 録画機器側で予約している時間帯は、本機からの予約はできない場合があります。
「録画機器に時刻が設定されていません。」	• 録画機器の時刻設定をしていない。	• 録画機器の時刻設定をしてください。
「予約を設定できませんでした。」 または 「録画を設定できませんでした。」	• 録画機器の電源がはいっていない。	• 録画機器の電源を入れてください。
	• 録画機器が正しく接続されていない。	• 本機と東芝RDシリーズを直接つなぐときは、クロスタイプのLANケーブルを使用してください。（準備編 41） • ルーターを通してつなぐときは、ストレートタイプのLANケーブルを使用し、ルーターの電源も入れてください。（準備編 43） • HDMIケーブルで接続しているときは、規格に合ったケーブルを使用しているかをご確認ください。（準備編 44）
	• ネットワークの設定が正しくない。	• 本機と東芝RDシリーズを直接つないだときは、「直接つなぐ場合の設定をする」（準備編 42）で正しく設定してください。 • ルーターを通してつないだときは、「ルーターを通してつなぐ場合の設定をする」（準備編 44）で正しく設定してください。 • HDMI連動機能で録画する場合は、設定を確認してください。（準備編 52）

i.LINKに関するエラー表示 （代表的なもの）

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「機器に接続できません。」	• 「機器選択」画面で選んだ機器への接続に失敗した。 • i.LINK操作中に接続変更があり、その接続処理に失敗した。	• i.LINK機器の接続をご確認ください。 • 機器の操作をし直すか、「機器選択」画面で選び直してください。57 • 相手機器の電源を入れ直してください。 • 相手機器のi.LINK設定をご確認ください。
「ブロードキャスト出力機器はありません。」	• ブロードキャスト出力している機器がない。	• i.LINK接続機器をご確認ください。
「現在入力されているブロードキャスト信号には対応していません。」	• 本機が対応していないブロードキャスト信号を入力したため。	• この機器から出力されている信号は本機では視聴できません。 • 本機が対応する信号を出力するi.LINK機器を接続してください。
「i.LINK機器の接続に変更がありました。接続状態を確認しています。」	• i.LINK接続ケーブルがはずれている、または接続が不十分。 • i.LINK接続に変更があった。	• 接続状態を確認中です。1分たっても終了しない場合は、機器の操作を終了し、i.LINK機器の接続、設定をご確認ください。（準備編 67～69）
「i.LINK機器の接続を確認してください。」	• i.LINK機器との接続が正しくない。	• i.LINK機器はループ状態には接続できません。正しく接続してください。（準備編 67）
	• i.LINK機器を64台以上接続している。	• 64台以上のi.LINK機器は接続できません。本機を含めて63台以下にしてください。
「外部機器から接続されています。」	• 外部のi.LINK機器から接続（制御）されているため、i.LINK操作ができません。	• i.LINK機器を操作するには、外部機器から本機へのi.LINK接続（制御）を終了してください。
「使用可能な帯域を超えているため操作できません。他の機器の接続をはずしてご使用ください。」	• 使用する帯域が確保できないため信号の通信ができません。	• 使用していないi.LINK機器でブロードキャスト出力設定されている場合は、ブロードキャスト出力を「切」にしてください。 • 同時に使用する機器の数を少なくしてください。 • 接続機器の電源プラグを抜き差ししてください。
「対応したデジタル信号が入力されていません。」	• DV機器などフォーマットの異なる機器をつないだため。	• DV機器などフォーマットの異なる機器は、接続してもデータのやりとりなどはできません。
「i.LINK制御機能が正しく動作していません。番組を正常に送受信できない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	• i.LINK処理に用いる内部情報が壊れているため。	• お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理をご相談ください。
「機器操作中は切り換えられません。」	• 機器操作中に、番組表、二画面などの操作をしようとしたため。	• 機器の操作を終了してから、選局などの操作をしてください。
「録画機器が操作を受け付けません。録画機器側での設定を確認してください。」	• 録画機器の制御ができないため。	• 録画機器側が外部制御できる設定になっているかご確認ください。録画機器の取扱説明書をご確認ください。

困ったときには... つづき

LANハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「機器に接続できません。」	• 接続ケーブルがはずれている。 • LANハードディスクの電源がはいっていない。 • LANハードディスクにエラーが発生した。	• 接続を確認してください。 • LANハードディスクの電源を入れてください。 • LANハードディスクの電源を入れなおしてください。
「再生できません。」	• 本機で対応しているファイルフォーマットではないため。	• 本機では再生できません。
「システム情報にエラーがあるため、録画番組を再生できない場合があります。」	• システムフォルダに含まれるシステム情報がこわれている。	• システムフォルダがこわれているため、このLANハードディスクは再生できません。
「一部のシステム情報が欠落しているため、再生できない録画番組があります。」	• システムフォルダ内の情報が不足している。	• 本機では再生できません。

USBハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「機器に接続できません。」	• 接続ケーブルがはずれている。 • USBハードディスクの電源がはいっていない。 • USBハードディスクにエラーが発生した。	• 接続を確認してください。 • USBハードディスクの電源を入れてください。 • USBハードディスクの電源を入れなおしてください。
「再生できません。」	• 本機で対応しているファイルフォーマットではないため。	• 本機では再生できません。
「USB端子の電源容量を越えました。接続機器をはずし、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	• USB過電流エラーが発生した。	• 以下の方法で復帰をしてください。 ① テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切る ② 本機に接続しているUSB機器をすべてはずす ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜く ④ 約10秒後に電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源ボタンを入れる ⑤ USBハードディスクを本機に接続する

DLNA認定サーバー、DTCP-IP対応サーバーに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「検索に失敗しました。」	• DLNA認定サーバーが正しく接続されていない。	• 準備編 60ページ を参照して、正しく接続してください。
「機器(メディア)にアクセスできません。」	• DLNA認定サーバーが正しく接続されていない。	• 準備編 60ページ を参照して、正しく接続してください。
	• DLNA認定サーバーのアクセス制御が正しく設定されていない。	• DLNA認定サーバーによってはMACアドレスによるアクセス制限をしている場合があります。 DLNA認定サーバーの説明書に従って正しく設定してください。 ※本機のMACアドレスは、「通信接続設定」(準備編 86ページ～87ページ)の「LAN端子設定」で確認することができます。
「再生できません。」	• コンテンツが本機で対応しているフォーマットではないため。	• 本機では再生できません。
「サーバー側の設定やアクセス状態により現在アクセスできません。しばらくしてからやり直してください。」	• DLNA認定サーバーが起動準備中。 • DLNA認定サーバーが他の機器で使用中。	• しばらくしてからやり直してください。
「システム情報にエラーが発生したため、番組を再生できません。」	• コンテンツ再生処理に使用する内部情報が壊れているため。	• お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理をご相談ください。

インターネットに関するエラー表示 (代表的なもの)

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「ページの安全性を確認できません。 サーバが証明書をサポートしていません。接続しますか?」	• 証明書認証時にブラウザの証明書DBに発行元のルートCA証明書がない場合	• この画面で「OK」を選んだ場合は、選んだページが表示されます。 この画面で「キャンセル」を選んだ場合は、ページを見ることはできません。
「ページの安全性を確認できません。 ルートCA証明書の有効期限が切れています。接続しますか?」	• ルートCA証明書の有効期限が切れている場合	• この画面で「OK」を選んだ場合は、選んだページが表示されます。 この画面で「キャンセル」を選んだ場合は、ページを見ることはできません。
「ページの安全性を確認できません。 サーバ証明書のCNがホスト名と一致しません。接続しますか?」	• サーバ証明書のCN(一般名)がホスト名と一致しない場合	• この画面で「OK」を選んだ場合は、選んだページが表示されます。 この画面で「キャンセル」を選んだ場合は、ページを見ることはできません。
「ページの安全性を確認できません。 サーバ証明書の有効期限が切れています。接続しますか?」	• サーバ証明書の有効期限が切れている場合	• この画面で「OK」を選んだ場合は、選んだページが表示されます。 この画面で「キャンセル」を選んだ場合は、ページを見ることはできません。
「DNSでエラーが発生しました。」	• HTTPリクエスト、リゾルブ中にURL、プロキシ設定に誤りがある場合	• 「LAN端子設定」(準備編 86ページ～87ページ)の「DNS設定」「プロキシ設定」が正しく設定されているかご確認ください。
「DNSが設定されていません。」	• HTTPリクエスト、リゾルブ中にDNSサーバが設定されていない場合	• 「LAN端子設定」(準備編 86ページ～87ページ)の「DNS設定」が正しく設定されているかご確認ください。
「DNSからの応答がありません。」	• HTTPリクエスト、リゾルブ中にDNSサーバからのリクエストが無くタイムアウトした場合	• 「LAN端子設定」(準備編 86ページ～87ページ)の「DNS設定」が正しく設定されているかご確認ください。
「サーバが見つかりません。」	• HTTPリクエスト、リゾルブ中にDNSサーバが見つからない場合	• 「LAN端子設定」(準備編 86ページ～87ページ)の「DNS設定」が正しく設定されているかご確認ください。
「接続できません。 TCPでオープンエラーが発生しました。」	• TCPオープンに失敗した場合	• 読込み途中のページを「便利機能」68ページ で読込み「中止」にしてください。

困ったときには... つづき

インターネットに関するエラー表示（代表的なもの） つづき

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「接続できません。 TCPで接続エラーが発生しました。」	• TCPコネクトに失敗した場合	• 接続先サーバーのURLをご確認ください。また、「LAN端子の接続(1)」(準備編 29) が正しく接続されているかご確認ください。
「接続できません。 TCPで読み込みエラーが発生しました。」	• TCP読込みに失敗した場合	• 「LAN端子の接続(1)」(準備編 29) が正しく接続されているかご確認ください。
「接続できません。 TCPで書き込みエラーが発生しました。」	• TCP書込みに失敗した場合	• 送信先サーバーが正しいかご確認ください。また、「LAN端子の接続(1)」(準備編 29) が正しく接続されているかご確認ください。
「SSL通信ができません。 プロキシに接続できません。」	• コネクトの応答フォーマットが誤っている場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「SSL通信ができません。 SSLでHandshakeエラーが発生しました。」	• SSLハンドシェイクに失敗した場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「SSL通信ができません。 SSLで読み込みエラーが発生しました。」	• SSL読込みに失敗した場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「SSL通信ができません。 SSLで書き込みエラーが発生しました」	• SSL書込みに失敗した場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「HTTPリクエストの送信中にタイムアウトしました。」	• HTTPリクエスト送信中にタイムアウトした場合	• 接続先サーバーは正しいかご確認ください。また、「LAN端子の接続(1)」(準備編 29) が正しく接続されているかご確認ください。
「表示しようとしているページがキャッシュに保存されていません。」	• キャッシュのみからコンテンツを取得する設定の場合、キャッシュにコンテンツが存在しないとき	• 左記の原因でこのページを表示できません。(再読込みしても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「表示しようとしているキャッシュ内のページは有効期限が切れています。」	• 再読み込み、進む、戻るの操作をしたとき、POSTをしようとした場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(再読込みしても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「この認証タイプはサポートされていません。」	• 認証のタイプがBasic認証でもDigest認証でもない場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「サーバからの応答に含まれている認証パラメータが正しくありません。」	• 認証の際にHTTPヘッダが不正である場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「サーバからの応答が正しくありません。 リダイレクトできません」	• リダイレクトの際にHTTPヘッダが不正である場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「HTTPリクエストのヘッダサイズが大きすぎます。」	• HTTPリクエストのヘッダサイズが制限値を超えた場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「HTTPリクエストのボディサイズが大きすぎます。」	• HTTPリクエストのボディサイズが制限値を超えた場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「HTTPレスポンスのヘッダサイズが大きすぎます。」	• HTTPレスポンスのヘッダサイズが制限値を超えた場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「これ以上HTTPレスポンス(100Continue)を受信できません。」	• Continueの数が制限値を超えた場合(無制限に設定しているため発生しない)	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「サーバがTLSをサポートしていません。」	• サーバがTLS v.1.0に未対応の場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「HTTPレスポンスの受信中にタイムアウトしました。」	• HTTPレスポンス受信中にタイムアウトした場合	• 接続先サーバーが正しいかご確認ください。また、「LAN端子の接続(1)」(準備編 29)が正しく接続されているかご確認ください。
「ファイルを開けません」	• 入力されたURLがfile:スキームのとき、ファイルを開くのに失敗した場合	• このページを見ることはできません。
「ファイルを読み込めません。」	• 入力されたURLがfile:スキームのとき、ファイルを読込むのに失敗した場合	• このページを見ることはできません。
「ページサイズが大きすぎます。正しく表示できない可能性があります。」	• コンテンツのサイズが制限値を超えた場合	• 左記の原因でこのページを表示できません。(もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません)
「ページがありません。」	• コンテンツが見つからなかった場合	――――
「読み込みを中止しました。」	• リダイレクトがキャンセルされた場合	――――
「サーバからの応答が正しくありません。これ以上リダイレクトできません。」	• 制限値以上のリダイレクトをした場合(制限値は30)	• このページを見ることはできません。
「MIMEタイプが正しくありません。」	• 処理できないMIMEタイプのコンテンツを開こうとした場合	• このページを見ることはできません。
「エラーが発生しました。」	• ブラウザ内で未分類のエラーが発生した場合	• このページを見ることはできません。
「アドレスが正しくありません。」	• 処理できないスキームを開こうとした場合	• 「URL入力」が正しいか確認してください。正しい「URL入力」を入力しても同様のメッセージが出る場合、このページを見ることはできません。
「JavaScriptのwindow.closeが実行されましたが、ウィンドウは１つのため閉じることはできません。」	• タブが1枚のみ開かれている状態でwindow.closeが実行された場合	――――
「保護あり/保護なしのページが混在しています。」	• 取得したコンテンツにHTTPとHTTPSのものが混在していた場合	――――
「メモリ不足です。他のタブの内容を消去して再読み込みしますか？」	• コンテンツ表示途中でメモリー不足が発生した場合	• 他のタブを消去してよい場合は、◀·▶で「OK」を選び、決定を押してください。消去しない場合は、「キャンセル」を選んでください。
「メモリ不足のため、コンテンツを表示できませんでした。」	• 極度のメモリー不足状態から強制復帰した場合	• 他のタブを消去してから「再読込み」をしてください。上記操作をしても同様のメッセージが出る場合は、このページを見ることはできません。
「このタイプの文書は表示できません。」	• Content-Typeが対応形式外の場合	• このページを見ることはできません。

メニュー 一覧

- 設定・調整のメニュー 一覧を下図に示します。(薄く記載している部分は、別冊「準備編」で使用する部分です)
  「準備編」のメニュー 一覧は、準備編 98 ～ 99 をご覧ください。
- メニューで選択できる項目は、映像や音声の種類などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄く表示されます。

設定メニュー → 映像設定

- 映像メニュー (74)
- お好み調整 (75～80)
  - 黒レベル
  - 色の濃さ
  - 色あい
  - シャープネス
  - 明るさ調整
  - 室内環境設定
    - 照明の色
    - 外光設定
  - 詳細調整
    - カラーイメージコントロールプロ
      - カラーイメージプロ設定
      - カラーパレットプロ調整
        - レッド
        - グリーン
        - ブルー
        - イエロー
        - マゼンダ
        - シアン
        - ユーザー1
        - ユーザー2
        - ユーザー3
      - 初期設定に戻す
    - 超解像処理設定
      - 超解像処理
      - レベル調整
    - ノイズリダクション設定
      - MPEG NR
      - ダイナミックNR
    - ヒストグラムバックライト制御
    - モーションクリア
    - オートファインシネマ
    - 色温度
    - ダイナミックガンマ
    - ガンマ調整
    - Vエンハンサー
  - 初期設定に戻す
- 画面調整 (81)
  - スキャン切換
  - オーバーサイズ調整
  - 上下振幅調整
  - 上下画面位置
  - 左右振幅調整
  - 初期設定に戻す
- 明るさセンサー (82)
- 色空間 (82)
- ヒストグラム表示 (82)

設定メニュー → 機能設定

- 省エネ設定 (86)
  - 消費電力
  - 番組情報取得設定
  - 無操作自動電源オフ
  - オンエアー無信号オフ
  - 外部入力無信号オフ
- 視聴制限設定
  - 視聴年齢制限設定
  - インターネット制限設定
  - 暗証番号設定
  - 暗証番号削除
- 地上アナログ番組表設定
- 外部入力設定
  - HDMI3音声入力設定
  - 外部入力表示設定
    - ビデオ1 設定
    - ビデオ2 設定
    - ビデオ3 設定
    - ビデオ4 設定
    - HDMI1 設定
    - HDMI2 設定
    - HDMI3 設定
    - HDMI4 設定
    - 初期設定に戻す
  - 外部入力スキップ設定
    - ビデオオート
    - HDMI1
    - HDMI2
    - HDMI3
    - HDMI4
- デジタル放送録画出力設定
- ソフトウェアのダウンロード (87～88)
  - 放送からのダウンロード
    - 自動ダウンロード
    - ダウンロードの予約
  - サーバからのダウンロード開始
  - ソフトウェアバージョン

設定メニュー
レグザリンク設定
内蔵ハードディスク設定
今すぐニュース番組登録
自動削除設定
省エネ設定
内蔵ハードディスクの取りはずし
内蔵ハードディスクの再検出
内蔵ハードディスクの登録
内蔵ハードディスクの初期化
USBハードディスク設定
機器の登録
自動削除設定
省エネ設定
機器の取りはずし
機器の再検出
動作テスト
機器の初期化
LANハードディスク設定
機器の登録
登録モード設定
自動削除設定
動作テスト
i.LINK設定
機器の登録
登録モード設定
ブロードキャスト入力設定
最大データ転送速度設定
D-VHSテープ検出
外部機器からの制御
テレビ電源入連動
電源入連動機器
HDMI連動設定
HDMI連動機能
HDMI連動機器リスト
連動機器→テレビ入力切換
連動機器→テレビ電源
テレビ→連動機器電源オフ
PC映像連動
AVアンプ連動
優先スピーカー
テレビdeナビ設定
東芝RDアナログ
東芝RDデジタル1
東芝RDデジタル2
東芝RDデジタル3
録画再生設定
ダイレクト録画時間
ワンタッチスキップ設定
ワンタッチリプレイ設定
設定メニュー
初期設定
はじめての設定
アンテナ設定
地上デジタルアンテナレベル
BS・110度CSアンテナレベル
BS・110度CSアンテナ電源供給
BS中継器切換
110度CS中継器切換
チャンネル設定
地上アナログ自動設定
地上デジタル自動設定
初期スキャン
再スキャン
自動スキャン
手動設定
地上アナログ
地上デジタル
BS
110度CS
チャンネルスキップ設定
地上アナログ
地上デジタル
BS
110度CS
ステレオ／モノラル
無信号消音設定
初期設定に戻す
データ放送設定
郵便番号と地域の設定
文字スーパー表示設定
ルート証明書番号
通信設定
電話回線設定
ダイヤル方式
外線発信番号
電話会社の設定
電話番号通知設定
電話回線テスト
待ち時間の設定
通信接続設定
通信環境設定
LAN端子設定
IPアドレス設定
DNS設定
プロキシ設定
MACアドレス
接続テスト
LANハードディスク端子設定
IPアドレス設定
DHCPサーバー設定
MACアドレス
接続確認メッセージ設定
通信エラー履歴
メール設定
基本設定
POP3サーバーアドレス
POP3ユーザー名
POP3パスワード
APOP
POP3アクセス間隔
SMTPサーバーアドレス
メールアドレス
メール録画予約設定
メール録画予約機能
録画機器
メール予約パスワード
予約設定結果通知
指定メールアドレス
予約アドレス登録
IPTV設定
ネットワーク設定
サービスプロバイダー選択
基本登録
IPTVスキャン
接続テスト
システム情報
B-CASカード番号表示
86
簡易確認テスト
設定の初期化

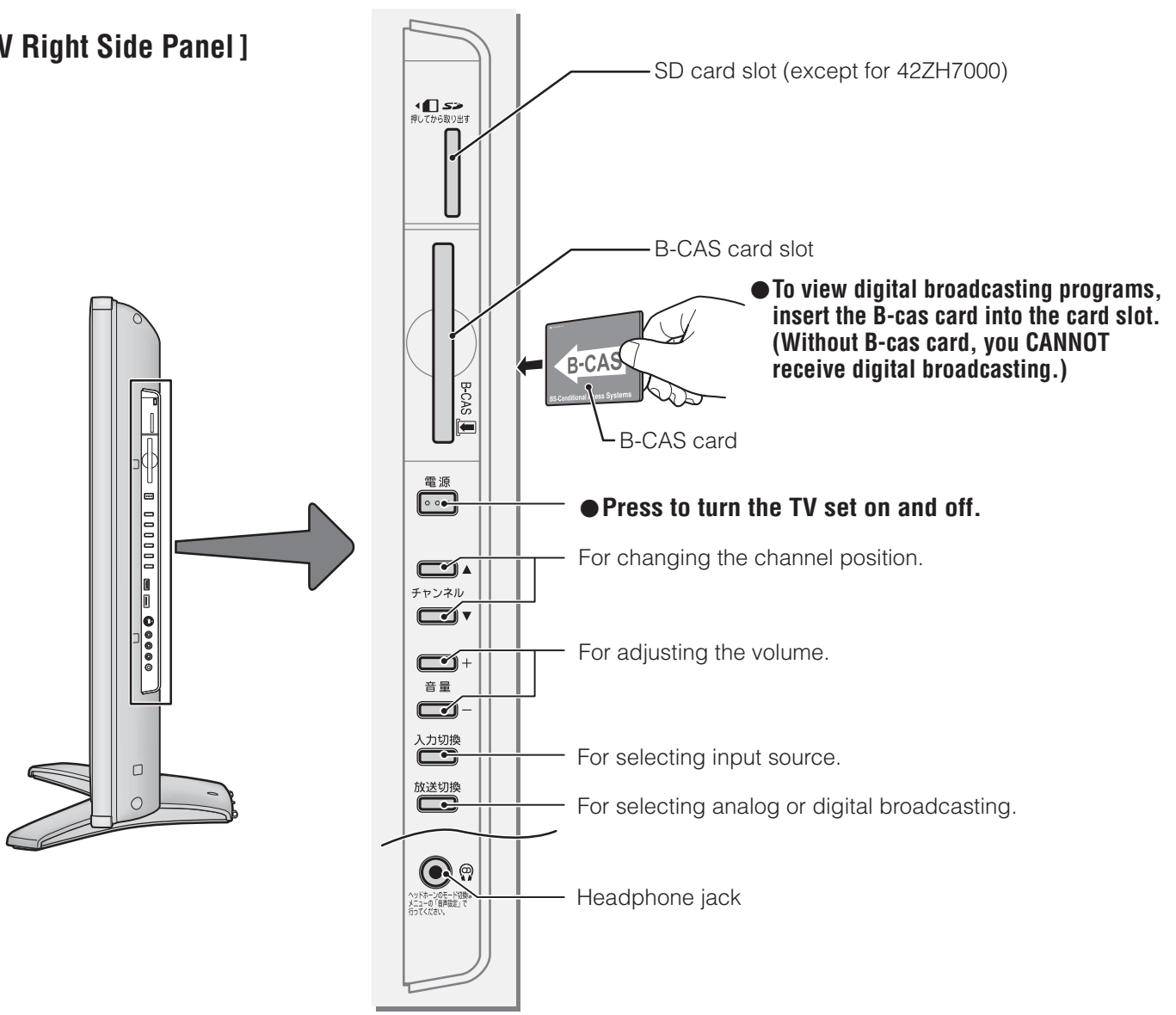
Basic Operations

● For more information on operations, safety instructions, maintenance, etc, please contact your local dealer.

[TV Front Panel]

Remote Control sensor

● **For optimum performance, aim the remote control DIRECTLY at the TV remote sensor. (within 16 ft from the TV set)**

[TV Right Side Panel]

SD card slot (except for 42ZH7000)

B-CAS card slot

● **To view digital broadcasting programs, insert the B-cas card into the card slot. (Without B-cas card, you CANNOT receive digital broadcasting.)**

B-CAS card

● **Press to turn the TV set on and off.**

For changing the channel position.

For adjusting the volume.

For selecting input source.

For selecting analog or digital broadcasting.

Headphone jack

[Remote controller]

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
テレビ	テレビ放送	MV	マルチビューサービス（24 おしらせ」）
ラジオ	ラジオ放送	HD	デジタルハイビジョン放送
データ	データ放送	HD:1080i	放送フォーマットが1080i信号のデジタルハイビジョン放送
テレビd	データ放送がある場合（テレビ）	HD:720p	放送フォーマットが720p信号のデジタルハイビジョン放送
ラジオd	データ放送がある場合（ラジオ）	SD	デジタル標準テレビ放送
16：9	画面の横と縦の比が16：9の番組の放送	SD:480i	放送フォーマットが480i信号のデジタル標準テレビ放送
4：3	画面の横と縦の比が4：3の番組の放送	SD:480p	放送フォーマットが480p信号のデジタル標準テレビ放送
ステレオ	ステレオ音声放送	信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある場合
サラウンド	サラウンドステレオ放送	ペイ・パー・ビュー	ペイ・パー・ビュー番組
二重音声	二重音声放送	年齢	視聴年齢制限が設定されている番組の場合
字	字幕放送		

※ テレビd が表示されていなくても、データ放送（番組に連動していないもの）がある場合があります。
テレビd が表示されていても、放送局側の運用によってはデータ放送が番組に連動していない場合があります。

お知らせ、予約、録画、録画リスト、その他についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
データ取得中	データの取得中です。	ダビング	録画可能回数が制限されている番組の場合
処理中	内蔵ハードディスクの処理中です。 録画・再生などの操作はできません。	デジタルコピー×	デジタル録画できない番組の場合
i	未読の「おしらせ」	光デジタルコピー可	光デジタル録音できます。
i	既読の「おしらせ」	光デジタルコピー¥	録画購入すれば光デジタル録音できます。 （本機はペイ・パー・ビュー放送には対応していないため、録音できません）
	録画予約	光デジタルコピー1	１回のみ光デジタル録音できます。
	連ドラ予約 （赤　：予約設定されているとき 灰色：予約実行を停止しているとき）	光デジタルコピー×	光デジタル録音できません。
✔	視聴予約		録画予約している番組と連ドラ予約が重複している場合
アナログコピー可	アナログ録画できます。		視聴予約している番組と連ドラ予約が重複している場合
アナログコピー¥	録画購入すればアナログ録画できます。 （本機はペイ・パー・ビュー放送には対応していないため、録画できません）		フォルダや録画した番組に保護をかけている場合
アナログコピー×	アナログ録画できません。		上書き録画を「する」に設定した番組 38
デジタルコピー可	デジタル録画できます。		非リンク型サービス（通信番組） 10
デジタルコピー¥	録画購入すればデジタル録画できる番組の場合 （本機はペイ・パー・ビュー放送には対応していないため、録画できません）		SSLなどの暗号通信をしている場合 10

さくいん

※ ページ番号の前の「準」は別冊の準備編に記載されていることを意味します。

● 数字・ABC順

● アイウエオ順

ア行 ページ

カ行 ページ

さくいん つづき

サ行 ページ

タ行 ページ

ナ行 ページ

ハ行 ページ

マ行 ページ

ヤ行 ページ

ラ行 ページ

ワ行 ページ

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

- 本機の HDMI 入力で、VESA 規格に「○」のついている信号フォーマットは VESA 規格に準拠する信号フォーマットにのみ対応しています。パソコンや映像機器によっては下表に示した解像度や周波数と異なる信号が入力されるため、正しい表示やフォーマット判定ができなかったり、映像が表示されない場合があります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。
- リフレッシュレートが 24/70/72/75Hz の信号は 120Hz に変換して表示しています。
- 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合は 60Hz の信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレートまたは垂直周波数	水平周波数	ピクセルクロック	VESA 規格
480i	720 × 480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720 × 480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920 × 1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280 × 720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920 × 1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640 × 480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
		72Hz	37.861kHz	31.500MHz	○
		75Hz	37.500kHz	31.500MHz	○
SVGA	800 × 600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
		72Hz	48.077kHz	50.000MHz	○
		75Hz	46.875kHz	49.500MHz	○
XGA	1024 × 768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
		70Hz	56.476kHz	75.000MHz	○
		75Hz	60.023kHz	78.750MHz	○
WXGA	1280 × 768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
		75Hz	60.289kHz	102.250MHz	○
	1360 × 768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280 × 1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

その他

お手入れについて

■お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。

■ ベンジン・アルコールなどは使わない
- ベンジン・アルコールなど揮発性のものは使わないでください。キャビネットが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■ キャビネットや操作パネルのお手入れ
- キャビネットに付着しているゴミやほこりを取り除いてから、付属のクリーニングクロスや柔らかい布で軽くふき取ってください。よごれたクリーニングクロスや硬い布でふいたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ 画面（液晶パネル）は特殊な加工をしています
- 固い布でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つきますので、ていねいに扱ってください。

■ 画面（液晶パネル）は水ぶきをしない
- 脱脂綿あるいはガーゼなどの乾いた柔らかい布（OA機器清掃用の布）で軽くふいてください。
- アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤、水は使用しないでください。

仕様

項目		42ZH7000	46ZH7000	52ZH7000
種類		ハードディスク内蔵　地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ		
形名		42ZH7000	46ZH7000	52ZH7000
受信機型サイズ		42V	46V	52V
電源		AC 100V 50/60Hz共用		
消費電力	電源「入」時	256W	320W	369W
	電源「待機」時	0.3W	0.6W	0.6W
	機能動作時※1	31W	28W	28W
	電源「切」時	0.2W	0.6W	0.6W
年間消費電力量標準時		186kWh/年	233kWh/年	279kWh/年
区分名		BKK	BKK	BKK
スタンドを含む外形寸法（ ）は本体のみ	幅	100.9cm（100.9cm）	111.3cm（111.3cm）	125.7cm（125.7cm）
	高さ	70.2cm（64.9cm）	75.5cm（70.5cm）	85.0cm（79.5cm）
	奥行	31.6cm（9.4cm）	31.6cm（9.4cm）	35.3cm（10.2cm）
スタンドを含む質量（ ）は本体のみ		24.0kg（21.2kg）	29.5kg（26.7kg）	38.5kg（35.2kg）
液晶画面	画面寸法	幅93.0cm × 高さ52.3cm 対角106.7cm（42V型）	幅101.8cm × 高さ57.3cm 対角116.8cm（46V型）	幅115.2cm × 高さ64.8cm 対角132.2cm（52V型）
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス		
	画素数	水平1920 ×垂直1080		
受信チャンネル		地上アナログ：VHF（1～12）、UHF（13～62）、CATV（C13～C63） 地上デジタル：VHF（1～12）、UHF（13～62）、CATV（C13～C63） BSデジタル：BS000～BS999、110度CSデジタル：CS000～CS999		
スピーカー		16cm × 3.5cm 2個	16cm × 3.5cm 2個、8cm × 3cm 1個	
音声出力		実用最大出力 10W＋10W（総合音声出力 20W）（JEITA）	実用最大出力 10W＋10W＋13W（総合音声出力 33W）（JEITA）	
内蔵ハードディスク	形名	THH-30U5		
	容量	300GB（公称値）		
入力・出力端子	ビデオ入力（入力1、2、3、4／ゲーム）	S2映像：Y入力：1V（p-p）、75Ω、同期負、C入力：0.286V（p-p）（バースト信号）、75Ω 映像：1V（p-p）、75Ω、同期負（ピンジャック）、音声：200mV（rms）、22kΩ以上（ピンジャック）		
	デジタル放送録画出力	S1映像：Y出力：1V（p-p）、75Ω、同期負、C出力：0.286V（p-p）（バースト信号）、75Ω 映像：1V（p-p）、75Ω、同期負（ピンジャック）、音声：250mV（rms）、2.2kΩ以下（ピンジャック）		
	D4映像入力（ビデオ1、2）	14ピン、1.27mmピッチ Y:1V（p-p）、P_B/C_B、P_R/C_R：0.7V（p-p）		
	i.LINK（TS）	IEEE1394　4ピン、S400対応、MPEG-TS信号		
	HDMI端子1～4	HDMI（v.1.3a with DeepColor, "x.v.Color", Lip Sync） HDMIアナログ音声入力（HDMI端子3のみ搭載）：200mV（rms）、22kΩ以上（口径3.5mmステレオミニジャック）		
	USB（録画専用）端子	USB2.0		
	USB端子（側面）	USB2.0		
	光デジタル音声出力	トスリンク		
	電話回線接続端子	モジュラージャック方式		
	ハードディスク専用LAN端子	RJ-45		
	LAN端子	RJ-45		
	ひかりTV専用LAN端子	RJ-45		
	ヘッドホーン端子	口径3.5mmステレオミニジャック、適合インピーダンス8Ω～32Ω		
使用条件		使用周囲温度：0℃～35℃、使用周囲湿度：20%～80%（結露のないこと）		
意匠	キャビネット材質	ポリスチレン樹脂（PS）		
角度調整範囲（テレビスタンド）		左右：約15°　前後：不可		左右：不可　前後：不可
主な付属品		取扱説明書 操作編（本書）、準備編（別冊）×各1部 リモコン（CT-90312）×1個 単四形乾電池（R03）×2個 F型コネクター×2組 クリップ×1個 クリーニングクロス×1枚	BS・110度CSデジタル放送受信契約申込書×1式 「お客様登録のお願い」のハガキ×1枚 簡単ガイド×1部 たいせつなお知らせ×1部 B-CASカード（IDラベル付き）×1枚 スタンド（42ZH7000のみ）×1式	

※1：「機能動作時」は、以下の設定や動作をしている場合の電源「待機」時の消費電力です。
- 「外部機器からの制御」を「あり」に設定しているとき／「メール録画予約機能」を「使用する」に設定しているとき
- 内蔵ハードディスクで録画しているときや、本機で受信したデジタル放送を外部機器で録画しているとき／番組情報などの取得中

仕様 つづき

インターネットブラウザの仕様

記述言語	HTML4.01, XHTML1.1, XHTML Basic
動作記述言語	ECMAScript（ECMA-262 3rd Edition）
DOM	DOM1.0, DOM2.0
Ajax	XMLHttpRequest
スタイルシート	CSS1.0, CSS2.0
セキュア通信	SSL2.0, SSL3.0, TLS1.0
プラグイン	なし

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- テレビのＶ型(46Ｖ型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
- 年間消費電力量：年間消費電力量とは省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算出法により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
- 区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネルギー法)」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行っており、その区分名称を言います。
- 「JIS C 61000－3－2 適合品」 ― JIS C 61000－3－2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性―第3-2部：限度値―高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部(0.01%以下)に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
- 静止画をしばらく表示したあとで映像内容が変わった時に、前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。(故障ではありません。)
- i.LINKとi.LINKロゴ「i」は、ソニー株式会社の商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA (The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データでは、 i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、 DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。
- この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、及びダブルD記号はドルビーラボトリーズの商標です。

DOLBY DIGITAL
DOLBY VOLUME

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
- ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
-
- 本製品の一部分に Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

ACCESS™ NetFront®

- AUDYSSEY EQ Audyssey EQとは、オーディオ製品で採用されている、MultEQ（マルチイコライザー）の技術をベースにした音響補正技術です。この技術では従来の周波数だけではなく、タイムドメイン(時間軸)の補正をすることで、最適な音質を作り出すことができます。本機の設計段階でマイクによる測定を行い、キャビネットなどの影響を補正しながら、最適な音響特性を実現しました。

※ 本製品は、マクロヴィジョン社ならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
※ この製品にはPPXP開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。
※ この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。
※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

G
詳細は以下のURLをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/dm_env/dm/label.htm#jmoss

B-CASカードID番号記入欄

● 下欄にB-CASカードのID番号をご記入ください。
 • お問い合わせの際に役立ちます。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買い上げの販売店にご相談ください。**

〈レグザ〉のお取り扱いのご相談は **「東芝 レグザ サポートセンター」**

一般回線からのご利用は（通話料：無料） フリーダイヤル **0120-97-9674**（クナン クローナシ）
※携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません。

携帯電話からのご利用は（通話料：有料） **0570-05-5100**
※PHS・IP 電話などからは、ご利用になれない場合があります。

365日 受付時間 9:00～20:00
FAX 03-3258-0470

販売店に修理のご相談ができない場合	お買い物・お取り扱いのご相談
東芝家電修理ご相談センター	**東芝家電ご相談センター**
フリーダイヤル 0120-1048-41 受付時間：365日 **24時間**	フリーダイヤル 0120-1048-86 受付時間：365日 **9:00～20:00**
携帯電話からのご利用は ナビダイヤル 0570-06-4114（通話料：有料）	携帯電話・PHSなどからのご利用は 03-3426-1048（通話料：有料）
PHSなどからのご利用は 0173-38-3168（通話料：有料）	FAXでのご利用は 03-3425-2101（通信料：有料）

- 「東芝家電修理ご相談センター」は、東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

ホームページに最新の商品情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。 http：//www.toshiba.co.jp/product/tv/
※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（http://www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

保証書（別添）

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。
B-CASカードは、保証の対象から除きます。

補修用性能部品の保有期間

●液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
●修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

●89ページに従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

項目	内容
品名	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	42ZH7000、46ZH7000、52ZH7000
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。 TEL（ ） ー

廃棄時のお願い

●**一般の廃棄物といっしょにしないでください。**ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。
本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか?	ご使用中止
●電源を入れても映像や音が出ない。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源を切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物がはいった。	このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

●表紙は有機物質を含んだ廃液が少ない水なし印刷方式で作成しました。
●この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
●この印刷物は再生紙を使用しています。

株式会社 **東芝**
デジタルメディアネットワーク社
〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1
※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

(TH/T1) VX1A00120100